

官報

號外 昭和五年五月十二日

○ 第五十八回 貴族院議事速記録第十一號

帝國議會

昭和五年五月十一日（日曜日）午前十時八分

開議 昭和五年五月十一日

議事日程 第十二號
昭和五年五月十一日

第一 國務大臣ノ演説ニ關スル件（第一
國務大臣ノ演説ニ關スル件）

第二 昭和三年度第一豫備金支出ノ件
(承諾ヲ求ムル件) (衆議院送付)

第三 告白

會議

多ノ質疑應答ガゴザリマシタガ、其重モナ

ルモノニ付テ申上ゲマスレバ、一委員ヨリ

「セメント」ノ稅ニ付キマシテ質疑ガアリマ

シタガ、現在我國ニ於ケル「セメント」ノ需

要狀態ハ非常ニ減退シテ居ル、値段モ安ク

ナツテ居ル、又一方ニ於テ支那ノ銀ノ値下ガ

リノ爲ニ、支那ノ「セメント」ガ大分安クナッ

テ居ル、横濱渡シノ値段ヲ比較スルナラ

バ、支那ノ方カラ輸入スル「セメント」ガ百

斤アタリ十四錢八厘ダケ安クナッテ居ル、之

ニ今度稅ヲ半減イタシマシテ、從來三十錢

ノ稅ヲ十五錢ニ致シマスルガ、十五錢ノ課

稅ヲシテ、サウシテ内地品ト略ミ同ジ値段

ニスルト、斯ウ云フコトデアルガ、若シ今

少シク銀ガ下タナラバ直ニ變化ガ來ルデ

アラウ、サウ云フ際ドイコトヲシテ、三十

錢ノモノヲ十五錢ニ改ヌル必要ガアラウカ、

斯様ナ御質問ガアリマシタ、政府委員ヨリ

ハ現内閣ノ方針及關稅審議會ヲ造ラレマシ

タ其根本主義、其他ニ付テ精細ニ説明ガア

リマシタ、尙ホ假令支那ノ「セメント」ガ輸

入サレルヤウナコトガアリマシテモ、日本

ノ建築業者ハソレヲ使用スルト云フコトハナ

イト云フ當業者ノ言葉ヲ引用セラレマシテ答

ヘテ居ラレマス、其他ノ質問ハ或ハ關稅政策

ノ全般ニ瓦リ、或ハ綿絲等ニ付テ御質問ガア

リマシタガ、ソレ等ノ詳細ハ速記録ニ依テ御

承知ヲ願ヒタイト存ジマシテ茲ニ之ヲ省略

イタンマス、質問ノ後討議ニ移リマシテ、

一委員ヨリハ「セメント」ノ稅ニ關スル此度

ノ改正ハ、現時ノ狀況ニ照シ當ヲ得タルモ

ノトハ申シ難キモ、各種ノ點カラ考へテ、

本案ニハ贊成スルガ、併シ將來内地ノ產業

ガ壓迫セラルルヤウナ徵候ガ見エタラバ、

速ニ再び改正セラレタイト云フ希望ガアリ

マシタ、又他ノ一委員ヨリハ將來ニ於テ我

國ハ如何ナル關稅政策ヲ執ルヤ、我國ノ殖

產工業上ノ大見地ヨリシテ政府ハ十分ニ

御調查ト御勇斷ヲ望ムト、斯様ナ希望ガア

リマシタ、採決ニ入りマシテ、全會一致本

案ヲ可決イタシマシタル次第デゴザイマス、

以上御報告ヲ申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會

ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認

スマス

○子爵清岡長言君 直ニ第一讀會ヲ開カレ

ムコトヲ望ミマス

○子爵敷篤君 贊成

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題

ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認

メマス

○子爵清岡長言君 直ニ三讀會ヲ開カレム

コトヲ望ミマス

○子爵敷篤君 贊成

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(公爵德川家達君) 清岡子爵ノ動議

ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議

通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十一、市

制中改正法律案、第十二、町村制中改正法

律案、第十三、北海道會法中改正法律案、

衆議院提出、第一讀會

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際必要ナル選舉人名簿ニ關シ市

市制中左ノ通改正ス

貴族院議長公爵德川家達殿

〔衆議院議長藤澤幾之輔

第五十四条中「妻」ヲ「配偶者」ニ改ム

第七十九條第二項中「妻」ヲ「配偶者」ニ改ム

帝國臣民ニ改ム

第八十一條第二項及第三項中「父子兄弟」ヲ「親子、配偶者又ハ兄弟姊妹」ニ改ム

ヲ「親子、配偶者又ハ兄弟姊妹」ニ改ム

第五十五条中「妻」ヲ「配偶者」ニ改ム

第七十九條第三項中「父子兄弟」ヲ「親子、配偶者又ハ兄弟姊妹」ニ改ム

第八十一條第二項及第三項中「父子兄弟」ヲ「親子、配偶者又ハ兄弟姊妹」ニ改ム

第五十五条中「妻」ヲ「配偶者」ニ改ム

第七十九條第三項中「父子兄弟」ヲ「親子、配偶者又ハ兄弟姊妹」ニ改ム

町村制第十八條乃至第十八條ノ五ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ府縣知事ニ於テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

右本院提出案及送付候也

昭和五年五月十日

北海道會法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

昭和五年五月十日

北海道會法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

テ冷遇ト言テ宜イカ、虐待ト居テ言イカ、
是ハ好マシカラヌ條項デアルカラ、是ハ除
クコトニシャヤウヂヤナイカ；其通りダ、
是ハ除イテヤラケレバナラヌ、既ニ議院
デハ女子方皆政談演説ヲ自由ニ享キ得ラレ
ル、然ルニ一步議院ヲ出レバ、聽クコトガ
出来ナイト云フノハ、誠ニ遺憾デアルト云
フノデ、既ニ第四十四議會デ衆議院カラ廻
テ來マシタ法案ハ不幸ニシテ當議場デ葬ラ
レマシタケレドモ、實ハ其當時デゴザイマス、
或議員ガ、高橋サン、アナタハ大變ニ熱心
ニアノ法案ヲ支持シテ居ラレルヤウデアッ
タガ、アレハ貴族院ハマダ十年ハ通りマセ
ヌヨ……不幸ニシテ四十四議會デ「バス」
シマセナンダガ、其時ハ私ハア、サウデス
カ、貴族院ガ十年後レテ居ルノデスカイ、
ト言ッタト思ウテ贊成演説ヲスルカト御尋ニ
正十一年ノ三月二十五日ノ會議デゴザイマ
シタ、目出度ク此議場ヲ通過シマシタノデ
ス、殊ニ大數多通過シタノデス、其節議
長ハ私ニ向テ贊成演説ヲスルカト御尋ニ
ナツタノデゴザイマスガ、時間モナシ、又議
場ノ空氣ヲ見マスト、既ニ過半數ノ人ガ贊
成ラシテ居ルヤウニ窺ハレマシタノデ、其
事ヲ申上ゲテ、私ハ演説ヲ中止、見合ハセ
マスト申上ゲタ位デアル、果シテ是ハ通過
イタシマシタ、此議場ヲ通過シタノモ時勢
ガ既ニ是ハ許スベキモノデアルト云フコト
ヲ皆様ガ御了解下サツタコトデアラウト存
ジマスル、然ルニ今日ノ此法案ハ衆議院デ
殆ド全會一致ヲ以テ可決ニナツタモノノヤ
ウニ承テ居リマス、衆議院デ既ニ是ダケノ
公民權ヲ認メチ居ル、御承知ノ如ク朝野兩
黨ガ共ニ俱ニ一致シテ此法案ヲ贊成シタト
云フモノハ、殆ド他ニハ何ニモゴザイマス
マイ、此法案バカリデアラウト思フ、サス
レバ國民全體ハ既ニ此女子ニ對スル公民權
ハ與ヘナケレバナラヌモノデアルト斷ジタ
コトデアラウト思フ、ソレデアルカラ是ハ無

論私ハ當院モ通過スルモノニアラウト信ジ
チ居リマスルガ、唯衆議院デ政府ハ餘り好
イ御返事ヲ爲サラナイヤウニ伺テ居ル、是
ガ私ニ分ラナイ、ドウ云フ譯デアルカ、現
ニ濱口總理大臣ハ土佐ノ御出身デアル、日
本ノ自由民權ト云フモノハ何處カラ初メニ
起テ來タカ、土佐カラ起テ來タト言フテ
モ宜カラウ、是ハ土佐御出身ノ首相ガ御自
慢ニナゾテモ差支ナイモノデアル、殊ニ明治
元年三月十四日ノ五箇條ノ御誓文中、舊來
ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クベシト宣ハ
セラレタ、之ガ初メテ日本デ定マッタ國是ノ
中ノ一箇條デアルト存ジテ居リマス、舊來
ノ陋習ヲ破ルト云フ……大キナモノモ小サ
ナモノモ澤山ゴザイマスルガ、殊ニ明治四
年ニハ女子ガ御齒黒ヲ附ケルコトナド
ハ廢セラレタ、是モ陋習トシテ廢セラ
レタノデアラウト思ヒマス、然ルニ七
千万國民ノ中デ半分ハ女子デアルガ、
此半分ノ女子ハ矢張リ今日ニ至ルマテ權
利自由、教育上カラ公ノコトハ申スニ
及バズ、一家庭ニ於テ迄モ女子ハ差別ノ待
遇ヲ受ケテ居ルノデス、此差別ハ除カナケ
レバナラヌコトデアラウト思フ、或同僚ハ是ハ
シマセヌ、私ガ女子ニ政談演説ヲ聽カセル
コトニシタイデヤナイカ、ドウカ君モ一ツ
贊成シテハドウカト言ヒマシタラバ、ソレ
ハ御免蒙ル斯ウ云フ話デス、ドウ云フ譯ダ、
此位都合ノ好イモノハナイノデス、實ハ自分
等モ妻ノコトヲ思フト此位柔順デ、スルコ
トハ下女以上ト言ヒタイガ、下女ニズット
優テ居ル、謂ハバ之ヲ高等下女ト私ハ思
テ居ルノダ、ソレデアルカラ今茲ニ是等ニ
向シテ政談演説ヲ聽カセルノ、參政權ヲヤル
ノト云フヤウナコトガ出來タラ大變デアル
カラ、ソレハ待テ貰ヒタイト、斯ウ言タ
ニ付テ私ハナンボ私ノヤウナ亂暴ナ男デ

モ、二ノ句ガ繼グマセナシ、マアサウ云
フ人モ以前ハア、タノデス、今日ハ無論アラ
ウ等ハナイ、翻テ一昨年私ガ丁度米國ヲ
初メ歐洲十五箇國ヲ巡リマシタ時ニ「チエッ
クスロヴアキア」ノヤウナ新シイ小サナ國デ
スラ、女ノ衆議院議員ガ七人居リマシタノヲ見
マシテ、ア、ア日本ハ東洋ノ第一ノ文明國ヲ
アルガ、女子ハマダ之ヲ夢ミルコトガ出
来ナイナアト言テ歎息シタノデス、御承知
ノ如ク英國ニハ現在ハ大臣ニモ巡查ニモ女
ガ居ル、ソレニ日本ハ何ト云フコトデゴザ
イマスカ、實ニ氣ノ毒千萬、其一方ハ舊來
ノ道徳トカ、教育トカ云フモノガ此處ニ致
シタノデゴザイマセウカ、教育ノ機關マデ
差別シテアル、サウシテ私ハ常ニ地方ニ行
キマスル毎ニ女學校デ講演ヲシマスルガ、
何レニ行ツテ見マシテモ校長、教頭ト云フ
ヤウナモノガ、ドウモ亞米利加ハ女子ニヒ
トイ權利方與ヘテアル、所謂女尊男卑デア
ル、日本ニアノ風ガ移ツタラ大變デゴザイマ
スカラ、我ミハ常ニ斯ウ抑ヘテ居リマス、而
モ或縣ノ女子師範學校ニ行ツテ私ガ校長ニ、
ドノヤウナ演説ヲシテモ宜イカ、宜シウゴ
ザイマス、併シ此學校デハ成ルダケ抑ヘテ
居リマシテ、ドウカ亞米利加ノヤウナ女ニ
ナラヌヤウニシテ居リマス、ア、サウカ、
段々方々ノ學校へ行ツテ見ルト、校長ガサウ
云フ考ヲ有ツテ居ラレル、私ハ反対ダヨ、寧
ロ亞米利加ヨリ以上ナ日本ノ女子ハ權利ヲ
テ行クナラ、日本ノ是カラ出來ル學生ハ殆
有ツヤウナ心得ニナッテ貰ハナケレバ、逆モ
是デハヤリ切レルモノデナイ、斯ウ云フ人
ガ出來テハ……今迄ノヤウナ家庭教育ヲシ
テ、本當ノ大キナ仕事ハ出來ナイ、サウ云
フヤウナ意氣地ノナイ人バカリ持ヘルト、
サア海軍ノ軍縮問題見タヤウニ、ドウモ他
所ノ國ガ怖クテナラナイ、日本ガ他所ノ國
カ怖クテドウシテ發達スル、日清役デモ、

日露役デモ怖クナカタカラ出来タ、是ハ怖
カタクタ出来ルモノデナイ、ソレヲ或方面
デハ今デモビタヽシテゴザルガ、ソンナ
コトヂヤ是カラ先キ日本ノ發達ヘ望マレナ
イ、其本ヘ何處ニアルカト云フト、ドウシ
テモ子供ノ中カラノ養成デアル、家庭ノ教
育ダ、其家庭ノ子供ノ養成スル女子ガ既ニ
業ニ柔弱デアタトスレバ、立派ナ剛健ナ人
間ガ出来ヤウ筈ガナインオデアル、ダカラ私
ハ此點カラ見テモ女子ニヤルベキダケノ權
利ハヤリ、サウシテ一方カラ責ムベキダケ
ノ責任ハ責メテ行フテ宜シト思フ、殊ニ日
本ノ今日アル此文明ニ至タ經路ヲ尋ネテ
御覽ナサイ、皆天保生レノ學者ヤ政治家ガ
茲ニ致シタノデアル、就中天保生レノ學者
ガ丁度維新時分ニ亞米利加ハ斯ウナッテ居
ル、佛蘭西ハ斯ウナッテ居ル、獨逸ハ斯ウダ
ト言ツテ教ヘタノデアル、其時ノ一例ヲ舉ゲ
マスト茲ニ居ラレル西紳六郎君ノ岳父、西
周男、是ガ陸軍條約ヲ持ヘタ場合ニ現在ナ
イモノガ條例ノ中ニ書イテアルカラ小澤軍
務局長ガ、西先生はハマダゴザイマセヌガ
ト言ツタラ共通り、之ヲ持ヘテ見セテ置カナ
ケレバ皆知ラナイノダ、是ガ後進國ノ情ナ
サダ、是ハ君等初メ知リヤスマイ、持ヘテ
置クノダト言ツテナイモノ迄モ是ハ後トデ
要ルモノダト言ウテ條例ニ入レラレタ、サ
ウ云ファウニ、殊ニ私ハ明治三年ニ大學ノ
教育ニナックタ時分、權利ト云フ字ハ玉偏ニ
里ト云フ字ヲ何時デモ翻譯シタ所ガ、西サ
ンヤ箕作サンハ利ノ字ヲ今ノ立刀ノカ、
タ字ニスル、是ハ私ハドウモ字ノ……例ヘ
バ獨逸ノ「レヒト」佛蘭西ノ「ドロワー」、英
吉利ノ「ライト」デス、是ハ遡テ見レバ權利利
利ノ字ノ立刀ノカ、タ字ガ惡イト云フノ
デハアリマセヌガ、相當先ニ遡テ穿鑿スレ
バサウデアルケレドモ、權利ト云フノハ何
時デモ上ニアル者カ、若クハ強イ奴ガ持シ
テ居ル、ソレデ振ギ取ラナクチヤナラヌ、
振ギ取ルト云フノニハ此立刀ノカ、タ強

イリノ字デナクチヤイケナイ、獨逸ノ「レビト」、佛蘭西ノ「ドロワ」之ヲ翻譯スル時ニ
アノ利ノ字ニ定マッタノデス、ソレ以來ハ私
共ハアノ字ヲ使フヤウニナリマシタノデス
ガ、初メハサウデナカッタ、ガ當時ノ學者ハ
皆指導、啓發ト云フコトニ大變ニ意ヲ用ヒ
タノデス、後進國ノ人間デアルカラ、何處
マデモ是ハ啓發シテ行カナケレバナラヌ、
指導シテ行カナケレバナラヌ、ソレ故ニ今
ノ日本ノ女子ハドウデスカ存ジマセヌガ、
女子ノ心理ハ私モ知リマセヌ、知リマセヌ
ガ向上心ノナイ女子ハ一人モナカラウト矢
張リ思フ、是等ノ人ハ既ニ向上心ガアル、
又時世ヲ知ツテ居ルニ違ヒナイ、サウ云フヤ
ウナ人ヲシテ各國ハ現ニ斯ウナツテ居ル、文
明ハ斯ウデアル、今權利ヲ與ヘタ所デ女子
ガ此權利ヲ振廻シテ悪イコトヲスルカラト
云ツタラ、ソレハ三千五百万ノ中ニハタマ
ニハアルデセウ、女子ダッテ泥棒モスルノデ
アル、オイトハ言ハナイ、ガドッヂガ利益デ
アルカ、ヤツカ方ガ十倍、百倍十倍ノ利益ダ
ラウト思フ、殊ニ自由、權利、斯ウ云フコ
トハ明治ノ初々カラ是ヘ土佐カラ起シテ來
タモノデアル、種ハ土佐ニアップテ生ヘテ來タ
モノト思フ、其後私ハ大林區署長トシテ土
佐ニ赴任シタコトガアル、何カ云フト返事
ガ「セー」ト云フ、茲ノ人ハ皆「ドイツ」語ヲ
知ツテル、斯ウ思ツク、サウ云フヤウニアッ
テ又土佐ノ女子ニ私ガ屢々話ヲシタ場合ニ、
土佐ハ達ヒマスヨ、他ノ方面ノ女子トハ違ヒ
マスヨト言ハレタガ果シテ其通り、現ニ土
佐程モノノシ易イ、役人デ行ツテモ困難ダ
ト云フガチヨットモ困難デハナイ、何故ナレ
バ哀訴トカ歎願ト云フモノハ土佐人ハ斷ジ
テシナイ、縣廳ノ給仕ガ、オイ、郡長ガ來
テ之ヲ課長ニ持ツテ行ケト云フガ、一體郡長
ハ縣廳ノ給仕ヲ使フ權利ガアルカナ、斯ウ
云フ、土佐ノ人種ハサウ云フ風デス、ソレデ
スカラ私ハ生粹ノ土佐人ガ惡イコトヲスル
コトヲ聞イタコトガナイ、サウ云フ所デ御

生レニナツタ濱口首相デアルノデアル、殊ニ後藤象次郎、板垣退助ト云フヤウナ方ハ慶應三年十一月十五日ニ王政復古ノ仰セ出サレタ時ニ之ガ參與デ居ラレル、土州侯ハ其時ニ議定デ居ラレル、トコロガ丁度熊本ノ細川喜延侯ト云フ方ガ居ラレル、名乗リヘ何ト讀ムカ分リマセヌ、喜延侯ガ矢張リ議定デ御出ニナシテ、ソレカラ溝口孤雲、津山田三郎、此一人ガ參與デ出ク、丁度後藤象次郎、板垣退助、是ガ參與デ、薩摩カラハ大久保一造、西郷吉之助、長州カラハ井上聞多、廣澤兵助ト、斯ウ出テ居ル、此位、王政復古ヲシタ人デアル、サウスルト安達君ノ先輩ノ肥後ノ人ニハ斯ウ云フ立派ナ人ガ、而モ維新ノ初メニ出テ居ラテ、其時ニ二箇條ノ御誓文ガ出タノデゴザイマスカラ、安達君ガ内務大臣トシテ今日止ムヲ得ナイ、政府デハ之ニ反対シナケレバナラヌトカ、同意スルコトガ出来ヌトカ仰シヤル點ガアレバ別トシテ、安達君個人トシ、又民政黨ガ普通選舉制ヲ主唱セラレタ廉カラ考ヘテ見テモ、此法案ニ不同意ヲ仰シヤルコトハナカラウト、私ハ信ジテ居ル、ケレドモ何ダカ衆議院デハ言葉ヲ濁サレタト云フヤウニ聞イテ居リマスカラ、本日私ハ政府ノ御所見ヲ伺フノハ茲ナンデス、必ず御贊成ガアルヤ否ヤト云フコトヲ明ニシテ置キタインデス、萬々一何カ政府ノ御都合デ不贊成デアルト云フヤウナコトガアリマスルナラバ、ドウカ濱口總理大臣ト安達内務大臣ハ少クモ心氣ヨ一轉シテ貰シテ、之ニ贊成シテ戴キタイ、是ハーツノ希望トシテ申上ゲマス

ノ如ク日本ノ婦人ハ之マデ國政ニ參與スル
權利ヲ與ヘラレテ居ラナカツクノデアリマ
ス、固ヨリ時代ハ餘程變化シ進歩シテ參ッタ
ノデアリマスルガ、之ガ爲ニ新ニ日本婦人
ニ國政參與ノ權利ヲ與ヘルコトガ、國家ノ
爲ニ利益デアルカ無イカト云フコトニ付テ
ハ、御互ニ考ヘテ見ナクテハナラヌト思ヒ
マス、最モ冷靜ニ、最モ慎重ニ考ヘテ見タ
イト思フ、西洋諸國ニ於キマシテハ、婦人
ノ參政權問題ハ殆ド全部解決ヲセラレテ居
リマス、一二ノ例外ハアリマス、ケレドモ、
先ヅ大體ニ於テ解決セラレテ居ルノデアリ
マス、東洋ノ婦人ハ昔カラシテ、政治上ノ
權利ハ排斥セラレテ居ル、併シ西洋婦人ガ
有シテ居リマスル所ノ權利ハ、悉ク東洋ノ
婦人ハ握ラナケレバナラヌノデアルカ、之
ヲ握ルト云フコトガ國政運用ノ爲ニ、又東
洋婦人ノ長所及美點ヲ發揮スルガ爲ニ利益
デアルカ無イカト云フコトニ付テハ、考ヘ
テ見ナケレバナラヌノデアリマス、併シ本
案ハ國政參與ニ關スル權利ヲ與ヘントスル
ノデハナクシテ、地方自治體ノ行政ニ參與
スル所ノ公民權ヲ與ヘントスルノデアリマ
ス、此點ニ付キマシテハ、政府ハ趣旨ニ於
キマシテハ別ニ反對ハ致シマセヌ、主義ニ
於テハ反對イタシマセヌケレドモ、之ヲ實
施スルニ當リマシテハ考ヘネバナラヌコト
ガアリマス、何デアルカト申シマスルト、
本案ニ於キマシテハ唯女子ニ公民權ヲ與ヘ
ルト云フコトガ規定シテアリマス、此儘本
案ヲバ法律トシテ實施スルト云フコトニナ
リマスルト云フト、今日ノ婦人ハ無條件デ
公民權ヲ獲得スル、其結果トシテ市町村會
議員ノ選舉權、被選舉權及名譽職ニ選舉セ
ラル所ノ權利義務、進ンデ府縣會議員ノ
選舉權及被選舉權ヲ獲得スルコトニナル
ノデアリマス、政府ハ此無條件ノ公民權ヲ
バ、今日ノ女子ニ與ヘルト云フコトニ付テ
ハ遽ニ賛成スルコトガ出來ナイノデアリマ
ス、即チ公民權ノ範圍、公民權ノ要件等ニ

付キマシテハ、種々政究シナケレバナラヌ
コトガアル、故ニ先ヅ我ミトシテハ婦人ニ
公民權ヲ與ヘルト致シマシテモ、所謂漸進
主義デ秩序的ニ進歩シテ行キタイト云フノ
ガ政府ノ大體ノ方針デアルノデアリマス、
故ニ市町村會議員ノ選舉權ヲ、婦人ニ與ヘ
ルト云フコトニ付テハ、大體ニ於テ異存ハ
ゴザイマセヌケレドモ、ソレモ男子ト同等
ナ條件ニ於テ與ヘルカ、今日ノ男子ハ年齢
二十五歳以上デ、二年以上其市町村内ニ住
居シテ居リマス者ガ公民權ヲ獲得スルコト
ニナツテ居リマスルガ、女子モ是ト同等ナ條
件ニ於テ與ヘルベキモノデアルカ、女子ニ
ハ財產上及年齡上ノ制限ヲ付スル所ノ必要
ガアルカ無イカト云フ、斯ウ云フ點ニ付キ
マシテモ、慎重ニ攻究ヲシテ見タイト思ヒ
マスカラシテ、本案其モノニ付キマシテハ、
遺憾ナガラ直ニ贊意ヲ表スルコトハ出來ナ
イノデアリマス、兩院ヲ通過シタナラバドウ
スルカト云フコトデゴザイマスケレドモ、
兩院ヲ通過イタシマシタナラバ是ハ仕方ガ
アリマセヌ、日本ニ立憲政治始ツテ以來、
ニ於キマシテハ政府トシテハ、本案其モノ
ニハ賛成ヲスルコトガ出來ナイノデアリ
マス、左様御承知ヲ願ヒマス

申上ゲナイ、併シは段々土佐ノ歴史マデ申上ゲマシタノダカラ、大方御答辯下サルコドト思タ、ソレハ姑ク措キマシテ、今政府委員ハ此儀デハ贊成ガ出来ナイ、無條件デヤ贊成ガ出来ナイ、ソレナラバ修正スレバ宜シイデセウ、篤ト考ヘテ置カナケレバ、イカヌ、自治制ヲ布イテ何年ニナリマスカ、政府ノ當局テハ此位ノコトヲ平常考ヘテ居ラレナイデスカ、我ミノヤウナ低能ノ……兒童トハ言ヒマセヌ、モウ子供ヂヤナイ、八十四ダカラ子供ヂヤナイガ、併シ私ハ生レハ羊ノ年ダカラ、獨逸ノ諺デハ羊ノ頭ト云ヘバ低能ナラテ居ル、ダカラ私ハ先天的ノ低能力モ知レナイ、併ナガラ此位ノコトヲ判断スルノハマダ縛タシテ餘裕ガアル、コンナコトヲ、條件ガ足リナイカ足リルトカ、男子ト同ジヤウニシナケレバトカ、女子ト云フモノヲ入レルナラバ、斯ウシナケレバナラヌトカ、ソレ位ノコトハ政府ニチャント御調ガ著イテ居ナケレバナラヌ、著イテ居ル筈デアル、平田東助子ガ取調ラシテ自治制ヲ布イタ、獨逸「スタイン」ノ自治制ヲ基ニシテ自治制ヲ持ヘタ、其時分カラ是ヲ持ヘル人ノ頭ノ中ニハ、ソレ位ノコトハアル筈デアル、ソレヲ此時分ノ政府委員ハ之ヲ篤ト御考ニナラナケレバ、其條件モドウ云フ條件ヲ附ケテ宜イカ分ラヌト云フヤウナコトデハ、誠ニ恐入タモノデ、是レ程ニ日本ノ進歩ガ遅タシテ居ルカナアト、誠ニ恐入タ、併シ本院ヲ通過スレバ兩院ヲ通過シタノデアルカラ、兩院デ議決セラレタモノデ是マデ御裁可ニナラナイモノハナイト仰シヤル、政府モ仕方ナシニソレハ應ズルト仰シヤル、誠ニ好イアラウト思ヒマス、併シ本院ハ丁度豫算委員會ダトカ、ヤカマシイ義務教育費國庫負擔金ト云フヤウナ委員會ガアツテ多數才出デニナラヌノデアリマスカラ、ソレハ聽カ

ナカタ、惜シイ哉、高橋ノ意見ハ聽カナカッタカラト云フノデ、或ハ之ニ政府ガサウ言フナラバ、政府ノ方ニ贊成シテ置カウカト云フヤウナ御方ガアルカモ知レヌカラ、悪クスルト本年ハ是ガドウモオ陀拂ニナルカモ知レナイ、私ハ通過スルモノト見テ居ルガ、唯斯カル問題ニ付テ、既ニ男子ニ許スガ、女子デハ同ジヤウニハイカヌト仰シヤルナラバ、其イカヌ點ヲ私ハ一ツ承ハリタイ、是ハ政府委員カラ承ハッテモ宜シイ、女子デハ此儘デハイカナイ、ソレモ併シ篤ト考ヘナケレバ分ラヌゾト仰シヤルナラバ、其考ヘナケレバ分ラヌト仰シヤル事ダケノ御考デモ宜イ、ソレヲ承ハリタイ、ソレカラ總理大臣ノ之ニ對スル御所見ハ如何、マサカ僅ニ女子ノ公權デアル、之ヲ許シタ所デ府縣會議員ニナルノガ止メダ、其位小々ボケナル事ハ俺等ノ總理大臣ニ迄之ヲ尋ネルト云フノハ、非常識ダトモ仰シヤルマイト私ハ思フカラ、ドウカ之ニ對スル御所見ヲ承ハリタイ

員ヨリ御答ヲ申シマシタ通り、公民權ヲ婦人ニ與ヘルト云フコトニ關シテハ、大體ニ於テ異論ハアリマセヌ、唯政府委員モ申シタ通り、其公民權ノ範圍トカ、其資格ノ條件ニ付テ尙ホ十分ニ考究ヲ要スル餘地ガ残シテ居リマス、然ラバ今日迄サウ云フ問題ニ關シテ何等ノ研究ヲシテ居ナカツカト言ヒマスト、サウデアリマセヌ、熱心ニ研究シテ居リマスケレドモダ結論ニ達シテ居ナイ點ガアルノデアリマス、依テ其點ニ付キマシテ是ヨリ十分ニ調査考究ヲ遂ゲナケレバナラヌ、從テ本案ニ對シテ今直ニ此場合同意ヲ表スト云フコトハ出來ナイト云フコトヲ御答ヘ致シマス、尙ホ其他ノ調査考究ヲ要スルト申シマシタ點ニ付テノ御質問ニ對シテハ、政府委員ヨリ更ニ御答ヘ致シマス

◎議長（公爵徳川家達君） 宜シウゴザイマス
カラ此席カラ致シマス
◎伯爵二荒芳徳君 只今ノ問題ニ付キマシテ
一言政府當局ニ御伺ヒ致シタイト存ジマ
ス、高橋琢也君ノ御質問ニ付キマシテ、濱
口總理カラモ高橋琢也君ノ進歩シタル御考
ノ下ニト云フ御言葉ガアリマシタ、私ハ此
機會ニ於キマシテ、高橋君ノ仰セラレマシ
タ一トクサリノ中ニ、亞米利加ノ婦人ヲ根
據トンテ日本ノ婦人ノ參政權ヲ論ゼラレマ
シタコトニ付キマシテハ、多大ノ異議ヲ申
出タイト思フノデアリマス、進歩ト云フコ
トハ、明治維新直後ノ影響ヲ受ケタ人ニニ
於テハ、西洋ヲ模倣スルコト即チ進歩ナリ
トシ、若クハ舶來品即チ優良品ナリト考ヘ
ルガ如キ傾向ガアッタ存ジマスガ、既ニ昭
和ノ日本ニ於キマシテハ、我ミハ日本ノ國タ
ル家ノ眞面目ニ對シマシテ創作ヲ要求シテ居
リマス、徒ニ外國然ルガ故ニ日本爾カアル
ベシトカ、或ハ外國ノ先進國ヲ後進國タル
日本ガ模倣スルト云フヤウナコトハ、甚シ
ク退歩ダト思フノデアリマス、此故ニ、勿
論一ツノ形容ノ言葉デアッタラウトハ存ジ
マスルガ、婦人參政權ノ問題、若クハ公民
權ノ問題ト云フモノハ、實ニ眞面目ナ問題
ダド存ジマス、又五箇條ノ御誓文ニ仰セ出
サレマシタ思召ト云フモノハ、決シテ外國
模倣デハナインデアリマス、神武ノ創業ニ
還レト云フ民族的ノ深キ信念ノ下ニ行ハレ
ラ其根柢タルヤ必ズ日本ノ個性ニ基キマシ
テ、而シテ此重大ナル國民トシテノ權利ヲ
御與ヘニナルカ、ナラニカト云フコトヲ當
局ニ於テ十分御考究ニナルコトヲ希望スル
ノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ
一言、御答ヲ得ルト云フコト迄ハ願ヒマセ
ス、若シ暗黙ニ……御起チニナラナカッタナ

ラバ、私ノ所信ニ向シテ、暗黙ニ御答ヲ戴イ
クモノト、サウ感ジタイト存ジマス
〔高橋琢也君〕 議長（公爵德川家達君） 高橋君ハドウ云
フコトデスカ
〔高橋琢也君〕 只今二荒伯カラ私ノ質問演
説ニ付キマシテ御意見ガ出マシタ、一言私
ハ辯明シタイト存ジマス、御許シニナリマ
スカ
〔議長（公爵德川家達君）〕 左様ナ御要求ニ
ハ、許スコトハ出來マセヌ
〔高橋琢也君〕 ソレハ又ドウ云フ譯デスカ
〔議長（公爵德川家達君）〕 此際ハ質疑ニ御
止メヲ願ヒタイト思ヒマス、討論ハ委員長
ノ報告ニナシテカラニ願ヒタイ、暫ク御猶豫
ヲ御願ヒ致シマス
〔高橋琢也君〕 只今議長カラ御差止メニナ
リマシタカラ、ソレデハ暫ク機會ノ參リマ
スルマデ御待チラシテ、機會ガ參リマシタ
ナラバ、荒伯ニ私ハ申上ゲタイト思ヒマス
〔議長（公爵德川家達君）〕 特別委員ノ氏名
ヲ書記官ラシテ朗讀ヲ致サセマス
〔瀬古書記官朗讀〕

市制中改正法律案外二件特別委員

候爵佐々木行忠君 子爵白川 資長君
子爵清岡 長言君 塚本 清治君
男爵黒田 長和君 高橋 琢也君
阪本彰之助君
高廣 次平君
ヲ許シマス
〔森田福市君演壇ニ登ル〕
〔議長（公爵德川家達君）〕 日程第一、國務
大臣ノ演説ニ關スル件、森田福市君ニ發言
〔森田福市君〕 私ノ質問ハ多岐ニ瓦ツテ居
ルノデアリマスガ、會期切迫ノ折柄デアリ
マスカラ、頗る緊縮ヲ加ヘテ綱紀問題ダケ
ニ關シテ總理大臣ニ御尋ネシテ見タイト思
ヒマス、現内閣が國民ニ向シテ消費ノ節約ヲ
強要シテ居ラレマス、今日緊縮シ、節約ス
ルハ他日大イニ伸ビントスル前提デアルト

〔議長（公爵德川家達君）〕 高橋君ハドウ云
フコトデスカ
〔高橋琢也君〕 只今二荒伯カラ私ノ質問演
説ニ付キマシテ御意見ガ出マシタ、一言私
ハ辯明シタイト存ジマス、御許シニナリマ
スカ
〔議長（公爵德川家達君）〕 左様ナ御要求ニ
ハ、許スコトハ出來マセヌ
〔高橋琢也君〕 ソレハ又ドウ云フ譯デスカ
〔議長（公爵德川家達君）〕 此際ハ質疑ニ御
止メヲ願ヒタイト思ヒマス、討論ハ委員長
ノ報告ニナシテカラニ願ヒタイ、暫ク御猶豫
ヲ御願ヒ致シマス
〔議長（公爵德川家達君）〕 特別委員ノ氏名
ヲ書記官ラシテ朗讀ヲ致サセマス
〔瀬古書記官朗讀〕

態デハ、何ノ爲メノ節約デアルカト云フヤ
ウナコトモ、折角ノ政府ノ宣傳モ實效ヲ收ム
ルコトガ困難デハナイカト考ヘラレルノデ
アリマス、會社ノ破綻ノ場合ニ於テモ、製
造工業ノ破綻ノ場合ニ於テモ、或ハ保險銀
行等ノ場合トハ其趣キヲ異ニシテ居ルノデ
アリマスカラ、保険會社ヤ銀行ノ破綻ハ其
影響ノ及ブ所ガ極メテ廣汎デアリマス、往
往社會全般ニ動搖混亂ヲ來スコトガアル、
昭和二年ノヤウナ金融恐慌ノ如キハ誠ニ其
適例デアルト考ヘマス、殊ニ悲慘ナルハ、多
數國民ノ粒々苦辛ノ結晶ヲ一朝ニシテ煙ニ
シテシマウノデアリマス、或銀行破綻ノ場
合ニハ由々敷社會問題モ伴フコトデアリマ
ス、政府トシテハ眞ニ國民一般ノ消費節
約、貯蓄獎勵ヲ望ムナラバ、今少シ銀行ノ
監督ヲ厲行シ、不正背任等アル場合ハ斷乎
トシテ是ガ肅正ヲ圖ルト云フ御考ハアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダル昭和二年ノ銀行ノ取付騒動、財界ニ將
ヶ破綻ヲ來サムトスルヤウナ状態ヲ來シタ
原因ニ付テ御尋ネシテ見タイノデアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダルノデアリマス、所謂綱紀肅正内閣デ
アリマス、又濱口首相其人ハ人格ノ人トシ
テ、正義ノ支持者トシテ一世ノ尊敬ヲ一身
ニ集メテ居ラレル人デアリマス、啻ニ自ラ
惡ヲナザザルノミナラズ、他人ノ不正非違
モ許サナイ嚴格ナル人デアルト世間デハ唱

〔議長（公爵德川家達君）〕 日程第一、國務
大臣ノ演説ニ關スル件、森田福市君ニ發言
〔森田福市君〕 私ノ質問ハ多岐ニ瓦ツテ居
ルノデアリマスガ、會期切迫ノ折柄デアリ
マスカラ、頗る緊縮ヲ加ヘテ綱紀問題ダケ
ニ關シテ總理大臣ニ御尋ネシテ見タイト思
ヒマス、現内閣が國民ニ向シテ消費ノ節約ヲ
強要シテ居ラレマス、今日緊縮シ、節約ス
ルハ他日大イニ伸ビントスル前提デアルト
後ニ至リマシテ大正十五年ノ政府デアッタ
カト記憶イタシマスガ、彼ノ日清製粉ト日
本製粉ノ合併問題ガ起リマシテ、遂ニ其時
ニ合併談ガ不調ニ終、大陸、鈴木商店ガ金融
ニ因ル、鈴木商店ガ金融ニ因ルカラドウカ
助ケテ貰ヒタイト臺灣銀行ニ泣付キマシタ
惨澹タル有様デアリマス、現下ノ經濟狀態
既設會社ノ株式ハ暴落ニ次グニ暴落ヲ以テ
シ、殆ド停止スル所ヲ知ラナイト云フ哀
憐ノ御一人デアッタノデアリマス、其當時
シテ、再び其金ハ貸スコトハ出來ナイト拒
止メヲ願ヒタイト思ヒマス、當時ド
テ云フコトニナルカ分ラヌト云フ不安狀
態デハ、何ノ爲メノ節約デアルカト云フヤ
ウナコトモ、折角ノ政府ノ宣傳モ實效ヲ收ム
ルコトガ困難デハナイカト考ヘラレルノデ
アリマス、會社ノ破綻ノ場合ニ於テモ、製
造工業ノ破綻ノ場合ニ於テモ、或ハ保險銀
行等ノ場合トハ其趣キヲ異ニシテ居ルノデ
アリマスカラ、保険會社ヤ銀行ノ破綻ハ其
影響ノ及ブ所ガ極メテ廣汎デアリマス、往
往社會全般ニ動搖混亂ヲ來スコトガアル、
昭和二年ノヤウナ金融恐慌ノ如キハ誠ニ其
適例デアルト考ヘマス、殊ニ悲慘ナルハ、多
數國民ノ粒々苦辛ノ結晶ヲ一朝ニシテ煙ニ
シテシマウノデアリマス、或銀行破綻ノ場
合ニハ由々敷社會問題モ伴フコトデアリマ
ス、政府トシテハ眞ニ國民一般ノ消費節
約、貯蓄獎勵ヲ望ムナラバ、今少シ銀行ノ
監督ヲ厲行シ、不正背任等アル場合ハ斷乎
トシテ是ガ肅正ヲ圖ルト云フ御考ハアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダル昭和二年ノ銀行ノ取付騒動、財界ニ將
ヶ破綻ヲ來サムトスルヤウナ状態ヲ來シタ
原因ニ付テ御尋ネシテ見タイノデアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダルノデアリマス、所謂綱紀肅正内閣デ
アリマス、又濱口首相其人ハ人格ノ人トシ
テ、正義ノ支持者トシテ一世ノ尊敬ヲ一身
ニ集メテ居ラレル人デアリマス、啻ニ自ラ
惡ヲナザザルノミナラズ、他人ノ不正非違
モ許サナイ嚴格ナル人デアルト世間デハ唱

〔議長（公爵德川家達君）〕 日程第一、國務
大臣ノ演説ニ關スル件、森田福市君ニ發言
〔森田福市君〕 私ノ質問ハ多岐ニ瓦ツテ居
ルノデアリマスガ、會期切迫ノ折柄デアリ
マスカラ、頗る緊縮ヲ加ヘテ綱紀問題ダケ
ニ關シテ總理大臣ニ御尋ネシテ見タイト思
ヒマス、現内閣が國民ニ向シテ消費ノ節約ヲ
強要シテ居ラレマス、今日緊縮シ、節約ス
ルハ他日大イニ伸ビントスル前提デアルト
後ニ至リマシテ大正十五年ノ政府デアッタ
カト記憶イタシマスガ、彼ノ日清製粉ト日
本製粉ノ合併問題ガ起リマシテ、遂ニ其時
ニ合併談ガ不調ニ終、大陸、鈴木商店ガ金融
ニ因ル、鈴木商店ガ金融ニ因ルカラドウカ
助ケテ貰ヒタイト臺灣銀行ニ泣付キマシタ
惨澹タル有様デアリマス、現下ノ經濟狀態
既設會社ノ株式ハ暴落ニ次グニ暴落ヲ以テ
シ、殆ド停止スル所ヲ知ラナイト云フ哀
憐ノ御一人デアッタノデアリマス、其當時
シテ、再び其金ハ貸スコトハ出來ナイト拒
止メヲ願ヒタイト思ヒマス、當時ド
テ云フコトニナルカ分ラヌト云フ不安狀
態デハ、何ノ爲メノ節約デアルカト云フヤ
ウナコトモ、折角ノ政府ノ宣傳モ實效ヲ收ム
ルコトガ困難デハナイカト考ヘラレルノデ
アリマスカラ、保険會社ヤ銀行ノ破綻ハ其
影響ノ及ブ所ガ極メテ廣汎デアリマス、往
往社會全般ニ動搖混亂ヲ來スコトガアル、
昭和二年ノヤウナ金融恐慌ノ如キハ誠ニ其
適例デアルト考ヘマス、殊ニ悲慘ナルハ、多
數國民ノ粒々苦辛ノ結晶ヲ一朝ニシテ煙ニ
シテシマウノデアリマス、或銀行破綻ノ場
合ニハ由々敷社會問題モ伴フコトデアリマ
ス、政府トシテハ眞ニ國民一般ノ消費節
約、貯蓄獎勵ヲ望ムナラバ、今少シ銀行ノ
監督ヲ厲行シ、不正背任等アル場合ハ斷乎
トシテ是ガ肅正ヲ圖ルト云フ御考ハアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダル昭和二年ノ銀行ノ取付騒動、財界ニ將
ヶ破綻ヲ來サムトスルヤウナ状態ヲ來シタ
原因ニ付テ御尋ネシテ見タイノデアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダルノデアリマス、所謂綱紀肅正内閣デ
アリマス、又濱口首相其人ハ人格ノ人トシ
テ、正義ノ支持者トシテ一世ノ尊敬ヲ一身
ニ集メテ居ラレル人デアリマス、啻ニ自ラ
惡ヲナザザルノミナラズ、他人ノ不正非違
モ許サナイ嚴格ナル人デアルト世間デハ唱

〔議長（公爵德川家達君）〕 日程第一、國務
大臣ノ演説ニ關スル件、森田福市君ニ發言
〔森田福市君〕 私ノ質問ハ多岐ニ瓦ツテ居
ルノデアリマスガ、會期切迫ノ折柄デアリ
マスカラ、頗る緊縮ヲ加ヘテ綱紀問題ダケ
ニ關シテ總理大臣ニ御尋ネシテ見タイト思
ヒマス、現内閣が國民ニ向シテ消費ノ節約ヲ
強要シテ居ラレマス、今日緊縮シ、節約ス
ルハ他日大イニ伸ビントスル前提デアルト
後ニ至リマシテ大正十五年ノ政府デアッタ
カト記憶イタシマスガ、彼ノ日清製粉ト日
本製粉ノ合併問題ガ起リマシテ、遂ニ其時
ニ合併談ガ不調ニ終、大陸、鈴木商店ガ金融
ニ因ル、鈴木商店ガ金融ニ因ルカラドウカ
助ケテ貰ヒタイト臺灣銀行ニ泣付キマシタ
惨澹タル有様デアリマス、現下ノ經濟狀態
既設會社ノ株式ハ暴落ニ次グニ暴落ヲ以テ
シ、殆ド停止スル所ヲ知ラナイト云フ哀
憐ノ御一人デアッタノデアリマス、其當時
シテ、再び其金ハ貸スコトハ出來ナイト拒
止メヲ願ヒタイト思ヒマス、當時ド
テ云フコトニナルカ分ラヌト云フ不安狀
態デハ、何ノ爲メノ節約デアルカト云フヤ
ウナコトモ、折角ノ政府ノ宣傳モ實效ヲ收ム
ルコトガ困難デハナイカト考ヘラレルノデ
アリマスカラ、保険會社ヤ銀行ノ破綻ハ其
影響ノ及ブ所ガ極メテ廣汎デアリマス、往
往社會全般ニ動搖混亂ヲ來スコトガアル、
昭和二年ノヤウナ金融恐慌ノ如キハ誠ニ其
適例デアルト考ヘマス、殊ニ悲慘ナルハ、多
數國民ノ粒々苦辛ノ結晶ヲ一朝ニシテ煙ニ
シテシマウノデアリマス、或銀行破綻ノ場
合ニハ由々敷社會問題モ伴フコトデアリマ
ス、政府トシテハ眞ニ國民一般ノ消費節
約、貯蓄獎勵ヲ望ムナラバ、今少シ銀行ノ
監督ヲ厲行シ、不正背任等アル場合ハ斷乎
トシテ是ガ肅正ヲ圖ルト云フ御考ハアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダル昭和二年ノ銀行ノ取付騒動、財界ニ將
ヶ破綻ヲ來サムトスルヤウナ状態ヲ來シタ
原因ニ付テ御尋ネシテ見タイノデアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダルノデアリマス、所謂綱紀肅正内閣デ
アリマス、又濱口首相其人ハ人格ノ人トシ
テ、正義ノ支持者トシテ一世ノ尊敬ヲ一身
ニ集メテ居ラレル人デアリマス、啻ニ自ラ
惡ヲナザザルノミナラズ、他人ノ不正非違
モ許サナイ嚴格ナル人デアルト世間デハ唱

〔議長（公爵德川家達君）〕 日程第一、國務
大臣ノ演説ニ關スル件、森田福市君ニ發言
〔森田福市君〕 私ノ質問ハ多岐ニ瓦ツテ居
ルノデアリマスガ、會期切迫ノ折柄デアリ
マスカラ、頗る緊縮ヲ加ヘテ綱紀問題ダケ
ニ關シテ總理大臣ニ御尋ネシテ見タイト思
ヒマス、現内閣が國民ニ向シテ消費ノ節約ヲ
強要シテ居ラレマス、今日緊縮シ、節約ス
ルハ他日大イニ伸ビントスル前提デアルト
後ニ至リマシテ大正十五年ノ政府デアッタ
カト記憶イタシマスガ、彼ノ日清製粉ト日
本製粉ノ合併問題ガ起リマシテ、遂ニ其時
ニ合併談ガ不調ニ終、大陸、鈴木商店ガ金融
ニ因ル、鈴木商店ガ金融ニ因ルカラドウカ
助ケテ貰ヒタイト臺灣銀行ニ泣付キマシタ
惨澹タル有様デアリマス、現下ノ經濟狀態
既設會社ノ株式ハ暴落ニ次グニ暴落ヲ以テ
シ、殆ド停止スル所ヲ知ラナイト云フ哀
憐ノ御一人デアッタノデアリマス、其當時
シテ、再び其金ハ貸スコトハ出來ナイト拒
止メヲ願ヒタイト思ヒマス、當時ド
テ云フコトニナルカ分ラヌト云フ不安狀
態デハ、何ノ爲メノ節約デアルカト云フヤ
ウナコトモ、折角ノ政府ノ宣傳モ實效ヲ收ム
ルコトガ困難デハナイカト考ヘラレルノデ
アリマスカラ、保険會社ヤ銀行ノ破綻ハ其
影響ノ及ブ所ガ極メテ廣汎デアリマス、往
往社會全般ニ動搖混亂ヲ來スコトガアル、
昭和二年ノヤウナ金融恐慌ノ如キハ誠ニ其
適例デアルト考ヘマス、殊ニ悲慘ナルハ、多
數國民ノ粒々苦辛ノ結晶ヲ一朝ニシテ煙ニ
シテシマウノデアリマス、或銀行破綻ノ場
合ニハ由々敷社會問題モ伴フコトデアリマ
ス、政府トシテハ眞ニ國民一般ノ消費節
約、貯蓄獎勵ヲ望ムナラバ、今少シ銀行ノ
監督ヲ厲行シ、不正背任等アル場合ハ斷乎
トシテ是ガ肅正ヲ圖ルト云フ御考ハアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダル昭和二年ノ銀行ノ取付騒動、財界ニ將
ヶ破綻ヲ來サムトスルヤウナ状態ヲ來シタ
原因ニ付テ御尋ネシテ見タイノデアリマ
ス、濱口内閣ハ政治ノ公明、民風ノ作興、
ダルノデアリマス、所謂綱紀肅正内閣デ
アリマス、又濱口首相其人ハ人格ノ人トシ
テ、正義ノ支持者トシテ一世ノ尊敬ヲ一身
ニ集メテ居ラレル人デアリマス、啻ニ自ラ
惡ヲナザザルノミナラズ、他人ノ不正非違
モ許サナイ嚴格ナル人デアルト世間デハ唱

日本製粉會社方日清製粉會社トノ合併不調
ノ爲窮状ヲ呈スルヤ、鈴木商店ノ金融ヲ
壓迫シ、延イテ臺灣銀行ニ容易ナラザル結果ヲ來スベキ事態トナリタリ、然ルニ當時
臺銀トシテハ日粉ヲ救濟セザルベカラザル
何等ノ取引關係ヲ有セザリシモ、只日粉破
綻ノ場合、鈴木ニ及ボス影響ニ付テハ誠ニ
憂慮ニ堪ヘザルモノアリタルヲ以テ、遂ニ
日粉申出ニ係ル救濟資金八百万圓ト、鈴木
ガ日粉手形ニ依リ自己ノ金融ヲ賄ヒ來リタル
モノ、今ヤ市場割引繼續不能トナリタル
等ニテ、鈴木商店限リノ資金不足八百万圓
トハ、曩ニ臺灣銀行ノ鈴木ニ對シテハ貸増
ヲ爲サヤル旨ノ既定方針トハ相容レザリシ
モ、結局是等貸出ノ爲ニ特ニ損失ヲ蒙ラシ
メザルベシトノ政府ノ諒解ヲ得テ、左記ノ
通り合計一千六百万圓ノ貸出シヲ爲スニ至
レリ」是ハ大藏省ノ記錄デアルカラ間違ヒ
ハアリマスマイ、即チ政府ガ如何ナル理由
ノ下ニ損失ヲ臺灣銀行ニ與ヘヌト云フ諒解
ヲ與ヘタノデアリマセウカ、此損失ヲ與ヘ
ヌト云フコトハ即チ保證ヲシテヤルコトデ
アリマス、其諒解ガ……我ミガ聞イテ居ル
諒解トハ、臺灣銀行ガ既ニ震災手形ノ締切
後ニ其鈴木商店ノ手形デ役ニ立タナイ舊手
形、即チ再割引ノ利カナイ手形ヲ千六百万
圓ト云フモノヲ震災手形ニシテヤル、即チ
震災手形ニ取レナイ手形デアルケレドモ、
特ニ震災手形ニ取テヤルカラ、ソレデオ前
ノ方ハ、臺灣銀行ハ損ヲスルコトガナイデ
ハナイカト云フ諒解ヲ與ヘラレタ、サウシ
テ其後ニ至テ臺灣銀行カラ舊手形ヲ……
是ハ此記録ノ中ニアルノデアリマスカラ、
大藏省ノ御方ハ能ク御承知デアリマセウ、舊
手形ノ一千六百万圓、震災手形デナイモノヲ
震災手形ニ繰入レテヤッタ、サウシテ此損失
ヲカケタ、臺灣銀行ニハ損ヲカケズニ済ム
ト云フノデアリマスカラ、臺灣銀行ニ假ニ
ソレダケ損ヲカケヌトシテモ、臺灣銀行ガ
今日デハ損ガカ、シテ居ラヌデモ、今日國民

ニ損害ヲ與ヘルコトヘ何レニシテモ結果ハ同一ニナッテ居ルノデアリマス、即チ計畫的ニ損ヲ與ヘタノデアル、此一千六百万圓の金ハ出サセヌデモ差支ハナカツク、出サセナケレバソレダケ國民ノ負擔ハ輕ク助カツク、臺灣銀行デスラ、二億八千万圓貸シテ、最早餘地ノナイ、モウ貸スコトヲシナイト言ウテ居ルモノニスラ、強制的ニ政府ハ貸シテ居ル、サウシテ是ハ刑事問題ニナッテ居ルサウデスカラ如何カト思ヒマスガ、矢張リ此告訴狀ノ中ヲ見マスルト云フト、其千六百万圓ノ中デハ、二百數十萬圓、或ハ三十數万圓、運動費ニ出テ居ル、而モ現内閣ニ居ル人ミノ中ニ相當ナ金ガ出テ居ルヤウニ書イテアリマス、是等ハ綱紀肅正ヲ御唱ヘニナル現内閣ノ諸公、而モ總理大臣ハ綱紀肅正ヲ高唱サレマス資格ガアルデアリマセウカ、又此諒解ヲ與ヘルト云フヤウナコトハナカヽ簡單ニ行クモノデハナイト思ヒマスガ、此諒解ガ私ガ今申上ゲタヤウナ諒解デアリマスカ、或ハ一千六百万圓ノ震災手形ニ非ザルモノヲ震災手形トシテ御取りニナッタノデナッタナラバ、何ヲ諒解ナサツクノデアリマセウカ、此點カ明瞭ニ聽キタインデアリマス、ソレカラ今一つハ、是ハ追々テ御答辯ノ如何ニ依テ私ノ方カラ又申上ゲルコトニ致シマセウ、要スルニ綱紀ヲ大變紊乱サレテ、サウシテ其一千六百万圓ノ爲ニ鈴木商店ハ三四四百万圓ノ金ヲ出しテ居リマスケレドモ、出シタカラト云シテ居リマスケレドモ、出シタカラト云テ、元ヲ拂ハヌ金デアルカラ、幾ラ出シタゞテ鈴木商店ハ痛イコトモナシシ、痒イコトモナイ、又貸シテヤッタ方デモ、取レヌコトヲ覺悟シテヤッタノデアルカラ、其間、事情ノ存シテ居ルノハ明カナ問題デアリマス、又此件ニ關聯シテ告發狀ガ二件出テ居ル、而モ其主謀者ハ東京市ニ居リ、連累者ガ神戸市ニ居ル、其主謀者ノ居ル東京檢事局ノ小山檢事總長ニ對シテ出シタ告發狀ヲ、政府ハ、司法權ノ壓迫ト云フカ、政府

ノ壓迫ト云フカ、之ヲ遂ニ神戸ノ地方検事
局ニ、連累者ノ居ル神戸地方検事局ニ調査
ヲ委嘱シタ、其理由ハ足元カラ妙ナコトガ
起キチヤイケナイカラト云フ政府ノ恐レデ
アッタノアルト云フコトヲ世間ハ稱ヘテ
居ルノデアリマス、果シテサウ云フ風ナコ
トニマデ今日ハ司法權ニ壓迫ヲ御加ヘナサ
タト云フコトガ事實デアリマセウカ、或ヘ
居ルノデアリマセウカ、中ノ告發文ノ主ナ
ル所ニハ、「大損害ヲ被ラシメタル事實ハ天
事實ニ非ズシテ、神戸デナク東京檢事局デ
矢張リ此一件ノ告發事件ヲ御調べニナシテ
居ルノデアリマセウカ、中ノ告發文ノ主ナ
ル所ニハ、「大損害ヲ被ラシメタル事實ハ天
下周知ノ事實ニシテ、若機内閣當時ノ濱口、片岡
氏等政府當路者ニ對シ金二百數十万圓ヲ、
救濟ノ爲メニ震手補償増額ヲ認メテ金一
千六百万圓ヲ支出セシメ、然モ之レガ借入
圓ノ運動費ヲ提供シタルガ如キハ眞眼者ノ
立ニ震手補償法案通過等ノ爲メ濱口、片岡
氏等政府當路者ニ對シ金三百數十萬圓ヲ、
其他ノ貴衆兩院關係者等ニ對シ金三十數万
圓ノ運動費ヲ提供シタルガ如キハ眞眼者ノ
殆ド等シク認ムル所ニシテ、カヘル國家ヲ
毒シ國民ヲ欺クノ徒輩ニ對シテ國ヲ舉
ゲテ之ガ糾弾ニ當ラザルベカラザルナリ」
斯様ナコト、以下非常ニ酷イコトガ澤山書
シヌズ、連累者ノ居ル神戸ノ方ニ移牒セラ
レタト云フコトハ果シテ事實デアリマセウ
カ、如何デアリマセウカ、斯ウ云フ綱紀ノ
問題ニ關聯シテツヲ御尋ねスルノデアリ
マス、今一つ總理大臣ニ御尋ね致シテ見タ
イト思ヒマスルノハ、軍縮ニ關係シタコト
デアリマス、此軍縮ニ關係シタコトデハ、
衆議院ナリ、當院ナリ、或ハ豫算委員會デ
相當論議サレテ居ルノデアリマスガ、何レ
モ總理大臣ハ責任ヲ負フトノミ御答ニナッ
テ居ルノデアリマス、日本ノ主張ガ容レラ

レズシテ、多少讓歩シタコトガ宜イトカ悪
イトカ、或ハ宜イカ悪イカト云フコトハ結
果ヲ見ナイノダカラ分リマセヌガ、政府ノ
責任ヲ負フト云フ意味ハ事務上行政上ノ責
任ヲ負フ、即チ若シ假想敵國ト一戰ヲ交ヘ
タ場合ニ、日本ガ敗戰國トナツタヤウナ時
ニ辭職スルトデモ云フヤウナ意味ノ責任デ
アリマセウカ、或ハ私ハソレナラバ今ノ内
閣方續イテ居ル間ニ餘所ノ國ト戰争ノアル
ヤウナコトハアルマイカラ大言壯語サレ
コトガ出來ルト思ヒマスガ、一朝事が有ツタ
時ニハドウナサル、或ハソンナ事ガ有ツ
テモ、責任ガ負ヘルト云フコトハ、斯ウヽ
云々デアルカラ、國民ハ安心シテ宜シイ、
政府ガ責任ヲ負フト云フノハ數字ガ斯ウ云
フ風ニ出テ來ルナラ國民ハ安心シテ宜シイ、
責任ガ負ヘルト云フコトノ腹ニ入ルヤウナ
説明ガアルナラバ、私ハ責任ハ御負ヒニナ
ルト言明セラレテモ差支ナイト思フ、併シ
其數字的ノ説明ガ與ヘラレズニ、單ニ責任
ヲ負フト言ハレタノデハ、事務上行政上ノ
責任ヲ御負ヒニナルグケデアルカラ、國家
ニ一旦事ガ有ツタ時ニ何ノ役ニモ立タナイ、
間ニ合ハナイモノデアルト私ハ考ヘルノ
デアリマス、從テ其責任ノ程度、所謂如何
ナル責任ヲ負ハルト云フ意味デアルカ、
是ガ承ハツテ見タイノデアリマス、今一つハ
選舉ニ關係シタ問題デアリマスガ、現在ノ
衆議院議員ノ選舉法ノ中ニ選舉費用ノ制限
ガアルノデアリマスガ、政府ハ之ヲ撤廢サ
レル意思ハアリマセヌカ、法定費用一万二
千圓デアリマスガ、此位ナ金額デ今日ノ選
舉費ハ足ツテ居ラヌコトハ言フヲ俟タナイ、
大臣ナドニナル人デモ或ハ私ハドウカト思
ヒマス、況シテ其他ノ人ニハ一般的ニ、其
費用ハ五万掛ツタ、六万掛ツタ、甚シキハ十
万掛ツタト稱ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ
此法定ノ一万二千圓位ノ費用ヲ使ツ人ハ
殆ド表面ニ現レテ來ナイ、詰リ届ケル方モ
届ヲ受ケル方モ非常ニ複雜ナル手數ヲ掛ケ

ルノデアフテ、何等國ニ益スル問題デナイ、又恐ラク總理大臣モ自分ノ與黨ノ人ミニ聞イテモ、一万二千圓ソコラノ選舉費デ濟ンダ人ハ一人モアルマイト思ヒマス、同濟マナイナラバ法律ヲ作シテ束縛シテ色ミ手數ヲ候補者ニ掛ケタリ警察官高等係ナドニ掛ケズニ、イッソ此點ハ廢シシマツテ、自由自在ニ使ヘルヤウニシタ方ガ却テ宜イコトナガイカ、而モ法律ト云フモノガ在ツテ守ラヌデ居ルト云フコトヲ國民ニ示スヨリモ、澤山アリマスケレドモ、時間ガアリマセヌフ意味ニ於テ此法律ハ撤廢サレル考ハナイデアリマセウカ、マダ御尋ネシタイコトガ申ル以上ハ法律ハ守ルベキモノデアルト云カラ御答ヲ待チマシテ御尋不致シマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

●國務大臣（濱口雄幸君） 森田君ニ御答ヲ致シマス、第一ニ政府ハ消費節約ノ獎勵ヲシテ居ルケレドモ、一國ノ信用程度ガ國民ノ十分ナル安心ヲ得ル程度ニナツテ居ナイニ依ツテ、消費ノ節約ハ其實效ヲ奏シナイデハニイカト云フ意味デアッタト思ヒマス、私ハハッキリ申シマス、今日我國ノ信用程度ハ何等不安ヲ感ズル疑忌ガナイト云フコトヲ申シマス、此點ニ付テ國民モ安心ヲサレテ、サウシテ時蓄ヲスルナリ、預金ヲスルナリ、如何ナル形式ニ依ツテ其節約ノ結果ヲ處分ニシマスカ、要スルニ今日ノ信用程度ハ何等憂慮スベキ状態デハアリマセヌ、是ハ明言ヲ致シマス、其次ニ綱紀問題ニ關聯シテ、震災手形ノコトヲ論ゼラレ、大正十五年末ニ於ケル製粉會社ノ合併ノコトニ付テ云々サレマシタ、製粉會社ノ合併ガドウ云フ事件デアッタカ、ドノ會社トドノ會社トガ合併答辯スルコトガ出來マセヌ、又何カ鈴木商アリマス、少シモ承知イタンマセヌ、從テ店デアリマスカ、臺灣銀行デアリマスカ、其事件ニ關聯シテ私ガ告發ヲ受ケテ居ルト

云フヤウナ御話アリマシタ、ドウ云フ告
發ヲ受ケテ居リマスカ、少シモ存ジマセヌ、又假令告發狀ガ出テ居リマシテモ、斯
云フ席ニ於テ御互ニ論ズベキ事件ハナイト思ヒマス、是ハ答辯デハアリマセスケレ
ドモ、チヨット此機會ニ於テ御参考ニ私ノ所感ヲ一言イタシマスルガ、近時社會ノ人
心ニ於テ色ニ憂慮スベキ弊風ガアルト存ジマス、殊ニ我ニノ最モ憂フベキコトハ、憂
慮スベキコトハ所謂健訟ノ弊デアリマス、何事ニ依ラズ、檢事局ニ告發ヲ致シ、ソレヲ世間ニ公ケニシテ、公人ノ名譽ヲ毀損セムトスルモノガアル、誠ニ淺薄ナル、憂フ
ベキ現象デアルト存ジマス、次ニ倫敦ノ軍縮協定ニ關シ、政府ハ國防上、責任ヲ負フ
ト云フコトヲ明言シタノデアルガ、如何ニシテ責任方負ヘルカト云フコトヲ、數字ニ
依テ明瞭ニ示サレナケレバ、安心ガ出來ナイト云フ、御質問デアリマス、是ハ他ノ機
會ニ於テモ私ハ事情ノ許ス限り相當ノ説明ヲシテ置イタ筈デアリマス、又外務大臣カラモ他ノ機會ニ於テソレゾレ説明ガアッタノデアリマス、此度ノ倫敦條約ノ結果トシテ帝國ノ保有スペキ所ノ兵力量ノ數字ハ、此度ノ條約ハ一千九百三十六年迄ノ事態ノ條約ニ依テ明瞭ニナッテ居リマス、條約ノ明文ヲ能ク御覽下サレバ自ラ御了解ガ得ラレヤウト存ジマス、第一ニ申上ゲタイコトハ、此度ノ條約ハ一千九百三十五年ニ次ノ軍縮會議ガ開
カルコトニナッテ居リマス、ソレ迄ノ間ニシテアリマス所ノ、帝國ノ保有スペキ海軍ノ兵力量ヲ以テ、政府ハ國防上ノ責任ガ負ヘルト云フコトヲ申シテ居リマス、而シテ條約ノ滿期後ニ於ケル各國ノ事態ヲ律スルガ爲ニ其前年ニ開カルベキ會議ニ於テハ我ガ日本ハ勿論各國共ニ各、其必要ト信ズル主張ヲ自由ニ爲スコトガ出來ルト云フ規定ニナツ居リマス、是バ條約ニ依テ御承知ノ

通リデアリマス、最後ノ御質問ハ、選舉法ヲ改正シテ選舉費用ノ制限ヲ撤廢スルノ意思ナキヤ否ヤト云フコトデアリマス、之ニ付テハ政府ハ過般來選舉革正審議會ヲ設ケマシテ、選舉ノ草正ニ關スル諸般ノ事項ヲ審議中デアリマスガ、只今ノ所デハ、選舉ノ費用ノ制限ヲ撤廢スルト云フ意思ハ、政府トシテハ持ツテ居リマセヌ

◎森田福市君 第一ノ……簡單デアリマスカラ此席カラ申上ダマス、第一ノ質問ニ對シテハ經濟狀態、財界狀態ノ不安ハナシト仰シヤツタノデアリマスガ、私ハドウシテ不安ガナイノデアルカト云フコトヲ伺テ見タイト思ヒマスルガ、アノ有價證券ノ大變ナ值下ガリガアツ、サウシテ此銀行ナドトカ、或ハ其他金融業者ノ方面ハ自分ノ持ツテ居リ、擔保ニ取ッテ居ルモノガ斯カル暴落ヲ來シテ尙且ツ不安ガナイ、所謂私ハ昭和二年後以上ノ不安ガ其間ニ起キテ來ルモノト思フノデアリマス、然ルニ異狀ナシト總理大臣ガ明言サレマスルノハ、如何ナル根據ニ於テ左様ナ明言方出來ルノデアルカ、伺テ見タイノデアリマス、ソレカラニノ項目ハ所謂震災手形問題ニ對シテハ、知ラナイイトヨモヤ總理大臣トシテハ仰シヤリニクイデアリマセウガ、併シ是ハ大藏省臺灣銀行鉛木商店貸出高調、極祕ト云フ帳簿ノ中ニ明カニ書イテアルノデアリマス、其中ニ政府ハ諒解ヲ與ヘル、即チ其時ノ内務大臣デ現總理ハ居ラレルト思ヒマス、其前ノ大藏大臣デアラレルト思ヒマス、ソレデアリナガラ、御承知ガ無イ咎ハナイノデアリマス、御承知ガナクシテ諒解ヲ與ヘ得ラベキモノデナイト考ヘルノデアリマス、千六百万圓ハミスノ、計畫的ニ國民ニ損害ヲ及ボシテ居ル、知ラナイト仰シヤルノハ如何ニモ無責任デハアリマスマイカ、國民ガ膏肓ヲ絞ラレテ苛斂誅求サレタ稅金ヲ以テ負擔シナケレバナラナイヤウナル金ヲ、分リ切シテ損ノ行ク方へ御出シニナツテ、サウシテ此事

自體ガ御承知デナイ、分ラナイト仰シャルノハ如何ニモ御不深切デアルカト考ヘマス、ソレカラ告發事件ヲ、總理大臣ヲ告發シテ居ルカノヤウニ今總理大臣ハ仰シヤタガ、是ハ私ノ言葉ガ足リナカッタノデアラウト思ヒマス、告發サレテ居ル被疑者ノ人ハ、一件ノ方ハ岩崎某、連累者ノ方ハ金子某、或ハモウ一ツノ方ハ住田某、金子某ト云フヤウニナツテ居リマス、其中ニ關聯シテ總理大臣トカ、元ノ大藏大臣デアル片岡氏ノコトガ告發文ノ理由ノ中ニアルノデアル、被疑者ハ私ガ今申上ゲタヤウナ人々デ、總理大臣ヲ被疑者ニシテ告發シテ居ル譯デハアリマセヌ、是ガ私ガ御尋不申上ゲル時ノ言葉ガ足リナカッタノデアラウト考ヘマス、併シ此事件ヲ私ガ御尋ネ申上ゲタノヘ、東京檢事局ニ關係ガアリ、東京檢事局管轄ノコトデアルカラ、東京檢事總長……小山檢事總長ニ告發狀ヲ出シタノニ、政府ハ連累者ニ關係ノアル神戸ヘ殊更之ヲ御廻シニナツタノハ如何ナル關係デアルカト御尋ネスルノデアリマス、即チ東京デ受附ケベキコトヲ神戸ニ御移シニナツタ云フコトノ疑問ヲ以テ御尋シタノデアリマス、私ガ申上ゲルヤウニ足元デ斯ウ云フ問題ガ起キテハ工合ガ惡イカラ田舎ヘ廻シタト仰シリアルノデアリマセウカ、ドウ云フ譯デアリマセウカト云フコトヲ御尋ネ申上ゲタノデアリマス

輸出補償法案

關稅定率法中改正法律案

六百万圓云々、是ハ實際私ノ毫モ關知セザル所デアリマス、何某ノ告發狀ヲ東京ノ檢事局カラ何處力地方ノ方へ移シタ、其理由ハ如何ト云フコトデアリマス、其事件ヲ東京カラ地方へ移シタト云フコトガ事實デアルカドウカ、又ソレガ事實デアルトスルナラバ、其理由如何、左様ナルコトハ答辯スベキモノデハアリマセヌ。

●森田福市君 追究シテ行ケバ限リガナイト思ヒマスガ、ドウモ此問題ハ三ツトモ答辯ハ骨ノ折レルコトノヤウニ考ヘラレマスカラ、私ハ此邊ニ止メタイト思ヒマスガ財界ハ更ニ無事デアル、安全デアルト仰シヤル、信念ヲ持テ居ルト仰シヤル、私ハ信念ヲ以テ財界ハ安全デナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、私ノ言フコトガ實現スルカ、總理大臣ノ言ハレルコトガ實現スルカ、今日以後ニ見テ居ラナケレバナリマセヌガ、私ハ今ニシテ救濟ノ途ヲ御講ジニナラナケレバ、昭和二年ノヤウナコトガ來ルカモ知ラヌト云フコトヲ豫測シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ事前ニ於テ政府ハ適當ナ處置ヲ御執リ下サツテ、サウシテ斯様ナコトガ必要ナイヤウナ政策ヲ御執リヲ願ヒタイト云フコトヲ最後ニ申上げテ置キタイト思ヒマス、其他ノ問題ニ對シテハ、是レ以上ハ申上ゲズニ、私ノ質問ハ終リタイト思ヒマス、尙ホ大藏大臣、内務大臣ニ對スル質問モ會期ガ切迫イタシテ居リマスルカラ、此點ハ見合スコトニ致シマス。

●議長(公爵徳川家達君) 休憩イタシマシテ、午後ハ一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後一時五十九分開議

●議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

(瀬古書記官朗讀)

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

●議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、坂本男爵ニ質疑ノ發言ヲ許シマス

(男爵坂本俊篤君演壇ニ登ル)

本員ハ倫敦會議ノ結果ニ付キマシテ總理大臣ニ御尋不致シタイト存ジマス、會期切迫ノ折柄茲ニ質問第一トシテ御尋ネ致シマスコトハ總テ其前提ヲ避ケマシテ直ニ其簡條書ニ移リタイト存ジマス、質問第一、其一、我ガ若槻全權ハ政府ノ命ヲ啣ミ、倫敦會議ニ於テ此帝國ノ要求ニシテ容レラレザルニ於テ我ガ國防ノ安固ヲ期シ難シト爲シ、最モ頑強ニ主張スル所アリタルニ拘ラズ我ガ三大主張中其権要ノ二ツノモノハ遂ニ之ヲ貫徹スル能ハザルニ終リシモ、尙且ツ之ヲ以テ我ガ國防ハ是ガ安全ナリト言フヲ得ベキヤ否ヤ、其二、妥協ハ會議ノ基調要件トシテ免レ難キヲ知ルト同時ニ其程度ニハ自カラ限度アルベシ、換言スレバ國家重大ノ利益ト兩立スル範圍タラザルベカラズ、況ヤ何物ニモ代フル能ハザル國防ヲ犠牲ニシテマダノ妥協ハ存ニ最後マデ是レ我ガ國防ノ最小限度ナリトシテ强硬ニ維持シ來レル我ガ主張ノ條々ヲ相去ル遠キコト彼ノ如キ件ノ下ニ妥協ヲ敢テセル其理由果シテ如何、其三、縱令四圍ノ事情ガ妥協ヲ餘儀ナクサレタリトスルモ、一段ノ折衝ニ努力スル所アランニハ、尙ホ幾分有利ノ條件ヲ贏チ得タリシナラント思ハル、然ルニ當初ノ强硬ナリシニ似モヤラズ、脆クモ讓歩ノ態度ニ出デタルコトハ吾人ノ最モ遺憾トスル所ナリ、其理由果シテ如何、其四、我ガ公正無私而モ最モ謙抑ナル我ガ主張ヲ否マントゼ彼等ノ態度ハ全然利己主義ニ終始セルモノニシテ一モ常ニ彼等ノ口ニセル正義公道ニ合スルモノアルヲ認ムルコト能ハズ何故ニ我ハ之ヲ說破シ

テ所謂正ヲ踏ンデ恐レザルノ態度ヲ執ル能

ハザリシカ、其五、苟モ國防ノ安全ヲ說カント欲セバ、條約ノ期限タル一千九百三十六

年ニ續イテ我ガ對米七割ガ保障サレル見込ガ確立サレザル限り、輕忽ニ之ヲニスベ

カラザルモノト信ズ、然ルニ此點ニ於テ政

府ノ將來賴ミトスル所ノモノハ、一千九百

三十五年ニ開カルベシト云フ次回會議ニ於

ト言ハザル可カラズ、政府ノ所見果シテ如

何、其六、華府會議ノ後ヲ承ケタル後ノ我

海軍ハ大ニ樹テ直シテ實行セリ、今次モ亦

倫敦條約締結ノ結果トシテ、國防計畫更新

ノ意味ニ於テ新タニ樹テ直シテ行ヒ、以テ

内容ノ充實ヲ圖ラザル可カラズト信ズ、政

府ハ果シテ之ヲ實現スルノ意圖ヲ有スルヤ

否ヤ、之ガ質問第一ノ御尋ネ致シタイト條々

デアリマス、質問ノ第二ハ國民ニ對スル國

防ノ安全感ニ付テ御尋ネ致シタイト存ジマ

ス、倫敦會議ニ對シマシテ、我ガ政府ハ若

部ノ當局ト此回訓案ヲ發スルニ臨ミ果シテ

ノ造船工廠ト同様ニ其効キヲ爲スノデ

依テ以テ國防ノ潛勢力、即チ「ボテ

ンシヤル、パワー」ト申シマセウカ、是等ヲ

所ハ、戰時ニ於キマシテハ總テ我ガ海軍

造船所ヲシテ我ガ工業力ヲ維持セシメ、

ルノデアリマス、殊ニ此民間ノ造船所

邊リハ、其打擊ヲ被ムルコトハ少ナカラ

ザルコトト知ルニ於キマシテハ、是等ヲ

造船所ヲシテ我ガ工業力ヲ維持セシメ、

アリマスカラ、此所謂潛勢力、即チ「ボテ

コトト思ハレルノデアリマス、國費節約、國民負擔ノ輕減ノ點カラ見マスルト、誠ニ喜バシイコトデアリマスルケレドモ、併シ一面我ガ工業力ノ減退ニ付キマシテハ、大ニ考慮ヲ費サナケレバナラヌコトト思ハレシテ、我ガ發言ノ自由ヲ留保スルト云フダケカラザルモノト信ズ、然ルニ此點ニ於テ政

コトト思ハレルノデアリマス、國費節約、國民負擔ノ輕減ノ點カラ見マスルト、誠ニ喜バシイコトデアリマスルケレドモ、併シ

一面我ガ工業力ノ減退ニ付キマシテハ、大ニ考慮ヲ費サナケレバナラヌコトト思ハレ

シテ統帥權ノ問題等ニ立入テ質問ヲ試ミシテ帷幄ノ參畫機關タル所ノ海軍々令部ト篤ト熟議ヲ遂ゲラレタリヤ否ヤト云フ此一

リマスガ、之ニ對スル回訓ヲ發セラルニ際シマ

シテ、政府ハ果シテ國防用兵ノ司職ノ府ト

ノ御尋不致シタイノハ今回ノ所謂妥協案ナ

ト云フコトハ是ハ私ノ指摘シテ憚カラザル
點デアリマス、條約ノ第十八條ニハ十八隻
ノ中、千九百三十三年ニ起工スレバ其第十
六號ハ千九百三十六年前ニハ之ヲ完成セシ
ムルコトナシト規定イタシテアリマスケレ
ドモ、其年ノ末日ニハ九十九「パーセント」
以上ニ完成セシムルコトガ出来マス、軍艦
ノ「ブリッヂ」手摺一ツ附ケテ置カネバ、マ
ダは未完成ト云フコトヲ妨ゲヌモノデアリ
マス、華盛頓會議ニ際ニ我ミノ眼ニハ最
早艦隊ニ編入セラルノヲ待ツバカリト考
ヘテ居リマシタ戰艦陸奥ガ、既成戰艦デア
ルカ、或ハ未成戰艦デアルカト云フ此コト
ガ大問題ニナリマシテ、我國ハ、戰艦陸奥
一隻ヲ生カサムガ爲ニ英國竝ニ米國ヲシテ、
各、新三戰艦二隻ヲ加ヘシメタト云フ苦イ經
験モアリマス、サスレバ亞米利加ノ第十六
號ノ外ノ、他ノ二隻ハ一年後レニ起工スルモ
ノデアリマスカラ、千九百三十六ノ終ニ
ハ第十七號ハ其工程ノ三分ノ二、第十八號
ハ工程ノ三分ノ一ニ達スル勘定デアリマス
カラ、此三隻ノ工程ヲ合算イタシマスレバ
千九百三十六年ノ末カラ千九百三十七年ノ
春ニ掛ケマシテ、殆ド二隻、或ハ實際ハソ
ノハ、是ハチヨット素人眼ニハ分リマセヌノ
ハ無理ハナイノデアリマスガ、軍人ハ決シ
テ斯様ナコトヲ見逃スモノデアリマセヌ、
即チ外相ハ其條約上ノ表面ニ現ハレタル所
ノ、米國ハ千九百三十六年以前ニハ十五隻
以上ヲ完成セナイト云フ其文字ダケヲ御眺
ソンナ甘イ見方ハンテ居ラヌ害デアリマス、又
心ト思ハレルノデハ、ソレハ全然素人流ノ
御觀察デアリマシテ、玄人ノ軍事當局者ハ、
疑問ノ第二點トナシテ參ルノデアリマス、又

外相ハ斯様ニ仰セラレタ、政府ハ軍部專門家ノ意見ヲモ十分ニ斟酌シ、確乎タル信念ヲ以テ、此條約ニ加入スルノ決心ヲ執タクト、斯様ニ言ハレテ居リマスガ、之ニ對シマンテ斟酌ト云フコトノ文字ノ意味ニ付テ御尋ネ致シマシタ、斟酌ト云フノハ、我ミ普通ニ解スル所ニ依レバ、他ノ人人ノ意見ヲ多ク取入レヤウトモ、少ナク取入レヤウトモ、其最後ノ決定ハ斟酌スル人ニアルト、之ガ普通ノ斟酌ト云フ文字ノ意味デアルノデアリマス、然レバ外相ノ所謂斟酌トハ斯様ナ意味デアリマスカト言ッテ御尋ニ致シマシテモ、ドウシテモ其斟酌ノ意味ニ向ッテ明白ナ御回答ヲシテ下サラナイノデアリマス、是ハ疑問ノ第三點トシテ見逃ガス能ハザル所ノモノデアリマス、總理大臣ハ、國防上ノ實力ガ之ニ關シテハ全然自分ガ責任ヲ負フト、斯ウ言ハレタノデアリマス、併ナガラ唯責任ヲ負フト言ハレマシテモ、國防上ノ實力ガ之ニ伴フニ非ザレバ、啻ニ國家ニ益ナキノミニ世ガ戰爭ノ準備ハドウカネト、斯ウ問ハレタ時ニ、彼ノ有名ナ「マレシヤル・ブフ」ガ、ルモノハ無イト思ヒマス、嘗テ普佛戰爭ノ際ニ、開戦ニ先立チマシテ「ナボレオシ」三ニセント、斯様ニ申シタノデアリマスガ、遂ニアノ如キ敗戦ニ終リマシテ帝政ヲ亡ボヌ至ダコトハ名高イ話デアリマス、一度戦争ニ敗レタ後ハ、百ノ「マレシヤル・ブフ」ガ、出テ責任ヲ叫ンデモ既ニ是ハ遲イコトデアリマス、目下問題ニナッテ居リマス所ノ、政府ト軍部當局トノ間ニ蟠マレリト見ラレル所ノ、此經緯ノ解決如何ハ、實ニ倫敦條約以上ノ重大大味ヲ有シテ居ル所ノモノデアリマス、サレバ此問題ヲ解決シテ、一般國民ニ向テ安心ヲ與フル其コトハ、先づ以テ只今申述べマシタ疑惑ヲ解クコトガ其第一著デアルト存ジマス、總理大臣ガ平生身邊ノ

〔所謂「モットー」トシテ居ラレルト云フコトヲ聞キ及ンデ居リマス所謂強ク明ルク正シキ此道義ノ觀念ノ上ニ、何等顧慮遠巡スル所ナク、明快ナル御説明ニ依テ此疑惑ヲ一掃セムコトヲ希望シテ止マナイモノデアリマス、是ハ本員ガ質問ヲ提起シテ、首相ニ御尋ネ致シタイ要點デゴザイマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

◎國務大臣（濱口雄幸君） 只今ノ御質問ニ對シテ御答へラ致シマス、只今ノ坂本男爵ヨリ降壇ヲサレルニ當リマシテ、御質問ノ要旨ヲ御書キニナッタモノヲ頂戴イタシマシタガ、私、御演説中ニ要點ヲ手許ニ書キ留メテ置キマシタカラ、兩方ヲ能ク見合セマシテ御答へ致サウト存ジマス、第一問ハ、要スルニ此度ノ倫敦海軍會議ニ於テ帝國ノ三大主張ノ中、其二ツノモノハ十分ニ貫徹ヲシナカッタモノデアルガ、ソレデモ尙ホ我ガ國防ハ安全デアルト云フコトガ出來ルカト云フ御趣意ト拜聽イタシマシタ、是ハ私ヨリモ、外務大臣ヨリモ、他ノ場合ニ於テ屢々、申上ゲテ置キマシタガ、此度ノ調印ヲ致シマシタ條約ガ、千九百三十六年以後長ク帝國ノ海軍ノ兵力量ヲ律スト云フモノデアリマシタナラバ、私ハ、我ガ國防ハ必ずシモ安全ナリトハ考ヘマセヌ、同時ニ國民モ亦、國防ノ安全感ニ付テ必ズヤ不安ヲ抱クデアラウト存ズル點ガアリマス、併ナガラ男爵モ御承知ノ通り、是ハ短期ノ條約デアリマス、而シテ此短期ノ條約ノ存續スル期間内ニ於テハ、帝國ノ二大主張ガ非常ナル讓歩ヲ爲シタリト云フコトハ出來ヌト思ヒマス、即チ大巡洋艦ニ付テ申シマスレバ、是ハ御承知ノ通リデアリマシテ、次ノ會議ノ開カレルマデノ間ハ、海上ニ浮ンデ居リマス大巡洋艦ハ、七割二分二厘ノ對米比率ヲ保ツコトニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ亞米利加ハ千九百三十三年後、毎年一隻宛三年ニ瓦ツテ建造ノ權利ヲ持テ居ルノデハナイカト云フ御問ガアリマス、是ハ後

浮沈ニ居ル軍艦即チ、戦闘力カラ申シマスレバ、日米ノ比率ハ正ニ七割ニ分餘ニナリマス、輕巡、驅逐艦ニ至シテハ是ハ男爵モ御話ガナカツタノデアリマスカ、完全ニ七割ヲ保ツテ居リマス、潜水艦ニ付テハ三大主張ノ一つデアリマスガ、最初ノ主張ニ比較イタシマシテ著シク兵力量ヲ減ゼラレタノデアリマス、即チ七万八千噸ト云フ現有勢力ノ主張ニ對シ五万二千七百噸デアリマスカ、其減額ハ相當ニ多イノデアリマス、其結果トシテ潜水艦ノ勢力ニ於テ缺陷ヲ生ズル場合ガアラウト存ジマス、併ナガラ他ノ方法ニ依ラズ、政治的方法ニ依ラズ、純然タル軍事上ノ方法ニ依ツテ、潜水艦ノ勢力ヲ補フ途ガアルノデアリマス、此事ハ昨日モコトヲ避ケマスケレドモ、是ハ海軍ノ軍事豫算委員會ニ於テ外務大臣カラ男爵ニ對シテ御答ヲ申上ゲタノデアリマス、其方法ノ何デアルカト云フコトハ、私茲ニ言明スルコトヲ避ケマスケレドモ、是ハ海軍ノ軍事上ニ精通セラレテ居ル所ノ男爵ニ於カレテハ必ズヤ御了解ヲ得ルコトト信ジマス、既ニ其勢力ヲ補充スルノ方法ガアリマスル以上ハ、頗數ノ主張ガ此度ノ條約ニ依ツテ相當ニ減ゼラレマシテモ、頗數以外ノ方法ニ依テ、補充ガ付クト存ジマスルニ依ツテ、ソレハ必シモ全體ヲ通ジテ國防ノ缺陷ニナルトハ考ヘマセヌ、即チ御質問ノ御言葉ニ歸シテニ缺陷ヲ生ゼシムルトハ、政府ハ考ヘテ居申シマスレバ、所謂三大主張ノ二ツハ必シモ十分ニ貫徹シタリト申スコトハ出來マセヌケレドモ、右申ス通リノ事情ニ依ツテ國防ニ缺陷ヲ生ゼシムルトハ、政府ハ考ヘテ居リマセヌ、第二ハ既ニ會議ヲ開イテ物ヲ相談ヲ致シテ決メル以上ハ、各國各、互讓協調ノ精神ヲ發揮シテ物ヲ繰メルベキハ當然デアルケレドモ、併ナガラ國防ヲ犠牲トシテマデ妥協スル必要ガナイデハナイカ、ト云フ御趣意デアリマス、如何ニモ其通リト考ヘマス、若シ帝國ノ國防ニ缺陷ヲ生ゼシム

ルト云フ如キ種類ノモノデアリシタナラバ、政府ハ決シテソレマニ犠牲ニ供シテ、五讓協調スルト云フ考ハ有ツテ居リマセヌ、右申ス通り最初ノ主張ニ對シテハ必シモ完全ニ通シタハ申サレヌケレドモ、國防ノ缺陷モ稍、第二ト同様ト存ジマスルガ、全權ガ今一段ノ強イ力ヲ以テ押シテ行ツタナラバ、帝國ノ主張ハモット有利ニ貫徹スルコトガ出来タデハナイカ、協調ノ仕方ガ少シ早過ぎヤシナカナッタカ、少シ纏メルコトニ急ナルガ爲ニ、帝國ノ國防ヲ危カラシメタト云フ結果ニナツタデハナイカト云フ御心配アリマスガ、政府ガ全權ノ請訓ヲ受ケマシテ、ソレニ對シテ回調ヲ與ヘタ、其回調ニ依ツテ、全權ガ又更ニ英米兩國ノ全權ト折衝ヲ重ネマシタ其徑路ニ付テ、私ハ詳細ニハ申上ゲマセヌケレドモ、此以上更ニ帝國ノ主張ヲ押通スペキヤ、又ドノ點デ話ヲ纏メベキヤト云フコトハ、其時機ノ觀測如何ニアルノデアリマス、政府ハ此度ノモノヲ纏メタ時機ヲ以テ適當ナル時機デアルト信ズルノデアリマス、第四ハ今回ノ會議ノ結果ヲ見レバ外國側ノ利己主義ヲ發揮シタモノデアッテ、正義公道ニ基イタモノハナイ、何故ニ帝國政府ハ此利己主義ヲ說破シテ、正ヲ履ンデ恐レザルノ態度ヲ示サナカッタカ、トスウ云フ御質問デアッタノデアリマス、私ハ此壇上ニ於テ倫敦會議ニ於テ示サレタル英米兩國ノ態度竝ニ其主張ヲ以テ、利己主義ニ出タルモノト斷定スルガ如キ言辭ハ、之ヲ避ケタイト存ジマス、外國ノ全權ノ心事ヲ忖度スル、其動機ヲ觀測スルト云フコトハ、私共トシテハ當然避ケナケレバナラヌコト存ジマス、私共ノ信ズル所ニ依リマスレバ、此會議ニ參加シタル、或ハ之ヲ主催シタル列國共ニ、何レモ世界ノ平和、人類ノ幸福増進、更ニ各國民ノ負擔

有量、是ガ國民ノ國防安全感ヲ脅カスモノト
ハ私ハ考ヘマセヌ、或ハ一部ニハ左様ナル
不安ヲ懷ク者ガナイトハ保證シマセヌケレ
ドモ、大體ニ於テ全局ヲ通シテ不安ヲ懷ク必
要ハナイト存ジマス、第三問ハ此度ノ軍縮
ノ結果、財政上相當ノ剩餘ヲ生ズルデアラ
ウト思フケレドモ、工業能力ノ維持ニ付テ
相當ノ對策ヲ必要トスルノデハナイカ、ソ
レニ付テ政府ハ如何ナル對策ヲ持シテ居
カ……立テムトスルカト云フ意味ノ御質問
デアリマシタ、工業能力ヲ維持スルト云フ
コトニ付テ心配ガアリマシタガ爲ニ、御承
知ノ通り今回ノ條約ニ於キマシテ代換建造
繰上ゲノ權利ヲ取テ置イタノデアリマス、
其數量等ハ坂本男爵ハ能ク御承知ノコトデ
アリマスルガ、輕巡洋艦、驅逐艦、是ハ日
英米三國共通ノ權利デアリマス、其噸數マ
デ規定サレテ居リマス、潛水艦ニ關スル限
リハ日本特有ノ權利デアリマス、此權利ヲ
留保イタンマシタ所ノモノハ、製艦技術ノ
衰退ヲ恐ルト云フコトハ、只今決定シテ
退ヲ防グ、其二點ニアツコトハ御承知ノ
デラレマセヌケレドモ、此權利ヲ留保イタ
シマシタ所ノモノハ、只今申ス通り製艦技
術ノ維持ト工業能力ノ維持ト、此二點カラ
出テ居ルノデアリマス、從テ相當ノ程度ニ
於テ留保權利ヲ行使イタシマスレバ、或程度
マデ工業能力ノ維持が出來ヤウト存ジマス、
又或ハ民間ノ造船所、船渠會社等ニ於キマ
シテ請負建造ノ數量ノ減少イタシマスル結
果、多少ノ打撃ヲ受クルモノガナイトハ是
ハ保證ハ出來マセヌ、出來マセヌケレドモ、
ソレハ自ラ他ニ之ヲ整理スベキ方法ガアラ
ウト有ジマス、近來、政府デ頻ニ力説イタ
シテ居リマス所ノ、或ハ產業合理化運動ノ
一つノ現レト致シマシテ、會社ノ合同聯合
ヲ圖ルト云フ如キ手段モ講ジ得ラルコト

ト存ジマス、出来得ル限り此方面ニ向シテ
政府ハ努力ヲ致シシタノト存ジテ居リマス、
第四回ハ最モ重キヲ置カレテ御質疑ニナッ
タ點デアリマス、此度ノ會議ノ問題ニ付テ
政府ハ軍部ノ當局ト熟議ヲ遂ガタカ否ヤト
云フ點デアリマス、是ハ御承知ノ通り、政
府ガ全權カラ請訓ヲ受ケマシタノハ本年
三月ノ十五日デアリマス、而シテ其請訓
ニ對スル回訓ヲ發シマシタノハ四月ノ一日
デアリマス、其間半箇月ノ日子ヲ經過イタ
シテ居リマス、其半箇月ノ日子ハ如何ニシ
テ費シタカ、是ハ主トシテ軍部ノ専門家ノ
研究ヲ煩ハシタノデアリマス、而シテ軍部
ノ意見ヲ、其研究ノ結果トシテ、質シタノデ
アリマス、約半箇月ノ日子ヲ費シテ専門家
ノ研究ヲ煩ハシ、其意見ヲ承リ、其意見ハ
十分ニ之ヲ斟酌イタシ、然ル後、政府ガ之
ヲ決定シタノデアリマス、斟酌ト云フ字ハ
即チ参考ニ供スルノデアッテ、専門家ノ意見
ヲ全部採用シタノデハナイト云フ意味ダト
云フヤウナ御質問ガアリマシタケレドモ、
果シテ軍部ノ専門家の意見ヲ全部採用シタカ、
或ハ一部ニ止マルカ、若シ一部ニ止マルナ
ラバ其範圍ト程度トハドウカト云フコトニ
對シマシテハ、遺憾ナガラ、内部ノコトデア
リマスカラ、其交渉ノ經過竝ニ結果ニ付テ
ハ此席ニ於テ申上ゲル譯ニハ參り兼ネマス、
特ニ申上ゲテ置キマスコトハ此一點デアリ
マスガ、即チ全權カラ受ケマシタ所ノ請訓
案其請訓案ト之ニ對スル政府ノ回訓トノ間
ニ、相違ガアツト云フコトデアリマス、請訓ノ
通リノ回訓ハ出テ居リマセヌ、如何ナル點
ニ於テ相違ガアツカト云フコトハ、是ハ申
シマセヌケレドモ、請訓ノ通リノ回訓ハ出
テ居リマセヌ、而シテ回訓ノ結果ニ依テ倫
敦ニ居リマス所ノ全權ガ非常ニ努力ヲセラ
レマシテ、其回訓ノ結果ヲ實際ニ現ヘサウ
ト致シマシテ、非常ナル勉強ヲサレタ、其
結果ガ今回調印シタル條約ニナッタノデア
リマス、別ノ言葉ヲ以テ申シマスレバ、全

ヲ得ルノデアリマス、第十六號ハ其通りニ
ナリマス、或ハ十七號ハ千九百三十七年ノ
初ニ於テ戰鬪力ヲ構成スルデアリマセウ、
サウナツタ場合ニ於テハ、帝國ノ對米比率ハ
低下スルデハナイカト云フコトデアリマス
ソレハ、次ノ會議ニ於テ、日本ガ自由ノ立
場ニ立テ、必要ト信ズル主張ヲ致シテ、ソ
レヲ行使シナイトシマスレバ、千九百三十三
六年以後ニ於テハ、對米比率ハ七割二分ヨ
リ下リマス、縱令帝國ガ次ノ會議ニ於テ、
自由ノ立場ニ立テ、大巡洋艦ノ建造ヲ主張
イタシ、兩シテ之ヲ行使スルト致シマシテ
モ、一兩年ト申シマスカ、兩三年ト申シマ
スカ、其間ハ米國ノ十八隻ニ對シテ日本ハ
十二隻、十万八千四百噸ト云フ數字ニナリ
マシテ、即チ七割以下ニナルコトハ、是ハ
事實デアリマス、認メザルヲ得ナノイデア
リマス、此ニ於テ其間隙ノ間、日本ノ國防
ガ不安ニ陥ルノデハナイカト云フ議論ガア
リマス、極端ニ申シマスレバ、サウ言ヘナ
イコトハナイデアリマセウグレドモ、私ハ
ソコマデ極端ニ論ズルマデモナイト……サ
ウ言ハナタテモ宜カラウト考ヘテ居リマス、
若シ或期間ニ於ケル列國ノ海軍ノ比率ガ常
ニ同ジ割合デ進ムモノトシマスレバ、論ハ
アリマセヌケレドモ、是ハ各國ノ造艦計畫
ノ上ニ於テ、或ハ種々ノ事情ニ於テ波動ガア
リマス、波動ノアル度毎ニ列國間ノ或艦
種ノ保有量ノ比率ハ必シモ同ジ率ヲ保ッテ
居ルモノデハナイ、私ノ申上ガル迄モナイ
所デアリマス、現ニ今日ノ……ト申シマス
カ、昭和六年ト申シマセウカ、明年ニ於ケ
ル日米間ノ大巡洋艦ノ保有量、現在ノ計畫
デ言ヘバドウナルカ、又今日……今日現在
ノ日本ノ大巡ノ保有量ヲ亞米利加ノ保有量
ト比較イタシマスレバ、殆ド問題ニハナリ
マセヌ、併ナガラソレガ爲ニ日米間ノ國交
ガ危殆ニ瀕スルトハ何人モ考ヘマセヌ、日
本ノ一万噸級以上ト申シマスカ、或ハ正確
ニ申シマスレバ八時砲塔載艦ノ巡洋艦、是

ハ現ニ八隻アリマスガ、亞米利加ハ二隻シカゴザイマセヌ、ソレガ爲ニ日米ノ海軍力ノ間ニ非常ナル狂ヒガアルニ依テ、懸隔ガアルニ依テ直ニ日米間ノ關係ガ危機ニ瀕スルカト云フコトハ、何人モ心配スル者ハナイノデアリマス、是ハ極端ナル例ヲ申シタノデアリマスケレドモ、千九百三十六年カラ一兩年ノ間ニ日米間ノ大巡ノ保有量ノ比率ガ或ハ七割カラ多少下リマシテモ、ソレガ爲ニ直ニ日本ノ國防ガ危殆ニ瀕スルトハ私ハ考ヘヌデ宜カラウト思フ、大體人爵ノ御質問ニ對シマシテ大要御答ヲシタ積リデアリマス、若シ答辯ノ足リマセヌ點ハ重テ御尋ヲ希望イタシマス。

トハ、是ハ未來ガ之ヲ決定スルデアリマセ
ウ、唯將來ノコトヲ待ツバカリデアラウト思
ヒマス、唯此際一言申述べテ置キタイコト
ハ、何ト致シマシテモ此度ノ回訓案ニ對ス
ル所ノ、政府ニ於カレル所ノ此手續上ニハ
缺陷ガアダト思ハレマス、何故サウ申シマ
スカト申スト、政府當局ハ之ニ對シテ重要
ナル所ノ質問ヲ試ミマシテモ、殊更ニ此御
答辯ヲ避ケテ居ラレルノモノニアリマス、是ハ
蔽フベカラザル事實ニアラウト思フ、而シ
テ此問題ハ倫敦海軍條約ノ得失以上、遙ニ
重大性ヲ持テ居ル所ノモノニアリマス、即
チ事或ハ延イテ統帥大權ニマデ及ア虞ガア
ルカラデアリマス、此問題ハ須ク政黨派
ヲ超越シテ、朝野共ニ最モ嚴肅ニ考慮セラ
レナケレバナラヌ問題デアルト存ジマス、
國政變理ノ大任ニ當ル濱口首相ニ於カレマ
シテハ、此重大ナル國家的問題ノ善後策ニ
中デ失業救濟ニ關シマスル御演説ニ基キマ
シテ質問ヲ致スノデアリマス
◎議長（公爵德川家達君） 前田子爵
〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕
◎子爵前田利定君 私ハ去ル四月二十五日
本議場ニ於キマシテ、濱口内閣總理大臣ガ
政府ノ施政方針ノ御演説ガアリマシタ、其
中デ失業救濟ニ關シマスル御演説ニ基キマ
シテ質問ヲ致スノデアリマス
〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著
ク〕
濱口總理ハ本議場ニ於テ、失業救濟ノ對策
トシテ何ヲ申サレタカト申シマスレバ、根
本策トシテハ產業ノ振興ヲ圖ルト云フコト、
應急策トシテハ職業紹介ノ機關ノ擴張ヲ圖
ルト云フコト、又失業ノ救濟、防止ノ爲ニ
又ソレ等ノ財源ニ充ツル爲ニ國庫ヨリ補助
スルノ途ヲ開イテ、之ヲ追加豫算ニ計上ス
ルコト、ソレニ對シテ起債ノ認可ニ付テ、
從來ヨリモ緩和ノ方針ヲ取ルト云フコト、

見マスルト事柄ヲ、事ノ實際ニ照シテハ何レモ效果ヲ擧ゲ得ザルモノデアリマシテ、中ニハ總理ノ仰セラレマシタ御言葉全ク反對ノ事實ヲ示シテ居ルモノガアルノデアリマス、先ツ第一ニ、總理ガ根本策トシテ產業ノ振興ヲ圖ルコト、斯ウ申サレシタガ、翌日即チ四月二十六日ニ湯地君力ラノ產業振興ニ關スル質問ニ對シマシテ、濱口總理ハ全ク反對ノコトノ御答辯ガアルノデアリマス、此處ニ速記録ガゴザイマスカラ、讀上ゲテモ宜シウゴザイマスガ、マダ皆様ノ御耳ニハ御記憶ガ生ミシク殘テ居ルト思ヒマスカラ、議事速記録ノ讀上ゲハ見合セマスルガ、其要旨ヲ申上グマスルト、金解禁ノ斷行ノ前提トシテ、緊縮政策ヲ執ルノ必要上、實行豫算編成ニ際シテ、產業振興ニ關スル經費ハ之ヲ削除シ、或ハ減額シ、繰延ヲ致シタ、斯様ニ申サレテ居ルノデアリマス、又湯地君ノ同日ノ質問ニ答ヘラレテ、斯様ナコトモ申サレテ居ルノデアリマス、昭和六年度ノ豫算ニ於テモ、金解禁ノ措置トシテ此政策ヲ緩メル譯ニハ参ライマス、又農村問題ニ付テ斯様ニ御答辯ニナッテ居リマス、農村問題ニ付テハ、二ツノ對策ガアル、一つハ積極ノ對策デアル、一つハ消極ノ對策デアル、甲ナル對策ハ即チ產業ノ振興デアル、乙ノ對策ハ負擔ノ輕減デアル、而シテ政府ハ此乙ノ對策タル負擔ノ輕減ヲ執ルノ方針ヲ以テ、義務教育費國庫負擔ノ金額ヲ増額スルノ方針ヲ執ダト申サレテ居ルノデアリマス、五十六議會ト記憶イタシテ居リマスルガ、前内閣時代、農林商工兩省ヲ通ジマシテ產業ノ振興、貿易ノ進展ノ爲ニ約七百万圓程ノ經費ガ見積ラレマシテ、當時ノ議會ヲ憲ナク通過シテ居タノデアリマス、然ルヲ實行豫算ニ於キマシテ、總理ノ御答辯ノ如クニ之ヲ削除シ、減額シ、繰

延べラサレマシタ儘デ居ルノデアリマス、故ニ
總理ガ失業救濟ノ根本策トシテ御示シニナ
リマシタ其根本策タル産業振興ト云フモ
ハ有名無實ニナッタノデアリマス、又應急策
トシテ三四ノ點ヲ申サレマシタガ、是ハ後
ニ格別ニ御批評ヲ申上ゲタイト思ヒマスル
ガ、何レモ失業救濟ノ對策ト致シマシテハ、
價値ノ頗ル乏シイモノデアリマス、是ハ決
シテ私ガ獨斷デ斯様ニ論斷シ去ルモノデハ
ナイノデアリマス、濱口總理御自身ニ於力
レマシテモ、此議場ニ於キマシテ御承認ニ
ナッテ居ルノデアリマス、是ハ大事ナ點ニア
リマスカラ皆様ノ御記憶ヲ喚起スル爲ニ、
議事速記錄ノ一節ヲ朗讀スルコトヲ御許シ
ニ對サレマシテ、斯様ニ御答辯ニナッテ居ル
國務大臣ノ演説ニ關スル件デ、五十三頁デ
アリマス、濱口總理ガ勝田主計君ノ御質問
ヲ願ヒマス、是ハ貴族院議事速記錄第六號、
ノデアリマス「勝田君ノ指摘サレマシタ通
り、現實實行イタシテ居リマス施設ノミヲ
以テ決シテ十分トハ考ヘテ居リマセヌ、是
亦出來得ル限り考究ヲ致シマシテ、失業ノ
救濟ニ資シタイ、其爲ニ最善ノ努力ヲ致ス
考ヘデアリマス」云々、之ニ依テ見マス
ルト云フト、現在施設ニナッテ居リマスモノ
ニ付テハ、濱口總理御自身ニ於テモ是ハ十
分デハナイト云フコトヲ確認サレテ居ルノ
デアリマス、而シテ尙ホ考究ヲシテ最善ノ
努力ヲスルト云フコトヲ申ナレテ居ルノデ
アリマス、誠ニ不十分ト云フコトヲ御認メ
ニナリマシテ、亞グニ考究ヲ以テシ、而シ
テ其成案ガ御出來ニナリマシタ場合ニ、之
ヲ努力シテ御實行ニナルト云フ御精神ノ程
ハ誠ニ諒トスル次第デアリマスガ、併ナガ
ラ考究シタコトガ現實ニ實行セラマシテ
其效果ガ學リマセヌケレバ、單ニ御言葉ノ
舉ガル譯ニ參ラヌノデアリマス、現内閣ハ
過般ノ總選舉ニ依リマシテ、衆議院ニ於キ

マシテハ壓倒的勢力ヲ御占メニナツタノ
策ガオアリデアリマシタナラバ、思フ存分
ニ行ヒ得ル力ガアリ、思フ存分ニ行ヒ得ル筈
マス、又行ヘル筈デアリマス、思フ存分ニ
行ヒ得ル力ガアリ、思フ存分ニ行ヒ得ル筈
ノ此現政府ガ、此暫前ニ續出シテ参リマス
ル所ノ此失業者ノ問題ヲ御解決ナサルコト
ガ御出来ニナラヌデ、日ニ月ニ失業者ノ群
ガ簇生シテ參ルト云フ現象ヲ呈シテ居ルト
云フコトハ、實ハ私ト致シマンテハ不可解
デアルノデアリマス、思フ存分ニ行ヒ得ル
ノ御實力ハアリマシテモ、或ハ行ハムトス
ル所ノ的確ノ御政策ヲ御持合セガナインオデ
ハアルマイカトス様ニ思フノデアリマス、
金解禁斷行ノ時期、是ガ運用ニ付テノ用
意ノ當否、是等ニ付キマシテハ、私ハ不幸
ニシテ政府ノ御所見ト其意見ヲ異ニスルモ
ノデアリマス、寧ロ私ハ過日議場ニ於キマ
シテ、勝田君、藤村男爵、ソレ等ノ方々ニ
依ツテ御質問ニナッテ居リマス其質問中ノ御
意見ト、大體其感ヲ同ジウシテ居ルノデア
リマス、併ナガラ金解禁ノ事タル既ニ過去
ノ事實デアリマス、既ニ過ぎ去ラタコトデア
リマス、其事ガ善カタニセヨ惡シカタ
ニセヨ、今茲ニ論評論難ヲ致シテ見マンテ
モハ所謂落花枝ニ還ラズ、死兒ノ齡ヲ數フ
ルト同様デアリマス、故ニ私ハ此點ニ付キ
マシテハ何モ申シマセヌ、現在當面シテ居
リマスル所ノ此失業者ノ群ヲ如何ニスルカ
ト云フコトニ付キマシテ、政府ノ御所見ヲ
伺ハウト思フノデアリマス、今日激増イタ
シテ居リマスル此失業者ノ群、失業ノ問題
ノ發生、是ハ政府ガ極端ナル緊縮政策ヲ御
執リニナリマンシタ結果デアルト云フコトハ、
争フベカラザルノ事實デアリマス、是モ私
ハ決シテ獨斷デ申スノデハナイ、濱口總理
御自身ニ於カレマシテモ之ヲ御認メニナッ
テ居ラレルノデアリマス……

甚ダ申譯アリマセヌガ、事實ヲ確カメマス
爲ニ速記録ヲ讀ミマス、貴族院議事速記録
第四號國務大臣ノ演説ニ關スル件、二十九
頁デアリマス、是ハ山岡萬之助君方總理大臣ニ
對シマシテ質問サレマシタル演説ニ對スル
御答辯デアリマス、前略シテ「現内閣ノ財
政ノ整理緊縮、國民ニ向シテ獎勵宣傳シタ
所ノ消費ノ節約、是亦無論不景氣ノ一部ヲ
成シテ居リマス、ソレハ確カニ認ムル、其
點ニ於テ責任アリト仰シャレバ責任ヲ負ヒ
マス」又「現在ノ不景氣ノ深刻茲ニ是カラ
生ジテ居ル所ノ失業問題ノ發生、私ハ全部
ガ政府ノ責任ト云フコトニハ承認ヲ致シマ
セヌ、併ナガラ一部ハ政府ノ行タル政策
ノ結果デアルト云フコトハ承認シマス」斯
様ニ申サレテ居ルノデアリマス、私モ今日
ノ時勢世相ノ全部ガ濱口内閣ノ生シダ結果
トハ私モ固ヨリ思ハナイノデアリマス、失
業者ハ何時ノ世ノ中ニモアルコトデアリマ
シテ、決シテ絶無デハナイノデアリマス、
浪人ハ元龜天正ノ昔カラモアルコトデアリ
マシテ、珍シクハナイコトデアリマス、唯
私ガ今日茲ニ言ハムトスル所ノモノハ、最
近ニ、激増シテ參々所ノ失業者ノ簇生ト云
フモノガ、政府ノ執ラレタル所ノ政策ノ結
果デアルト信ズルノデアリマス、是ハ濱口
總理ニ於カレマシテモ或點御認メニナッテ
ニ於キマシテ、又勞働爭議ノ度數ノ上ニ於
キマシテモ、同盟罷工ノ度數ノ上ニ於キマ
シテモ、昨年ノ七月ヨリ俄然トシテ激増シ
テ居ラレマスルガ、昨年ノ七月以降、即チ濱
口内閣ノ御出來ニナリマシテカラ以來ノ失
業者ニ關シマスル所ノ各種ノ數字統計ノ上
ニ於キマシテ、又勞働爭議ノ度數ノ上ニ於
キマシテモ、同盟罷工ノ度數ノ上ニ於キマ
シテモ、昨年ノ七月ヨリ俄然トシテ激増シ
テ居ラレマスルガ、昨年ノ七月以降、即チ濱
口内閣ノ御出來ニナリマシテカラ以來ノ失
業者ニ關シマスル所ノ各種ノ數字統計ノ上

シテ竊盜、拘捕、詐欺、横領、是等ノ犯罪ノ數ガ前年度ニ比シマシテ倍加シテ居ルノデアリマス、茲ニ數字ノ統計モゴザイマスケレドモ、煩ヲ省ク爲ニ申上ゲマセヌガ、事實左様ナ數字ヲ示シテ居ルノデアリマス、是ハ何ヲ語ツテ居ルモノデアリマセウカ、ヨリ此中ニハ犯罪ノ常習者モ無論含ンデ居ルモノデアリマセウ、併ナガラ心ニモ無キ貧ノ盜ミカラス様ナ罪ヲ犯シタ者モ、決シテ少クハナイト思フノデアリマス、貧ノ盜ヲシタ者モ元ハ順良ナル 陛下ト赤子デアリマス、國民ヲシテ飢エシメナイト云フコトハ爲政家ノ重キ御責任ト思フノデアリマス、爲政者ハ思ヒヲ此ニ深ク致サナケレバナラナイコトデアルト思フノデアリマス、兎ニモ角ニモ今日ノ此失業問題ノ發生ヘ、濱口總理ガ御認メニナッタ如クニ、政府ノ執ラレタル所ノ政策ノ結果デアルト云フコトニ付キマシテハ、一點ノ疑モナイコトデアルノデアリマス、種ヲ蒔イタル者ハ其果實ヲ賜取ラナケレバナラナイ、濱口内閣ハ失業ノ救濟ニ付テハ、所謂御自身モ仰シヤル通リニ最善ノ努力ヲ以テ、而シテ御解決ナラナケレバナラナイト思フノデアリマス、而シテ此失業ノ問題タル、問題ノ性質自身ガ誠ニ危険ヲ含ンデ居ルモノデアリマス、四月二十五日竹越君ガ此壇上ニ於カレマシテ、同様ナル意味ニ於テ御質問ニナッテ居リマスルガ、私モ竹越君ト同ジヤウナ憂ヲ持チ、同ジヤウナ感ジヲ持ツテ居ルノデアリマス、現内閣ニ於カレマシテハ危険ニ瀕シナイ中ニ、何トカ此問題ヲ御處理ナサラナケレバナラナイモノデアルト深ク思フノデアリマス、現内閣ガ組閣直後ニ三ツノ大イナル調査機關ヲ御設ケニナリマシタ、其

中、社会政策審議會ト云、トモノヲ御置キニナリマシテ、朝野堪能ノ士ヲ御集メニナリマシテ、社会問題ニ對スル解決ノ答申案ヲ御求メニナリマシタ、社会政策審議會ニ於キマシテハ數々ノ答申ガ出テ居リマスルガ、其中ニ於キマシテ勞働組合法ノ制定ニ付テノ答申ガ出テ居ルノデアリマス、又船員保險法ノ制定ニ關スル答申モ出テ居ルノデアリマス、尙ホ失業者救濟應急對策ノ一部、失業防止並ニ救濟ノ爲メノ事業調節ニ關スルノ件ト云フ答申モ出テ居ルノデアリマス、此最後ニ申シマシタモノハ政府ガ今ヤ御實施ニナラウトシテ居ルノデアリマスルガ、前ニ申上ゲマシタ勞働組合法ト船員保險ノ問題ハ、今日如何ノ成行ニナシテ居ルノデアリマセウカ、私ノ記憶スル所ニ依リマスト云、アリマス、此調查會ニ於テハ六箇月以内ニ政策審議會ヲ御設置ニナル時ニ、斯様ニ壯麗マセウカ、私ノ記憶スル所ニ依リマスト云、アリマス、此調查會ニ於テハ六箇月以内ニ、アリマス、此調查會ニ於テハ六箇月以内ニ、アリマス、此記憶シテ居ルノデアリマス、果シテ此記憶ガ間違ヒナイトシタナラバ、是等ノ二法案ハドウナッテ居ルノデアリマセウ、特別議會ニ御提案ノ御模様ノナイ所ヲ見マスルト云、アリマス、前ニ御立派ナル所ノ御聲明御揚言ガナケレバ格別、左様ナコトヲ御聲明ニナッテ居リマシテ、之ヲ御實行ガナイト云フコトアリマシタナラバ、社會問題救濟ニ關シテ政府ノ誠意ヲ疑ハレモ、之ニ對シテ御釋明ノ辭ガナカラウト思フノデアリマス、固ヨリ此二法案ノ内容ニ付キマシテハ、門外漢タル私ニ於キマシ

テハ、其當否ヲココニ論及スル譯ニハ參ラ
ケレバナラナイモノダトハ敢ヘテ申スノデ
ハアリマセヌガ、併ナガラ既ニ社會政策審
議會ノ委員各位ガ御勉強ニナッテ、茲ニ御
答申ニナッタモノガ、其行方ガドウナッテ居
ルカ分ラスト云フコトハ、誠ニ遺憾ナコト
デアルト思フノデアリマス、又失業防止委
員會……先月確カ末デアリマシタ、勅令ヲ
以テ御實施ニナリマシタ、併ナガラ此失業
防止委員會ハ特別議會ノ終了後ニ審議ヲ御
始メニナルカニ承^シテ居リマスカラ、惟フニ
今月ノ中旬以後ニ審議ガ開カレルコトデア
ラウト考ヘルノデアリマスルガ、褚テ是モ
デス、所謂慎重審議デ、勞働者ノ一番難儀
ニ思フ所ノ梅雨期モ、徒ニ慎重審議ノ中ニ
過去リマシテ、夏ノ休ノ時期ニ入リ秋風ガ
ソヨーケト吹クヤウナ頃ニナリマセヌト云
フト、少シモ目鼻ガ付カナイデアラウト思
フノデアリマス、又目鼻ガ付キマシタ所デ、
勞働組合法ヤ船員保險法ノ如クニ高閣ニ束
ネラレマシタナラバ、何時如何ナル時ニ此
世中ニ顔ヲ出スノデアリマセウ、誠ニ悠長
千萬ナ話デアリマシテ、實ニ天下泰平、春
日熙々タル有様デアリマス、近頃政府ハ國
產獎勵、國產品愛用ト云フ宣傳ヲ頻リニヤッ
テ居ラレルノデアリマス、私ハ實ニ分ラナ
イ、國產品ガ外國品ニ較ベテ見マシテ、值
割方ノ良イ國產品ヲ買ハレルニ決マッテ居
リマス、内國品ガ外國品ト値頃ハ同ジデア
ルガ品物ガ外國品ヨリ良イトカ、品物ハ外

國品ト同様デアルガ、値段ハ内國品ガ安いト云フコトデアリマシタナラバ、恰モ水ノ低キニ就クガ如クニ、御上ミデ以テ御騒ニナラヌデモ、國民ハ割ノ良イ國產品ヲ買ウデアリマセウ、若モ國產品ガ外國品ニ比べテ見マシテ、値段モ安カラズ、品柄モ良力ラズ、斯様デアリマシタナラバ、如何ニ政府ガ國民ノ愛國心ヲ嗾り、愛國心ニ訴ヘテ、外國品買フベカラズ、内國品買ヘヨト仰セニナリマシテモ、國民ハ暮シ向ニ構ハズニ内國品ヲ買ヒマセウカ、是ハ買ヘト云フ方ガ、私ハ無理ダラウト思ヒマス、若モ國產品ヲ愛用セヨト云フ御考デアリマシタナラバ、先ヅ以テ内地産業ノ振興ヲ御圖リニナルコトガ第一デアリマス、産業ノ振興ニ伴ウテ大量生産ニナリ、其結果ニ於テ値段ガ格安ニナル、而シテ品物ガ優等ニナル、若モ國民ヲシテ國產品ヲ愛用セシメヤウト云フ御考デアリマシタナラバ、先以テ内國品ヲ愛用サセルヤウナ方途ヲ御立テニナラナケレバナラヌト思フノデアリマス、産業振興ガ出来ナイヤウナ状態ニシテ置イテ、而シテ國產品ヲ愛用セヨト仰セラレマシテモ、ソレハ順序方法ガ顛倒イタシテ居ルモノデアリマス、斯ク申セバトテ私ハ國產獎勵ニ反對スル者デハアリマセヌ、又國產品愛用ニ固ヨリ反対スル考ハナイノデアリマス、只國產ヲ獎勵シ、國產品ヲ愛用セシメス、アルト思フノデアリマス、併ナガラ最近ノ豫算委員會ニ於キマシテ、或一委員ヨリノ質問ニ對シテ商工大臣ハ國產品ノ愛用ト云フコトハ、國產品ノ中デ品物ガ良クテ、値段ガ安い、優良ノ品デアッテ、低廉ナル國產

品デアリナガラ、國民ガソレニ氣ガ付カナ
イデ、ソレヲ買ハウト思ハナイ、徒ニ外國
品ニ幻惑サレテ、折角日本ニ於テ外國品ヨ
リモ質ニ於テモ値段ニ於テモ割方ノモノガ
アルニ拘ラズ、ソレヲ買ハスト云フコトガ
遺憾デアルカラシテ、國產品變用ト云フコ
トヲ言フテ居ルノデアルト云フ御答辯ガア
リマシタノデ、漸ク政府ノ御意思ノアル所
ガ了解ヲ致シタノデアリマス、ソレナラバ
勿論異議ハナイノデアリマス、極ク範圍ノ
狹ヒ……外國品ニ較ベテ見マシテ、品柄モ
良イ、値段モ安イ、サウ云フモノヲ國民ニ
買ヘ、斯ウ御勧メニナルト云フコトデアリ
マシタナラバ、私ハ全幅ノ賛成ノ意ヲ表ス
ル次第デアルノデアリマス、ソレニシテハ、
御騒ギ様ガ私ハ少シ大キ過ギルト思フノデ
アリマス、又産業合理化ト云フ聲モ近頃ヤ
カマシク耳ニ聞エルノデアリマス、産業ノ
合理化ハ私ノ考ニ依リマスレバ、失業救濟
ノ問題トハ方角ガ異ブテ居ル問題デアルト
思フノデアリマス、而モ所謂政府ノ産業合
理化ハ資本家ニ都合ノ好イ合理化デアルノ
シテ、勤務者、労働者ガソレガ爲ニ犠牲ニ
ナラナクナケレバナラナイ合理化デアルノ
デアリマス、此合理化ノ前ニハ、勤勞者、
労働者ガ自分ノ利益ヲ蹂躪サレル所ノ合理
化デアルノデアリマス、熟練ナル所ノ労働
者ガ業ニ離レテ、自由労働者ノ群ニ這入り、
路頭ニ彷徨シテ職ヲ與ヘヨト云フ叫ビ聲ヲ
聞イテ、政府ハ急遽狼狽シテ救濟ノ方策ヲ
御考ニナルト云フヤウナコトデアリマシタ
ナラバ、此失業問題ニ付テ政府者ハ十分ナ
ル御理解ガナイノヂヤナイカト私ハ思フノ
デアリマス、政府者ノ御頭ガ國民生活本位
ノ上ニ傾イタナラバ、直グト御理解ガ付ク

コトデアラウト思フノデアリマスルガ、失禮ナガラ現在ニ於キマシテハ、政府者ノ御頭ハ實際ニ副ハナイ所ノ經濟論ニ因ハレテ居ラレマシテ、只合理化ヲスレバ能率ガ上ガル、又人モ少ナクナ、テ人件費モ下ガル、消費節約ヲ實行スレバ物價ガ下ガフテ生産費ガ低下スル、斯様ニアサリト御考ニナッテ居ルノデアリマス、甚ダ申スモ幼稚ナコトデ相濟ミマセヌケレドモ、一體國民ト云フモノハ何デアルカ、申スマデモナク人間デアリマス、食ヲテ行カナケレバ生キテ行カレナイノガ人間デアリマス、霞ヲ吸ヒ霧ヲ食ラフテ神仙ハ生キマセウケレドモ、人間ハ飲マズ食ハズデハ生キテハ行カレナイノデアリマス、此何カ物ヲ食ハナケレバ生キテ行カレナイ所ノ人間ヲ、血モ神經モ通テ居ラナイ、機械道具ヲ取片付ケルヤウニ至極アサリト御考ヘニナリマスガ此生産費ノ低下ト云フコトノ裏面ニ、到ル所ニ慘劇ガ起ルト云フコトニ御心ガ著カナイノデアリマセウカ、親ヲ養ヒ妻ヲ持チ子供ヲ育テ、行カナケレバナラニ義務アル澤山ノ國民ノ或群ガ、業ヲ失ヒ職ニ離レバ、サウシテ家ヲ離レ路頭ニ彷徨スルヤウニナリマシテモ、他ニ別ニ之ヲ救フノ途ガ與ヘラレナイデ居リマシタナラテモソレハ夢デアリマス、職業紹介所ノ看板ヲ掲ゲタグケデ失業者ノ救濟ハ出來ナイノデアリマス、失業者ニ與ヘル所ノ、振當テル所ノ仕事ガナケレバ如何ニ看板ヲ掛けマシテモ何ノ役ニモ立タナイノデアリマス、又地方ノ公共團體ニ於キマシテ公營事

ト申サレマシタ所デ、是モ丸牛ノ一毛デ、
業ガ興シテ、サウシテソレニ依テ救濟ヲスル
何程ノ人ガソレニ依テ職ヲ得マセウカ、
此多クノ者ハ死ニ直面フシテ、死生ノ間ニ
彷徨スル、所謂死練ニ立ツ所ノ失業者ノ多
クノ群ヲ救ヒ得ナイデ、ソレガ何デ經濟界
ノ立直シデアリマセウカ、斯ク私ガ申シマ
スト云フト何カ矯激ニ誇張シテ申セヤウニ
御聽取りニナルカモ知レマセヌガ、之ニ付
キマシシテハ各種ノ調査ノ書類モアリマスル
シ、統計ノ數字モゴザイマスルケレドモ、
ソンナ五月蠅イコトハ此場合出スコトヲ省
略イタシマシテ、最近ノ新聞紙上ニ現ハレ
マシタル挿話ヲ一二申上ゲテ見タイト思フ
ノデアリマス、是ハ五月三日ノ東京毎夕新
聞デアリマス、表題ハ「飯粒ヲ五日モ見ナイ
子供達」江東方面ニメキリ殖エタ缺食兒
ト營養不良兒」ト云フ見出シデアリマシテ、
記載ガアリマス、記載ハ餘り五月蠅ウゴザ
イマスカラ省略イタシマスルガ、兎ニ角モ
所謂申スマデモナク焼野ノ雑子、夜ノ鶴デ、
子供ヲ思ハナイ親ハナイノデアリマス、自
分ガ食べル食事ヲ減ジテモ、自分ノ可愛イ
子供ニ御飯ヲヤリクト云フノハ古今東西
ヲ問ハズ親トシテノ人情デアリマス、然ル
ヲ其可愛イ、イタイケナ子供ニ飯粒ヲ五日モ
見セナイト云フコトハ、實ニ悲慘ナ場景デ
ハナイデアリマセウカ、又市社會局保護課調
査係デハ缺食兒ガ増シテ行クノデ因テ居
ラレル、託兒所ハ營養不良兒デ滿員ニナッ
テ居ル、今デモ斯様ナ惨メサデアリマス、
若シ是ガ梅雨季ニデモナリマシタナラバ如
何デアリマセウ、其慘狀推測ルダニ誠ニ哀
レヲ思フノデアリマス、又是ハ過日豫算委員
會デ或一委員カラ引用サレマシタ事柄デ、

重複スル嫌ヒガアリマスルケレドモ、御耳ニ入ラナイ方モアラウト思ヒマスカラ此處デ申上ゲマスレバ、是ハ五月七日ノ報知新聞ノ朝刊デアリマス、「餓死線上ノ少年カラ小泉遞相へ涙ノ訴へ、簡易保険金ヲ拂戻シテ吳レ、人情大臣モ貰ヒ泣キ」ト云フ標題デアリマシテ、要スルニ其内容ハ親ガ業ヲ失ヒマシテ、當年十七歳ノ子供ガ納豆ヲ賣ッテ辛クモ家計ヲ繫イデ居タノデアリマスガ、到底子供ノ瘠弱デハヤリ切レナクナリマシテ、是マデ掛ケテ居タ簡易生命保険金十八圓バカリノモノヲ拂戻シテ吳レト云フコトヲ郵便局ニ申シマシテモ、サウ云フ手續ハナイノデアリマスルカラ拂戻シテ吳レナイノデ、思案ニ餘ツテ小泉遞信大臣ヲ訪問ヲシタ挿話デアルノデアリマス、是等ヲ見マシテモ失業者ノ大部分ト云フモノガ生死ノ間ヲ彷徨シテ居ルト斯ウ申シマシテモ、決シテ誇張シタル事實デナイト云フコトハ證據立テラレタト思ヒマス、尙ホソレ等ニ付キマシテハ幾多ノ類例ガアリマスケレドモ、省略イタシマス、此二ツヲ見マシテモ所謂一葉落チテ天下ノ秋ヲ知ル、此二ツノ話ヲ聞キマシテモ如何ニ悲惨ナ場景ニ彷徨シテ居ルカト云フコトハ御分リニナルコトデアラウト思フノデアリマス、四月二十八日ノ山岡萬之助君ノ當議場ニ於キマシテ總理大臣ニ對スル質問ニ對シテ、濱口總理ハ斯様ニ申サレテ居ルノデアリマス、其議事速記録ヲ讀ムコトハ省略イタシマシテ、其要旨ヲ申上ゲマスト、國民ハ此場合忍耐ト協力ヲ續ケテ貰ヒタ、官民一致シテ之ニ臨ンダナラバ必ズ産業ノ振興ガ期シ得ラレルデアラウ、要スルノニ經濟界ノ立直シガ出來ルマデハ、國民ヨ、暫ク忍耐セ

ヨ、協力セヨ、斯様ニ政府カラ國民ニオ呼ビ掛ケニナツタ御言葉デアルノデアリマス、誠ニ御尤ナ話デアリマシテ、御上デ以テ御體トナツテ國難ニ臨マナケレバナラヌ、忍耐協力固ヨリ覺悟スル所デアリマス、併ナガラ忍耐協力ト云フコトモ忍耐協力ガ出來得ルダケノ生活ガ出來テ居ラナケレバナシ得ナイノデアリマス、業ニ離レテ今日ノ糧モナイ、明日ノ糧モナイ、明後日ノ糧ニモアリ付ケサウモナイヤウナ餓死線上ニ立テ居ル者ニ、汝協力セヨ、忍耐セヨ、斯ウ申サレマシテモソレハ仰シヤル方ガ私ハ御無理ト思フノデアリマス、政治ハ生活ナリ、政治ノ要諦ハ國民ヲシテ其堵ニ安ンゼシメ、申サレマシテモソレハ仰シヤル方ガ私ハ御ト私ハ思フノデアリマス、政治ハ國民ヲ生カン、而シテ大イニ生カンテ行クモノデアリマシテ、政治ハ國民ヲ飢エシメ、飢エテトヲ期待シ、希望ハシテ居ルケレドモ、今日之ヲ弛メル譯ニハ參ラナイ、斯様ニ申サレマシテ、之ニ依テ味テ見マスト云フト、現在ノ狀況ハ如何様ニモアレ、世相ハ如何様ニモアレ、依然舊政策ヲ遂行シテ行クト云フ、斯ウ云フ御考デアラマスト云フト、現閣僚諸公ハ誠ニ國民ニ對シテ溫カ味ノナイ情味ノナイ方ミト申サナケレバナラヌヌト思フノデアリマス、若シ果シテ然ラバ現閣僚諸公ハ誠ニ國民ニ對シテ溫カ味ノナイ、國民ニ對サレマシテ温カ味ノアル政治ニ御ヤリニナラウト云フ御心ガ御アリニナルナラバ、斯様ナコトヲ申上ゲルノハ甚ダ迭ル迄ハ此失業問題ト云フモノハ解決セラレズニ行ク運命ニナルノデアリマス、斯様ニ申上ゲマスト、誠ニ言葉ヲ婉曲ニ申上ゲマシタノデ、露骨ニ申上ゲマスト云フト政府ガ御迭リニナラナケレバ失業問題ノ解決ハ出來ナイノダ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是デハ誠ニ困クコトデアリマシテ、御迭リニナル迄ニ幾万幾十萬ノ無益ナ、悲慘ナ犠牲者ガ出ルト云フコトハ誠ニ私ハ遺憾千萬ニ思フノデアリマス、デマシテ、御迭リニナル迄ニ幾万幾十萬ノ卒御頭ノ轉換ヲシテ貰ヒタイ、國民生活本位ノ政治ヲ御執リ下サルヤウニ御頭ノ置キアリマスカラ私ハ臺閣諸公ニ向ヒマシテ何所、目ノ著ケ所ヲ御注意下サルヤウニ御願ヒシタイト云フコトヲ叫バザルヲ得ヌノデアリマス、而モ失業問題ハ焦眉ノ急デアリマス、今日業ナク、明日ノ糧ナク、明後日

ハ救フガ、救ヘナイモノハ致シ方ガナイ、元來今日ノ不景氣ト云フモノハ日本バカリノ不景氣デハナイノデアル、世界的ノ不景氣デトナツテ國難ニ臨マナケレバナラヌ、忍耐協力固ヨリ覺悟スル所デアリマス、併ナガラ忍耐協力ト云フコトモ忍耐協力ガ出來得ルダケノ生活ガ出來テ居ラナケレバナシ得ナイノデアリマス、業ニ離レテ今日ノ糧モナイ、人間味ノナイ方ミト申サネバナラヌト、私ハ思フノデアリマス、又四月二十八日ノ山岡萬之助君ノ當議場ニ於テノ質問演説ニ對スル濱口總理ノ御答辯ニ斯様ナコトヲ申サレテ居リマス、現在執テ居ル所ノ政策ハ今日之ヲ變更スル必要ヲ認メナイ、將來此政策ヲ變更スルノ時期ノ到來スルコトヲ期待シ、希望ハシテ居ルケレドモ、今トヲ申サレマシテモソレハ仰シヤル方ガ私ハ御ト私ハ思フノデアリマス、政治ハ國民ヲ生カン、而シテ大イニ生カンテ行クモノデアリマシテ、政治ハ國民ヲ飢エシメ、飢エテトヲ期待シ、希望ハシテ居ルケレドモ、今日之ヲ弛メル譯ニハ參ラナイ、斯様ニ申サレマシテ、之ニ依テ味テ見マスト云フト、現在ノ狀況ハ如何様ニモアレ、世相ハ如何様ニモアレ、依然舊政策ヲ遂行シテ行クト云フ、斯ウ云フ御考デアラマスト云フト、現閣僚諸公ハ誠ニ國民ニ對シテ溫カ味ノナイ情味ノナイ方ミト申サナケレバナラヌヌト思フノデアリマス、若シ果シテ然ラバ現閣僚諸公ハ誠ニ國民ニ對シテ溫カ味ノナイ、國民ニ對サレマシテ温カ味ノアル政治ニ御ヤリニナラウト云フ御心ガ御アリニナルナラバ、斯様ナコトヲ申上ゲルノハ甚ダ迭ル迄ハ此失業問題ト云フモノハ解決セラレズニ行ク運命ニナルノデアリマス、斯様ニ申上ゲマスト、誠ニ言葉ヲ婉曲ニ申上ゲマシタノデ、露骨ニ申上ゲマスト云フト政府ガ御迭リニナラナケレバ失業問題ノ解決ハ出來ナイノダ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是デハ誠ニ困クコトデアリマシテ、御迭リニナル迄ニ幾万幾十萬ノ無益ナ、悲慘ナ犠牲者ガ出ルト云フコトハ誠ニ私ハ遺憾千萬ニ思フノデアリマス、デマシテ、御迭リニナル迄ニ幾万幾十萬ノ卒御頭ノ轉換ヲシテ貰ヒタイ、國民生活本位ノ政治ヲ御執リ下サルヤウニ御頭ノ置キアリマスカラ私ハ臺閣諸公ニ向ヒマシテ何所、目ノ著ケ所ヲ御注意下サルヤウニ御願ヒシタイト云フコトヲ叫バザルヲ得ヌノデアリマス、而モ失業問題ハ焦眉ノ急デアリマス、今日業ナク、明日ノ糧ナク、明後日

希望ヲ持^テ居ラヌ所ノ失業者ノ大群ガ家
ヲ離^レテ衝頭ニ彷徨^シ、全國ニ是ガ瀰漫シ
テ參リマスト云フヤウナコトニナリマシテ
ハ誠ニ國家社會ノ安寧秩序ノ上ニ是ヨリ大
ナル不安ハナイト思フノデアリマス、事ハ
敵國外患ニアラズシテ内患デアリマス、火
事ノ出ナイ内ニ岬筒ノ仕度ヲシナケレバナ
ラヌト同様ニ此問題ノ危險ガ現ハレル前ニ
何トカ當面ノ急^ト匡救スルノ術策ヲ御樹テ
ニナラナケレバナラヌモノト斯様ニ考ヘル
ノデアリマスガ、其點ニ於キマシテ政府ハ
如何ニ御考ヘニナ^ッテ居ラレルノデアリマ
セウカ、以上ハ失業狀態ノ如何ニモ悲慘ノ
有様デアリマシテ、而モ一日モ早ク緊急ニ
處置ヲシナケレバナラナイ狀態ニナ^ッテ居
ルト云フコトヲ申上ゲマシテ政府ノ御反省
ヲ仰グ次第デアリマスガ、褚テ是カラ政府
ガ現在實施セラレ又近ク實施セラレムトス
ル失業對策ニ付キマシテ甚ダ失禮ナガラ一
批評ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、
既ニ今マデ申上ゲマシタル間ニ於キマシテ
先づ以テ政府ニハ失業問題ニ對スル對策ト
シテ根本政策ガ無クナ^ッテシマ^ッタト云フコ
ト、ソレカラ第二ニハ社會政策審議會デ折
角御案出ニナリマシタガ勞働組合法ヤ、船
員保險法案ハ高閣ニ束ねラレテアルト云フコ
ト、第三ニハ失業防止委員會ト云フモノガ
出來タガ、是ハナカ^ヽノ優長ノモノデアッテ
急場ノ間ニ合ヒニハナラナイ、二階カラ目
藥ノヤウナモノダ、第四ニハ產業合理化ト
云フモノハ此失業救濟トシテノ對策ニハナ
ラナイ、寧ロ失業者ヲ捨ヘルニハ便利ナモ
ノダ、第五ニハ國產獎勵、國產品愛用ト云
フコトモ段々能ク伺^テ見ルト云フト、誠
ニ國產品ノ或一小部分ノ品物ヲ買へト御勸

メニナルト云フコトニ過ギナイ、何レモド
ウモ失業ノ目下焦眉ノ急ニ迫テ居ル失業
對策トシテ無價値ノモノデアルノデアリマ
ス、茲ニ先月二十八日ニ山岡萬之助君ガ質
問サレマシタコトニ對シテ内務大臣ガ御答
ニナリマシタ對策ガ多少アルノデアリマス、
第一ハ公營事業ニ付テノ事業上ノ調節ヲス
ルト云フコトデアリマス、而シテソレヽ
地方長官ニ訓令ヲ御出シニチタト云フ
コトデアリマス、私ハ訓令其モノハ見マ
セヌガ、新聞紙上ニ於キマシテ其訓令ナル
モノヲ見マシタガ、要領ハ道府縣ハ昭和五
年度豫算ノ施行ヲシテ出來得ル限リ失業ノ
防止竝ニ救濟ニ有效ナラシムルヤウ努ムル
コト、又道府縣へ前項ノ目的ヲ達スル爲メ
必要ニ應ジ其事業ノ一部ヲ當該事業關係勞
働者ノ失業最モ甚シカルベキ時季ノ爲メ特
ニ振向ケ施行スルコト、大體是ガ骨子ニナッ
テ居ルノデアリマス、即チ失業防止救濟ノ
爲ニ事業ノ調節ヲシロ、出來ルダケ事業ノ
調節ヲスルヤウニ、又勞働者ノ失業ノ最モ
甚シイ時季ニ其方ニ振向ケルヤウニ調節ヲ
セヨト云フ訓令ガ發セラレテ居ルノデアリ
マス、併シ私ハ之ヲ見マスト云フト誠ニ分
ラナイノデアリマス、元來此昭和五年度ノ
豫算ト云フモノハ、所謂此政府ノ金科玉條
トサレテ居ル所ノ極端ナル緊縮政策ニ依
テ出來得ルダケ切詰メラレテ居ルノガ昭和
五年度ノ豫算デアルノデアリマス、此切詰
メラレタ豫算ノ中ニ於テ調節ヲスルト云フ
コトハ、是ハ到底出來ナイ相談デアリマス、
仕事ノ分量ガアリマスレバ調節モ出來マセ
ウケレドモ、殆ド事業ト云フモノハ打切り
ニシタ感ガアル、此昭和五年度ノ豫算ニ於
テ事業ヲ調節セヨト云フコトハ、是ハドウ

人間業デハ私ハ出來ナイコトデアラウト思
フノデアリマス、又關係労働者ノ失業ノ最
モ甚シカルベキ時季ノ爲メ特ニ振向ケ施行
スルコト、是モ無理デアリマシテ、普通ノ
年柄デアリマシタナラバ左様ナコトモ多少
ハ出來ルデアリマセウ、併ナガラ今日ノヤ
ウニ色ニ統計ノ數字ノ上ニ於キマシテハ、社
會局ノ數字ト又其他ノ調査シマシタ數字ト
非常ニ合ヒマセヌケレドモ、兎ニ角、八十
万カ百万モアラウト云フ失業者ノ群ニ對シ
マシテ、斯様ナ訓令ガ其效果ヲ擧ゲルデア
リマセウカ、殆ド是ハ失禮ナガラ氣休メノ
訓令デアルト私ハ思フノデアリマス、又地
方公共團體ニ於テ失業ノ救濟ヲ防止スル爲
ニ起債ヲスル場合ニハ、其起債ニ對スル認
可ノ方針ハ從來ヨリモ緩和スルト云フコト
ヲ仰セラレテ居ルノデアリマスルガ、是モ
サウ内務當局ノ御覽ニナルヤウニ、各地方
カラシテ續々ト起工ノ申請ガ出テ來マセウ
カ、又出テ來ルニシテモ、是ハ々豫算ト
云フ厄介ナモノガ纏綿スル仕事デアリマス
カラ、出テ來タカラト云ツテ中央ニ於テ輕
輕シク御認可ニハナルマイト私ハ思フノデ
アリマス、ノミナラズ是等ノ土木事業ニ付
キマシテハ勞働者ノ勞力ノ費用、是等ニ付
キマシテソレド割合等モアリマスノデ、
割リ方デモ宜ケレバ格別デアリマス、要スルニ
様デゴザイマセヌト云フト、地方團體ニ於
キマシテ採算上餘り喰ヒ付イテ來タモノヲ申
請ニ對シテドンヽ認可ヲシテ、盛ニソレ
政府デ御覽ニナツテ居ルヤウニ、サウ申請ガ
續々ト出テ來ル、而シテ出テ來タモノヲ申
請ガ各地デ行ハレルト云フヤウナコトハ到底
期待ガ出來ナイノデアリマス、又職業紹介

所ノ機關ヲ擴張スル、是ガ爲ニハ本年度ノ追加豫算ニ於キマシテ、臨時部ニ一万二三千ノ金ガ盛ラレテ居ルノデアリマス、之ニ依テ職業紹介所ガ增設サレルノデアリマス、併シ是ハ先刻モ申上ガマシタ通リニ、職業紹介所ノ看板ヲ掛ケタダケデ失業救濟ノ實ハ舉ラナインデアリマシテ、即チ職ヲ求メニ來ル労働者ニ對シマシテ與ヘテヤル所ノ仕事ノ持合セガナケレバ、何ノ役ニハ立タナイノデアリマス、然ルニ他ノ地方ノコトハ別トシテ措キマシテモ、東京ノ本所深川ノ有様ヲ聞イテ見マスト云フト、或一部ノモノヲ除ク外、大概三日目カ四日目デナケレバ仕事ニ有付ケナイト云フ狀態ニアルノデアリマス、職業紹介所ノ一箇所ニ二箇所出来マシタ所デ、擴張ガ出來マシタ所デ、宛行フ仕事がアリマセヌケレバ、如何ニ失業者ノ群ガ殺到シテ職ヲ與ヘヨト叫ンデ見マシタ所デ、ドウカ其儘御歸リ、下サイト言^テ歸スヨリ外仕方ガナナイデアラウト思フノデアリマス、私ハ未ダ實地ヲ見マセヌガ、内務大臣ガ一度ビ足ヲ江東ニ向ケラレテ職業紹介所ノ光景ヲ御覽ニナリマシタナラバ、思ヒ半バニ御過ギニナルデアラウト私ハ思フノデアリマス、又内務大臣ノ山岡万之助君ニ對スル御答辯中ニ、知識階級ノ者ニ對シテ昨年末カラ其救濟ノ爲ニ十二万六千圓ノ金ヲ支出シテ、延人員十五万人ノ救員十五万人ト云フトチヨット大キク耳ニ響マシタナラバ僅ナ數ニシカナラヌノデアリマス、爲ヌタコトハ爲サザルニ無論優シテ

居リマスルケレドモ、是モ今日ノ大失業群ニ對スル對策シテ誠ニ價值アルモノトハ思ヘナイノデアリマス、又は内務大臣ガ仰セラレタコトデハアリマセヌガ、本年度ノ追加豫算ニ矢張リ内務省所管ノ臨時部ニ失業救濟補助ト云フ項目ヲ以チマンテ、六十一万圓程ノ金ガ支出サレルコトニ計上サレテ居ルノデアリマス、是ハ所謂地方ノ起債ニ對シマスル國庫カラノ補助金デアリマス、思フニ此補助金ハ地方ニ於テ起サルベキ所ノ公債ノ利子ヲ國庫ガ補給スルノデアラウト思フノデアリマス、詳シイコトハ伺ヒマセヌカラ分リマセヌガ、聞ク所ニ依リマスト云フト、労力費ノ二割五分ヲ出ストカ云フヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、是トテモシナイヨリハ優シテ居リマスケレドモ、六十萬圓バカリノ金ヲ全國ノ各府縣ノ起債公債ニ對シマシテ補給ラシテバラ撒イテ見マシタ所デ、誠ニ燒石ニ水ノ感ガアルニ過ギナインデアリマス、斯ク論ジ來リマスト云フト、今日御實施ニナシテ居リマス所ノ諸對策ハ何レモ不十分不徹底ノモノデアリマシテ、濱口總理御自身ニ於テモ十分デナイ、斯ウ仰セラレテ、誠ニ正直ニ御自由ニナシテ居リマスルガ、全ク其通り不十分不徹底デアラレルノデアリマス、尙ホ失業保険法、相互扶助救濟組合ト云フヤウナコトニ付テ、マダ内務大臣ハ御考究中デアルト云フコトデアリマス、謂ハダ腹ノ申ニ宿テ居ル兒ミタヤウナモノデアリマシテ、之ヲ今日論評スル問題ニハナラナイノデアリマス、斯ク觀ジ來リマスト云フト、今日政府ガ御苦心御衷表ヘ萬々御察シハ致シマスルケレドモ、御實施ニナシテ居ラレル所ノ諸對策ノ跡ヲ辿リテ考ヘテ見マスト云フト、ド

レモ此大失業群ニ對スル對策トシテハ、救濟スル底ノ價値ノアル對策ハ、ツモ見當ラナイノデアリマシテ、日ニ月ニ之ニ反對ノ失業者ノ數カ唯ニ殖エニ殖エテ行クト云フ今日情景ニナッテ居ルノデアリマス、堵テ日本ハ家族主義ノ國デアリマシテ、古來カラシテ家族主義ノ美風良俗ガ傳統的ニ今日ニ傳ツテ居ルノデアリマス、此美風良俗ノ家族主義ガ目下當面シテ居ル處失業者ノ問題ニ對シテハ大ナル緩和剤ニナッテ居ルト私ニ思フノデアリマス、由來自分ノ家ノ人ノコトハ成ルベク近所隣リヤ世間様ニ御厄介ヲ掛ケナイデ、家ノ中デ何トカ出來ル限りハ盡サウト云フノガ、日本古來ノ家族主義ニアリマス、故ニ學校ヲ出マシテ、マダ職業ニ就カナイ或一種ノ失業者モ、又業ヲ失ツタ者モ暖イ家庭ノ中ニ這入ツテ、ソレニ抱擁サレテ、路頭ニ彷徨シナイデ濟ンデ居ル者デガ、全國ヲ通ジマシテハ、極メテ尠カラ又數デアラウト私ハ思フノデアリマス、正確ニ之ヲ失業統計ノ數字ノ上ニ現ハシマシタル家庭ノ中ニ抱擁サレテ居ラレルガ爲ニ、實際路頭ニ彷徨スル失業者ノ數ガ減ジテ見エテ居ルノデアリマス、併シナガラ此暖カイ美風ノ家族主義モ、凡ソ限度ノアルモノデアリマスレバ、誠ニ悲慘ナコトデアリマスルケレドモ、トドノ詰リヤリ切レナクナリマスレバ、誠ニ悲慘ナコトデアリマスルケレドモ、夫婦心中トナリ、一家心中トナリ、悲劇慘劇ガ往々ニシテ起リマスコトハ、皆様ガ新聞紙上ニ於テ御覽ニナル通りデアリマス、故ニ失業者ノ問題ニ對シ

テ、此日本ノ美風タル所ノ家族主義ニ、餘リ多クノ期待ヲ政府者ハ御持チニナフテハナラスト、私ハ思フノデアリマス、元來失業者ニ對スル所ノ問題ヲ國民ノ各家庭ニ任團體ニノミ任カセズ、國家自ラガ相當ナル所ノ對策ヲ立ッテ、之ヲ解決シナケレバナラヌ責務ガ私ハ政府者ニアラウト思フノデアリマス、今日マデ總理大臣或ハ内務大臣カラ伺^シテ居リマスル所ノ、當面セル社會問題ニ對スル對策施設、一ツトシテ十分ナルモノハナイノデアリマスルガ、儲テ政府ハ之ニ對シテ如何ナル御所見ヲ御持チニナルノデアリマセウカ、殊ニ濱口總理御自身ガ申サレタル通リニ政府ノ執^タル所ノ政策ノ產物デアルガ、縱シヤ政府ノ執^タル所ノ政策ノ產物デナイニモセヨ、朝ニ立タレタ所ノ爲政家トシマシテハ、現下ニ横ハッテ居ル所ノ此問題ヲ解決シナケレバナラナイ責任者デアラウト私ハ思フノデアリマス、ソレデ私ノ伺ヒタイコトハ、儲テ此直面セル所ノ此失業者ノ群ニ對シテ、何カ今日マデ御實施ナサ^シテ居ラレル以外ニ新味ノアル……新シ味ノアル御工夫デモアリマスカドウカ、政府ニ於カレマシテモ、此失業問題ニ付キマシテハ、非常ニ御心配ニナッテ居ルコトト、私ハ推察ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯様ニ同ジク憂ヘテ居ラレル所ノ濱口總理ニ於カレマシテハ、何カ御考ガアリテ居ルト云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマスカ、ソレトモ今日ノ程度デ御打切りニ

國務大臣濱口雄幸

ナルノデアリマスカ、而シテ教ヒ得ナイ所
ノ失業者ノ群ハ、其自然ノ成リ行ニ御任力
セニナルト云フノデアリマスカ、アリマセ
大體ノコトハ總理大臣カラ御答辯ヲ煩シタ
イ、何カ又具體的ノ對策、モアリマスナラ
バ、其場合ニハ内務大臣カラ御答辯ヲ願ヒ
タイト思フノデアリマス

ニ依リマスレバ、大體論トシテ、今日ノ急務ハ、屢々申上ゲマス通り、金貨本位制度ノ擁護ニアルト存ジマス、即チ現在ノ制度ノ維持ニアルト存ジマス、今日ノ場合ニ於テ、金解禁ノ直後ニ於テ、官民ノ財政經濟ノ政策方其宜シキヲ失シタ時ニ於テハ、兌換制度ノ維持ハ出來ナイト信ジマス、金貨本位制ノ擁護ハ又出來ナイト存ジマス、前田子爵ハ仰セラレナカツタノデアリマスケレドモ、若シ今日政府ガ大體ノ財政上ノ方針ヲ轉換イタシマシテ、茲ニ積極的ノ政策ヲ再び取ル、或ハ公債ヲ増發スル、或ハ國民ノ負擔ヲ増加セシムル、而シテ盛ニ政府ノ事業ヲ遂行スルト云フ政策ヲ復舊イタシマシタナラバ、物價ハ無論騰貴イタシマス、兌換券ノ膨脹トナリ、物價ノ騰貴トナリ、其結果ハ國際貿借ノ關係ニ於テ、容易ナラザル悪影響ヲ受ケルト存ジマス、即チ輸入ノ增加トナリ、輸出ノ減少トナッテ、輸入超過ハ再び非常ナル勢ヲ以テ、始マルト思フノデアリマス、不幸ニシテサウ云フコトニナリマスレバ、到底兌換制度ノ維持ハ出來マセヌ、是マデノ如キ公債整理、財政緊縮、此大體ノ方針ハ持ツテ居ル所ノ大方針ヲ變更スルコトハ出來マセヌ、出來ナイト思ヒマス、是マデノ如キ公債整理、財政緊縮、此大體ノ方針ハ之ヲ動サズ、此財政方針ノ大道ニ向ッテ、當進ヲ致シマスル途中ニ於テ、種々ノ障害物ニ出會ウコトガアリマス、現在ノ失業問題ニ出會ウコトガアリマス、現在ノ失業問題ハ即チソレデアリマス、大道ヲ進行スル途ニ、我ミガ遭遇スベキ障害物ニ對シテハ、其障害物ヲ、處ヲ抱クト云々テハ言葉ガ出来得ル限り其障害ヲ排除シ、之ヲ緩和シテ、既ニ二億圓ノ正貨流出ガアタト云々テ輸入超過ハ前年ヨリモ少ナイ今日ノ狀況ニ於テスラ、尙ホ且金ノ流出ガアリマス、是ガ一部ノ人ミヲ大分心配セシメテ居ル、現下ノ緊縮政策ノ下ニ於テモ尙ホ然リ、若シ此場合ニ於テ、物價ノ騰貴ヲ招クガ如キコトヲ致シ、或ハ兌換券ノ膨脹ヲ生ズルガ如キコトヲ致シ、或ハ公債ノ増發ヲスル、新規事

業ヲ著々トシテ起スコトヲヤッタナラバ、貿易ノ逆調ハ一層甚ダシク、其結果トシテ、金貨ノ流出ハ到底今日ノ比デハナイト思ヒノ維持ハ又出來ナイト信ジマス、金貨本位制ノ擁護ハ又出來ナイト存ジマス、前田子爵ハ仰セラレナカツタノデアリマスケレドモ、若シ今日政府ガ大體ノ財政上ノ方針ヲ轉換イタシマシテ、茲ニ積極的ノ政策ヲ再び取ル、或ハ公債ヲ増發スル、或ハ國民ノ負擔ヲ増加セシムル、而シテ盛ニ政府ノ事業ヲ遂行スルト云フ政策ヲ復舊イタシマシタナラバ、物價ハ無論騰貴イタシマス、兌換券ノ膨脹トナリ、物價ノ騰貴トナリ、其結果ハ國際貿借ノ關係ニ於テ、容易ナラザル悪影響ヲ受ケルト存ジマス、即チ輸入ノ增加トナリ、輸出ノ減少トナッテ、輸入超過ハ再び非常ナル勢ヲ以テ、始マルト思フノデアリマス、不幸ニシテサウ云フコトニナリマス、是マデノ如キ公債整理、財政緊縮、此大體ノ方針ハ之ヲ動サズ、此財政方針ノ大道ニ向ッテ、當進ヲ致シマスル途中ニ於テ、種々ノ障害物ニ出會ウコトガアリマス、現在ノ失業問題ニ出會ウコトガアリマス、現在ノ失業問題ハ即チソレデアリマス、大道ヲ進行スル途ニ、我ミガ遭遇スベキ障害物ニ對シテハ、其障害物ヲ、處ヲ抱クト云々テハ言葉ガ

過ギマスケレドモ、其障害物ガ、我ミガ進ンデ行タ大道ノ眞中ニ現ハレタト云フ其コヌ、其障害物ヲ、處ヲ抱クト云々テハ言葉ガ出来得ル限り其障害ヲ排除シ、之ヲ緩和シテ、既ニ二億圓ノ正貨流出ガアタト云々テ輸入超過ハ前年ヨリモ少ナイ今日ノ狀況ニ於テスラ、尙ホ且金ノ流出ガアリマス、是ガ一部ノ人ミヲ大分心配セシメテ居ル、現下ノ緊縮政策ノ下ニ於テモ尙ホ然リ、若シ此場合ニ於テ、物價ノ騰貴ヲ招クガ如キコトヲ致シ、或ハ兌換券ノ膨脹ヲ生ズルガ如キコトヲ致シ、或ハ公債ノ増發ヲスル、新規事

業ヲ著々トシテ起スコトヲヤッタナラバ、貿易ノ逆調ハ一層甚ダシク、其結果トシテ、金貨ノ流出ハ到底今日ノ比デハナイト思ヒノ維持ハ又出來ナイト信ジマス、金貨本位制ノ擁護ハ又出來ナイト存ジマス、前田子爵ハ仰セラレナカツタノデアリマスケレドモ、若シ今日政府ガ大體ノ財政上ノ方針ヲ轉換イタシマシテ、茲ニ積極的ノ政策ヲ再び取ル、或ハ公債ヲ増發スル、或ハ國民ノ負擔ヲ増加セシムル、而シテ盛ニ政府ノ事業ヲ遂行スルト云フ政策ヲ復舊イタシマシタナラバ、物價ハ無論騰貴イタシマス、兌換券ノ膨脹トナリ、物價ノ騰貴トナリ、其結果ハ國際貿借ノ關係ニ於テ、容易ナラザル悪影響ヲ受ケルト存ジマス、即チ輸入ノ增加トナリ、輸出ノ減少トナッテ、輸入超過ハ再び非常ナル勢ヲ以テ、始マルト思フノデアリマス、不幸ニシテサウ云フコトニナリマス、是マデノ如キ公債整理、財政緊縮、此大體ノ方針ハ之ヲ動サズ、此財政方針ノ大道ニ向ッテ、當進ヲ致シマスル途中ニ於テ、種々ノ障害物ニ出會ウコトガアリマス、現在ノ失業問題ニ出會ウコトガアリマス、現在ノ失業問題ハ即チソレデアリマス、大道ヲ進行スル途ニ、我ミガ遭遇スベキ障害物ニ對シテハ、其障害物ヲ、處ヲ抱クト云々テハ言葉ガ

過ギマスケレドモ、其障害物ガ、我ミガ進ンデ行タ大道ノ眞中ニ現ハレタト云フ其コヌ、其障害物ヲ、處ヲ抱クト云々テハ言葉ガ出来得ル限り其障害ヲ排除シ、之ヲ緩和シテ、既ニ二億圓ノ正貨流出ガアタト云々テ輸入超過ハ前年ヨリモ少ナイ今日ノ狀況ニ於テスラ、尙ホ且金ノ流出ガアリマス、是ガ一部ノ人ミヲ大分心配セシメテ居ル、現下ノ緊縮政策ノ下ニ於テモ尙ホ然リ、若シ此場合ニ於テ、物價ノ騰貴ヲ招クガ如キコトヲ致シ、或ハ兌換券ノ膨脹ヲ生ズルガ如キコトヲ致シ、或ハ公債ノ増發ヲスル、新規事

業ヲ著々トシテ起スコトヲヤッタナラバ、貿易ノ逆調ハ一層甚ダシク、其結果トシテ、金貨ノ流出ハ到底今日ノ比デハナイト思ヒノ維持ハ又出來ナイト信ジマス、金貨本位制ノ擁護ハ又出來ナイト存ジマス、前田子爵ハ仰セラレナカツタノデアリマスケレドモ、若シ今日政府ガ大體ノ財政上ノ方針ヲ轉換イタシマシテ、茲ニ積極的ノ政策ヲ再び取ル、或ハ公債ヲ増發スル、或ハ國民ノ負擔ヲ増加セシムル、而シテ盛ニ政府ノ事業ヲ遂行スルト云フ政策ヲ復舊イタシマシタナラバ、物價ハ無論騰貴イタシマス、兌換券ノ膨脹トナリ、物價ノ騰貴トナリ、其結果ハ國際貿借ノ關係ニ於テ、容易ナラザル悪影響ヲ受ケルト存ジマス、即チ輸入ノ增加トナリ、輸出ノ減少トナッテ、輸入超過ハ再び非常ナル勢ヲ以テ、始マルト思フノデアリマス、不幸ニシテサウ云フコトニナリマス、是マデノ如キ公債整理、財政緊縮、此大體ノ方針ハ之ヲ動サズ、此財政方針ノ大道ニ向ッテ、當進ヲ致シマスル途中ニ於テ、種々ノ障害物ニ出會ウコトガアリマス、現在ノ失業問題ニ出會ウコトガアリマス、現在ノ失業問題ハ即チソレデアリマス、大道ヲ進行スル途ニ、我ミガ遭遇スベキ障害物ニ對シテハ、其障害物ヲ、處ヲ抱クト云々テハ言葉ガ

範圍ガ狭イカラ、ソレニ依テ産業ノ振興、失業問題ノ解決ニ資スル所極メテ少イト云
フヤウニ御話ニナリマシタケレドモ、私共ハ國產獎勵ノ範圍ハ左様ニ小サイモノデハ
ナイト存ジマス、此處デ具體的ニ統計ヲ申上グルコトハ、困難デアリマスケレドモ、
政府ノ部内ノ調査ニ依リマスレバ、今日現ニ國內ニ於テ生産ヲサレテ居リマス所ノ品
物ニシテ、輸入サレテ居リマス所ノ外國品
ト比較シテ、品質、價格共ニ匹敵スルニ足
ルベキモノノ四五億圓ノ多キニ達シテ居ルト
云フ調査デアリマス、然ラバ何故ニ國民ガ
其國產ヲ使用シナイカ、ソレニハ二ツノ原
因ガアラウト存ジマス、一つハ國民性トン
テ……甚ダ言フコトヲ恥ヅルノデアリマス
ケレドモ、是ハ數十年來ノ惰性デアル、即
チ外國品崇拜ノ弊風デアリマス、其二ハ國
内ニ於テ是程品質ノ優良ナル、又價格ノ低
廉ナル、即チ外國品ニ代用シ得ベキ品物ノ
生産ガアルト云フコトヲ知ラナイ、知テ居
ラナイ、此二ツノ原因ニ依テ國產ノ使用ガ
普及サレテ居ナイ、茲ニ於テ政府ハ、是ヨ
リ國產愛用獎勵ノ運動ヲ起シマシテ、廣ク
國民ニ向シテ數十年來ノ弊風ヲ改メシメ、一
面ニ於テハ、國內ニ於テ是ダケノ品物ガ、
是ダケノ廉價デ生産セラレテ居ルト云フコ
トヲ知悉セシメルト云フコトニ努メルト共
ニ、一面ハ國產品ノ生産者ニ向シテ彌、品
質ノ優良ニシテ愈、價格ノ低廉ナル物ヲ造
ラシムルコトニ、獎勵指導ヲスルト云フ方
針デアリマス、其政府ノ指導獎勵ニ基キ國
產品使用、愛用ノ國民的運動ガ成功イタシ
マスルナラバ、ソレガ我ガ國際貿借ニ及ス
所ノ影響ヘ決シテ輕クナイト存ジマス、相

當ニ重要ナル所ノ地位ヲ占ムルニ至ルコトヲ、私ハ期待ヲ致シテ居ル、失業問題ハ其原因ノ如何ニ拘ラズ、決シテ輕ク見ルコトノ出來ナイ問題デアリマス、今日ノ不景氣ハ、一部ハ此内閣ノ緊縮政策ノ結果デアルト云フコトハ、私ガ過日承認ヲ致シマシク、只今前田子爵ノ御述ベニナツタ通りデアリマス、併ナガラ、是ハ其全部ノ原因デハナイ、併シ責任ノ如何ニ拘ラズ、現ニ失業問題ガ眼前ニ發生シテ居リマスルコトヲ認メタ以上ハ、此時ニ局ニ當テ居リマスル所ノ政府トシテハ、ソレニ善處スベキ所ノ責任ヲ以テ居ルコトハ、是ハ申ス迄モアリマセヌ、決シテ其解決ノ責任ヲ避クルモノデハアリマセヌ、失業問題ハ御承知ノ通り、世界ノ文明各國ヲ共通ニ惱マシテ居ル所ノ、今日ノ大問題デアリマス、外國ノ失業者ノ數ハ、私自身ニ於テ能クハ承知ヲ致シテ居リマセヌケレドモ、英國ニ於テハ百五十万ト稱セラレ、或ハ獨逸ニ於テハ二百二十万ト稱セラレ、亞米利加ニ於テハ三百万ト稱セラレル、其正確ナ數ハ私ハ承知ヲ致シマセヌガ、兎ニ角、世界ノ文明各國ヲ齊シク惱シテ居ル所ノ重大ナル社會問題デアリマス、而シテ是ガ解決、又頗ル困難ナル問題デアリマス、英國ト云ヒ、米國ト雖モ等シク此問題ニハ頗ル惱ンデ居リマス、之ヲ完全ニ解決スベキ所ノ名案良策ハナカ／＼發見シ難イ、殊ニ事金錢ニ關スル問題デアリマス、財政ニ重大ナル關係ヲ以チマスルガ故ニ、各國ハ一層惱ンデ居ル、或ハ失業者ニ手當ヲ給スペシト云フ意見モアリマス、或ハ失業保険制度ヲ實行スペシト云フ議論モアリマス、是ハ事財政ニ非常ナル關係ヲ持ツタ事柄デアリマス、單リ一時的ノ問題ノミ

デハアリマセヌ、將來ニ向シテ一國ノ財政ヲ
大イニ務カス所ノ問題デアリマス、容易ニ
決定スベキ事柄デハナイト存ジマス、ノミナ
ラズ、失業者ニ職業ヲ與ヘルト云フコトヲ
考ヘズシテ、失業者ヲ生ジタカラト云テ
直チニ之ニ手當ヲ與ヘル、或ハ失業保險制
度ヲ設クルト云フコトハ、是ハ金錢上ノ問
題ヲ離レマシテモ、他ノ方面カラ考ヘテモ、
相當ニ考慮ヲ加フベキ問題ト存ジマス、ソ
レダケ問題ガ重大デアリマス、應急ノ對策
トシテ、政府ガ現ニ實行ヲ致シ、又豫算ニ
於テ要求シテ居リマス所ノ施設ハ、是ハ私
モ自ラ之ヲ承認イタシマスルガ、無論不十分
分デアリマス、決シテ徹底シタリトハ考ヘ
テ居リマセヌ、殊ニ其一ツノヲ取ッテ之ヲ
検討スルニ及ンデ、何レモ其效果ハ十分ナ
リトハ考ヘマセヌ、唯效果ノ左程多カラザ
ルモノデモ、之ヲ數多ク實行イタシマシテ、
ソレヲ綜合イタシ、組織的ニ之ヲ行フコト
ニ依シテ、相當ノ目的ヲ達スルニ稍近イト
存ズルノデアリマス、政府ハ今日マデ行
テ居ル施設ニ依シテ、又豫算ニ要求シテアル
施設ニ依シテ、滿足スルモノデナイコトハ、
過日モ申シタ通リデアリマス、然ラバ政府
ハ今日マデ行テ居ル政策ニ依シテ満足シテ
ナイ、不十分ト云フコトヲ認ムルナラバ、
是カラドウ云フコトヲ行ハムトスルカト云
フ、問題ノ要點ニ這入リマスルガ、之ニ付テ
ハ、只今此席ニ於テ是マデ行テ居ル所ノ
対策以外ニ、又豫算ニ要求シテアリマスル
施設ノ外ニ、斯ウ云フ具體的ノ案ヲ持ッテ
居リマス、斯クノ如キ立派ナ對策ヲ持ッテ
居リマスト云フコトヲ、此處ニ具體的ニ決
定的ニ申上ゲル迄ニハ至テ居リマセヌ、防
止委員會ハ設ケテアリマス、其效果ヘ何時現

ハルルカ分ラヌト仰セラレマスルケレドモ、
是ハ出来ルダケ調査ヲ急イデ、而シテ出来
ルダケ有效ナル施設ヲ講ジタイト云フコト
ヲ、今日ヨリ希望シ、且ツ期待ヲ致シテ居
リマス、ソレカラ昨年ノ秋設ケマシタ所ノ
社會政策審議會、其決議ニ依レバ、勞働組
合法ヲ制定スペシ、或ハ船員保險法ヲ制定
スペシト云フ如キ答申ヲ得テ居ルニ拘ハラ
ズ、此議會ニ提出ヲシナイト云フノハ、或
ハ之ヲ高閣ニ東ネテ居ルノデハナイカト云
フ御話モゴザイマンシタケレドモ、私ノ考ヘ
ニ依リマスレバ、勞働組合法ノ如キハ、產
業ノ根本ニ關シ、勞資ノ協調ニ關スル根本
的ノ問題ノ解決ニ資スペキモノデアリマシ
テ、當面ノ失業問題ノ解決トハ、直接ノ關
係ハナイノデアリマス、仍テ社會政策ノ審
議會ニハカケマシタケレドモ、又答申ヲ得マ
シタケレドモ、此勞働組合法案ヲ以テ、失
業問題ノ對策トシテ、政府ハ考ヘテハ居リ
マセヌ、失業問題ノ對策デハナイケレドモ、
特ニ政府ガ急イデ審議會ニカケマシタノ
ハ、昨年ノ十一月マデニ審議ヲ終リマシテ、
サウシテ冬カラ開カルベキ所ノ通常議會ニ
提案フシタイト云フ希望ヲ以テ調査ヲ急イ
ダノデアリマス、案ハ大體出來上ツテ居リ
マシタ所、議會ハ解散トナリマシタノデ、提
出ノ機會ヲ得ナカッタノデアリマス、此度ハ
總選舉後ノ特別議會デアリマスカラ、勞
働組合法案ノ如キ根本的ノ法案ヲ提出ヲ致
シ、御審議ヲ願ウト云フコトハ、會期ノ關係
上、又特別議會ノ性質上適當デナイト考ヘ
決シテ之ヲ高閣ニ東ネテ居ルト云フ意味デ
ハアリマセヌ、唯失業問題トハ左程直接ノ

關係ノアル法案デハナイト云フコトヲ申上
ゲテ置キマス、前田子爵ハ御演説中ニ、現
今ノ社會ニ日々現ハレテ來ル所ノ諸現
象ヲ列舉サレマシテ、國民生活ノ安定ヲ得
テ居ナイト云フコトヲ説明ニナリマシタ、
世ノ中ニハ仰セノ通り隨分悲慘ナル現象ガ
起リマス、誠ニ慘憺タル状態モ發生イタシ
マス、政府ト致シマンテハ、誠ニ心配ラシ
テ居ルノデアリマス、從ッテ之ニ對シ、是マ
デノ對策デ足リマセヌ所ハ更ニ十分考究イ
タシマシテ、其對策ヲ實行イタシ、以テ出
來得ルダケ、此問題ノ解決ニ資シタイト考
ヘテ居リマス、唯遺憾ナガラ、此席ニ於テ、
具體的ニ然ラバ如何ナル對策アリヤト云フ
コトヲ此席デ申上グルダケノ順序ニナッテ
居リマセヌ、政治ハ申ス迄モナク、國民生
活ヲ安定セシムルト云フコトガ其根本デナ
ケレバナラヌノデアリマス、是ハ子爵ノ仰
セノ通リデアリマス、我ニハ緊縮ノ政策ヲ
執リ、金解禁ヲ行ヒマシタノモ、永久ニ瓦
テ、將來ニ向テ永ク久シク國民生活ノ安定
ヲ期シタイト云フ希望ニ出デタノデアリマ
ス、唯其目的ヲ達スル迄ノ間ニ於テ、眼前
ニ横ノテ居ル此悲慘ナル現象ト此忌ムベキ
事柄、ソレニ對シテ深ク心痛ヲ致シテ居ル
ト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、出來ルダ
ケ方法ヲ講ジマシテ失業問題ノ解決ニ資シ
國民生活ノ安定ヲ圖リ、其中ニ產業振興
ノ根本方策ガ效ヲ奏シ、金解禁ノ影響ガ此
處ニ現レ、産業貿易ノ振興ガ出來マシテ、
ソレニ依テ永ク此問題ノ解決ヲ期スルト云

フ時期ニ速カニ到ラムコトヲ希望スルノデ
アリマス、此處ニ到リマス迄ノ間ハ應急ノ
對策ヲ以テ、其問題ノ緩和救濟ニ努ムルト
云フコトニ、政府ハ折角苦心ヲ致シ努力ヲ
スル積リデアリマス、大要御答ヘ申シマス、
尙ホ私ノ足リマセヌ所ハ他ノ大臣ヨリ説明
ヲ申上ゲルコトニ致シマス

◎子爵前田利定君 簡單デゴザイマスカラ
本席ヨリ申述ベマスクコトヲ御許シ願ヒマス、
私ノ質問ニ對シマシテ首相ハ御親切ニ縷、
御述べニ相成リマシタガ、併シ所謂多ク語
テ少ク御答ヘニナッテ居リマス、又御答辯ノ
大半ハ私ノ伺ハヌコトヲ仰セラレテ居ルノ
デアリマス、金解禁ノ當時ノ事情或ハ又經
濟論ヲ伺テ居ルノデハナイノデアリマス、
眼前ニ直面シテ居ル失業者ノ救濟ヲ如何ニ
セラレルカ、今日迄ノ根本策トシテ御示シ
ニナッタノハ有名無實ニナッテ居ル、遠キ將
セノ通リデアリマス、我ニハ緊縮ノ政策ヲ
執リ、金解禁ヲ行ヒマシタノモ、永久ニ瓦
テ、將來ニ向テ永ク久シク國民生活ノ安定
ヲ期シタイト云フ希望ニ出デタノデアリマ
ス、唯其目的ヲ達スル迄ノ間ニ於テ、眼前
ニ横ノテ居ル此悲慘ナル現象ト此忌ムベキ
事柄、ソレニ對シテ深ク心痛ヲ致シテ居ル
ト云フコトヲ申上ゲテ、終ニ何カ別ニモット
的確ナル具體的ノ御案出ハナイカト云フコ
トヲ伺タノデアリマスガ、ソレニ對シマス
ル御答ハ一番最後ニ仰セラレマシタ、即チ
十分デハナイガ出來ルダケ考究ヲシテ救濟
篤ト攻究シテ救濟ニ付テハ心配ラスト、
斯ウ御答ニナッタノデアリマス、別段ニ内務
大臣ヲ煩ハシマシテ具體的ニ内容ナドヲ同
意ヒマス、ケレドモ大道ハ一本デハナイト
スガ、濱口首相ノ思召デハ大道ハ只一ツシ
カナイト思召シテ居ラッジヤルノダラウト
思ヒマス、ケレドモ大道ハ一本デハナイト
私ハ思テ居リマス、ソレハ煎ジ詰メルト、或
ハ意見ノ相違ニナルノデアリマセウ、兎ニ角
力ト攻究シテ救濟ニ付テハ心配ラスト、
斯ウ御答ニナッタノデアリマス、別段ニ内務
大臣ヲ煩ハシマシテ具體的ニ内容ナドヲ同
意ヒタク、斯様ニ申サレタノデアリマス、
考ヘテ御答辯ナス、御居デニナラナイヤ
ウニ考ヘラレマシテ、反省ヲサレテ御答辯
ヲ願ヒタイ、斯様ニ申サレタノデアリマス、
マシタ事件デアリマスルガ、既ニ之ニ對シ
テ總理大臣ハ反省ラシタト云フコトヲ仰セ
ラレナクトモ、遺憾デアル深ク遺憾ニ感ズ
ルト云フ以外ノ御答辯ガ、此本議場ニゴザ

コトヲ申上ゲタノデハナイノデアリマス、
私ハ案ノ内容ヲ見ナイカラ、如何様カ分ラ
ナイガ、併シ答申ガアッタノデアルカラ、ソ
レヲドウ御取扱ヒニナッタカ、定メシ高閣ニ
スル積リデアリマス、大要御答ヘ申シマス、
尙ホ私ノ足リマセヌ所ハ他ノ大臣ヨリ説明
ヲ申上ゲタニ止マッテ居ルノデアリマス、又
東ネテ御出デニナルノデハナイカト云フコ
トヲ申上ゲタニ止マッテ居ルノデアリマス、
是等ノ答申案ガ失業救濟ト關係ハナイト仰
セラレマシタガ、私ハ關係アルト申上ゲタ
コトハナイノデアリマス、私モ矢張リ總理
ノ考ノ通りニ、是等ノコトハ直面セル失業
問題トハ懸ケ離レテ居ルト、私ハ思テ居ル
ノデアリマス、ソレ故ニ價値ガ甚ダ乏シイ
ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、又總
理ノ御答辯中ニ、進ンデ行ク所ノ大道ニ邪
魔物ガ横ツテ居ルンダ、ソレニ恐レテ居ルヤ
ウデヤ仕方ガナイ、斯ウ仰セラレテ居リマ
スガ、濱口首相ノ思召デハ大道ハ只一ツシ
カナイト思召シテ居ラッジヤルノダラウト
思ヒマス、ケレドモ大道ハ一本デハナイト
私ハ思テ居リマス、ソレハ煎ジ詰メルト、或
ハ意見ノ相違ニナルノデアリマセウ、兎ニ角
力ト攻究シテ救濟ニ付テハ心配ラスト、
斯ウ御答ニナッタノデアリマス、別段ニ内務
大臣ヲ煩ハシマシテ具體的ニ内容ナドヲ同
意ヒタク、斯様ニ申サレタノデアリマス、
考ヘテ御答辯ナス、御居デニナラナイヤ
ウニ考ヘラレマシテ、反省ヲサレテ御答辯
ヲ願ヒタイ、斯様ニ申サレタノデアリマス、
マシタ事件デアリマスルガ、既ニ之ニ對シ
テ總理大臣ハ反省ラシタト云フコトヲ仰セ
ラレナクトモ、遺憾デアル深ク遺憾ニ感ズ
ルト云フ以外ノ御答辯ガ、此本議場ニゴザ

ラナイノデアリマス、ケレドモ會期モ甚ダ
切迫イタシテ居リマスルシ、總理大臣モ連
日御繁務デ大分御疲レモ見ヘテ居ルヤウデ
アリマスカラ、私ハ之デ質問ヲ打切りマス
ク

〔伯爵奥平昌恭君演壇ニ登ル〕
〔副議長候爵峰須賀正韶君議長席ニ著
ク〕

◎伯爵奥平昌恭君 私ハ總理大臣ニ第一問
ヲ御尋ネ致シタイノデアリマス、特別議會
ノコトデモゴザイマスシ、私ハ最初此演壇
ニ立ツ考へハ毛頭有ツテ居ナカッタノデアリ
マスルガ、先般即チ先月質問戰ノ始マリマ
シタ第一日ニ於キマシテ、同僚小久保君ノ
質問ニ對シテ、總理大臣ノ御答辯ヲ同ヒマ
シテ、私ハ何ダカ物足ラナイヤウナ心持ガ
シテ參タノデアリマス、ト申シマスルノハ
總理大臣ハ私トモ長ク御交際申シテ居ツテ、
シテ、私ハ何ダカ物足ラナイヤウナ心持ガ
シテ參タノデアリマス、ト申シマスルノハ
總理大臣ノ御氣質ハ能ク分ツテ居リマス、全
ク謹直ナ御方、謹嚴ナ御方ト思ツテ深ク久シ
ク敬意ヲ表シテ參タノデアリマスルガ、既
ニ小久保君ハ第二ノ質問ヲ發セラレ、總理
大臣ノ御答辯ガ、餘リニ君臣ノ所謂臣節ヲ
考ヘテ御答辯ナス、御居デニナラナイヤ
ウニ考ヘラレマシテ、反省ヲサレテ御答辯
ヲ願ヒタイ、斯様ニ申サレタノデアリマス、
マシタ事件デアリマスルガ、既ニ之ニ對シ
テ總理大臣ハ反省ラシタト云フコトヲ仰セ
ラレナクトモ、遺憾デアル深ク遺憾ニ感ズ
ルト云フ以外ノ御答辯ガ、此本議場ニゴザ

イマシテ、私ドモガ其疑惑ヲ解キマスコト
ガ出来マスレバ、私ハ此演壇ニ立ツ必要ハ
ナカッタノデアリマス、不幸ニシテ今日マデ
其御答辯モナシ、又豫算總會ニ於テ川村竹
治君ノ御質問ニ對シマシテ、尙深ク衷心ヨ
リ遺憾ニ堪ヘマセヌトノ御答辯ニ止マッテ
居ルノデアリマス、デアリマスカラ、私ハ
斯様ナ問題ニ付テ總理大臣ニ質問ヲ致サナ
ケレバナラヌト云フコトハ、ソレ自體ニ於
テ誠ニ深ク遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、
此問題ニ付キマシテハ必ズヤ總理大臣ハ其
重任ニ居ラレマシテ至尊ニ對シ奉リテ輔弼
ノ責任上カラ見マシテ最善ノ御考ヲ以テ我
國體ノ本義ニ副フ御處置ヲ御執リニナルモ
ノト考ヘマンテ私ハ久シイ間世論囂々ト致
シテ居リマシタケレドモ、此點ニ付キマシテ
靜ニ總理大臣ノ出處進退ニ注目ヲ致シテ
居タノデゴザイマス、御承知ノ通リニ小久
保君ノ御質問ニ對シマシテモ速記録ヲ以テ
讀ンデ見マシテモ尙且ツ深イ遺憾ニ堪ヘナ
イト云フコトダケニ過ギヌノデアリマス、
此御答辯ハ私ガ考ヘテ見マスルト私ヘ日本
國民トシテ誰シモ抱ク觀念ニビタリ合テ
居ル御答辯デアルカ否、私ハ左様ニ考ヘテ
居ルノデアル、私ハソレニ付テハ失禮ナガ
ラ我國民ノ觀念古來ヨリアル所ノ觀念ニ
シナケレバナラヌト云フコトノ場合ニナッ

テ來タノデゴザイマス、何トナリマスレバ
小久保君モ亦川村君ノ御兩君共ニ御質問ナ
サラウト思ッテ御遠慮ニナッタ點ヲ私ハ深ク
立入ンテ承ッテ見タイノデアリマス、私ハ日
本國民ト致シテノ觀念ニ於テト申スコトハ
我國民ニハ申上ゲル迄モナク建國以來洗鍊
サレタ所ノ此責任觀念ガ髓トナリシテ發
達ヲシテ武士道トナッテ來テ居ルノデアリ
マスガ、之ガ君臣ノ大義トナッテ常ニ變ラ
ザル……貴キ變テザル一貫、連綿トシテ續
イテ居ルノデアリマス、此間ニ於キマシテ
ハ、私利私腹ノ爲ニ又一黨一派ノ爲ニデモ
卑怯ノ振舞ヲスルト云フコトハ責任上出来
ナイノデアリマス、又左様ニ致シマスレバ
臣節ノ根本義ヲ踏違テシマッタ云フコト
ニ陥ルノデアリマス、即チ此觀念ヨリ致シ
マシテ總理大臣ノ申サレタ遺憾ト云フ言葉
ハ失禮ナガラ分析ヲ致シテ見マスルト云フ
ト、小橋氏ヲ奏請イタシマシタ御自分ノ不
注意ハ何トシテモ手落デアル、何トシテモ
手落デアルト云フコトガ、川村君ノ質問ニ
對スル御答辯ヲ見マシテモ明ニナッテ來テ
居ルノデアリマス、從テ此不注意ノ爲ニ折
角組閣當初ニ於テ内奏マデサレマシテ發表
爲サレマシタ十大政綱ノ第二ニゴサイマス
民心ノ作興ト云フコトハ、其束ネヲ掌テ居
告人トナッテ其爲ニ非常ナル障碍ニ相成ッタ
ノデアリマス、遂ニ惡影響ヲ受ケルニ至
テ其爲ニ奏上ヲ致シテ此内閣ノ政綱トシタ
ル文部大臣ノ任ニ當ラテ居ツタモノガ刑事被
時弊匡救ノ任務ヲ果スコトガ出來ナカッタ

コトハ誠ニ畏レ多イコトデアル、由シテ世道
人心ニ大ナル暗點ヲ印シタト云フコトハ、
綱紀肅正ガ現下ノ急務デアルニ鑑ミマシテ、
内閣總理大臣ト致サレテハ至尊ニ對シ奉リ
恐懼ニ堪ヘナイ、斯様ナ意味ガ遺憾ノ中ニ
含マレテ居ル譯デナケレバナラヌノデアリ
マス、左様デアル以上ハ遺憾デアルト御考へ
ニナラレル總理大臣トサレマシテノ御處置
ハ、臣節ヲ全ウサレマスル爲ニ既ニ善處シ
テ置カナケレバナラカタノデアリマス、
是方我國民トシテノ觀念ニ依ル解釋デアリ
マス、然ルニ、私、否私バカリデナイ、誰
シモ驚クノハ濱口總理大臣ノ述ベラレマシ
タ此遺憾ト云フコトハ是ト異テ居ル所ノ
意義カ含ンデ居ルヤウニ思フノデアリマス、
小久保君ニ對スル御答ニ依リマスレバ事件
ノ前後ニ付キマシテノ事柄ガゴザイマシ
タ、即チ内閣ノ組織前ノ事件デアル、サウ
シテ私ハ小橋氏ヲ閑僚ニ奏請イタシマシタ
當時ニ於テハ此事柄タルヤ世間ニ於テモ、
私ニ於テモ全ク知ラナイ事件デアルト申サ
レテ居ルノデアリマス、恬トシテ責任ヲ有
セザルヤウニ御考ヘニナッテ居ルノデアリ
マス、誠ニ私共ト致シマシテハ驚キ入ッタル
御態度ト言ハナケレバナラヌノデアリマス、
私ハ敢テ憲法ノ講義ヲ總理大臣ニ申上ゲル
ノデハアリマセヌケレドモ、總理大臣ノ輔
弼ノ責任ト云フコトニ付キマシテ、之ヲ一
言ニ申上ゲマスレバ、至尊ニ對シ奉シテ聖慮
ヲ安ンジ奉ルト云フコトノ外ハナインデア
ル、サウ致シマスレバ、總理大臣タル者ガ

遺憾デアルト云フコトニ御考ヘニナルコトハ、輔弼ノ責任ニ顧ミマシテ、聖慮ヲ安ジ奉ルニハ、何トシテモ臣節ヲ全ウシテ居ルト云フコトハ言ヘナイノデアリマス、之ヲ承リタイ、又議會ニハ個人ト云フモノノ意見ガ大臣ノ御答辯ニアル譯ハナイノデアリマス、國政ヲ議スルニ責任ヲ以テスル處デアリマシテ、即チ濱口總理大臣ハ事件ノ内容ガ組閣ノ前ニ於テ起ツタコトデアルカラトテ責任ノ有無ヲ言ハレルノデアリマスモノハ私ハ左様ナモノデハナイト思フ、ソレハ絶對ノモノデアルト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、付キマシテハ決シテ私ハ本議場ニ決議ヲ出サウト云フノデナイガ、如何ニモ責任ヲ感ジテ御イデニナラナイ、決議デモ出ナケレバ責任ヲ御執リニナラナイヤウニ御考ヘニナルト云フコトハ、非常ナ私ハ誤リデアルダラウト思フノデアリマス、勿論總理大臣トシテハ平常、寃々匪躬ノ誠ヲ竭サレテ居ルノデアリマセウガ、併ナガラ此事ニ付キマシテハ此上ニモ深ク御考ヘナサレテ、此事柄ノ御取扱ガ惡イト云欺クトニナレバ則チ遺憾デアルト云フコトノ意味ヲモウ少シ徹底シテ我ミニ御話下サリマセヌ限りハ、天ヲ欺キ、人ヲ欺キ已ヲ考ヘナサレテ、此事柄ノ御取扱ガ惡イト云欺クト云フヤウナ重大ナル結果ヲ國家ニ興ヘ、又國民思想ノ上ニ及ボスカラ、私ハ十
分ニ慮シテ戴キタイノデアル、勿論上御一人

ニ對シ奉^タテハ誠ニ恐懼ニ堪ヘナイト申サ
レルコトガ私ハ此場合臣節ヲ全ウスルモノ
ト私ハ考ヘルノデアル、演口總理大臣ハ巧ミ
ニ議論ヲ立テラレテ御答辯ヲ致サレマスガ、
此問題ハ私ハ政策トハ違^ツテ居ル、政策トハ
異^ツテ意見ノ相違ナドト言ウテ此議場デサ
ウ云フ遁辭デハ私ハ満足スルモノデハナ
イ、ドウゾ嚴正ニ率直ニ是マデノ事ヲ……
御答辯ヲ反省セラレマシテ、誰モ此議場
ニ疑ノ残ラナイヤウニ、遺憾ト云フコト
ノ……即チ演口總理大臣ガ遺憾ト感ジラレ
タコトノ失禮ナガラ内容ヲ分析セラレテ、
我ミノ前ニ御示シヲ願ヒタイノデアル、是
マデノ御答辯ヲ見マスルト云フト、何ト
ナク我ミガ考ヘテ居^タ武士道トハ非常ニ
違^ツテ居ル、日本ニ醇化シタ所ノ臣節トハ相
距ルコト千里ノミナランヤデアリマス、茲
ニ例トシテ引キマスルコトハ、聊カ禮ヲ失
シマスノデアリマスケレドモ、私共ノ祖先
ハ後ロニ居ラレル德川議長ノ御祖先ガ執權
ノ任ニ當^ツテ居ラレタル時ニ於キマシテ、所
謂總理大臣ノ遺憾ト述ベラレタル如キコト
ガアリマシタ場合ニハ、潔ク責任ヲ執^タノ
デアル、即チ其場合ニ於キマシテハ光風霽
モ輔弼ノ責任上、責任ヲ御執リニナリマス
ト云フコトニナリマスレバ、此武士道ニ付
デアル、デアリマスルカラ何ト致シマシテ
喜七君ヨリ發セラレマシテ、其質問ニ對シテ
ス、小橋事件ニ關スル御質問ハ、先般小久保
ヨリノ御質問アリマス、固ヨリ事柄ハ極メ
テ重大ナル事柄デアリマスニ依^ツテ、更ニ御
答ヲ申シマス、私ハ御答ヲスルニ當^ツテ物ヲ
相許サヌノデゴザイマス、勿論國政ハ多岐

多方面ニ瓦^ツテ居リマスガ、國體觀念ノ維持
ニ關シマシテハ、私ガ申上ダマセ^ヌデモ諸
君ノ御承知ノ通リ貴族院ハ最モ意ヲ致シテ
參^ツタノデアル、私ノ申ス迄モナイコトデア
リマス、小橋氏問題ニ現ハレタル今日マデ
ノ總理大臣ノ御言葉ニ付キマシテ、私ト同
ジ疑惑ヲ本院ニ懷イテ居ル者ハ私ハ少クハ
ナイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、最後ニ
重ネテ申上ダマス、總理大臣ハ上御一人ニ
對シ奉^タテ、謹ムデ此問題ハ恐懼ニ堪ヘナ
ト申サレルコトハ、臣節ヲ全ウセラレル所以
デアルト私ハ考ヘルノデアル、デアリマスル
カラ臣節ヲ全ウスルノニ、恐懼ニ堪ヘナ
ト御考ヘニナラナイデハ、臣節ヲ全ウシテ
ト御考ヘニナラナイデハ、臣節ヲ全ウシテ
居ルンダト云フ解釋方付カヌノデアリマス
古語ニ曰ク感ジテ後應ズト云フコトガアリ
マス、恐懼ニ堪ヘナイト云フ御考ヘ……御
感ジニナリマシタナラバ、今日敢テ其處置
ヲ執^ツテモ私ハ遲クハナイト思フノデアリ
マス、何卒總理大臣ガ率直ニソノ所謂遺憾
ト云フコトニ付キマシテ御答辯アランコト
ヲ希^ツテ、一應此壇ヲ降リマス

〔國務大臣演口雄幸君演壇ニ登ル〕

●國務大臣(演口雄幸君) 御答ヘ致シマ

ス、小橋事件ニ關スル御質問ハ、先般小久保
閣僚ニ奏薦ヲ致シマシタ其當時ノコトヲ、
今日ヨリ回想イタシマスト云フト、先日モ申
述ベタ通リ誠ニ衷心ヨリ遺憾ノ至リニ堪ヘ
マセヌ、此深キ遺憾ヲ感ジマスルト云フ私
ノ心情ハ、先日小久保君ノ御質問ヲ受ケタ時
ニ初メテ起^ツタ心情デヘアリマセヌ、況ヤ只
今奥平伯爵ノ御質問ニ依^ツテ新タニ起^ツタ心
情デハアリマセヌ、是ハ小橋君ガ犯罪ノ嫌
疑ニ依^ツテ起訴サレタト云フコトヲ承知ヲ
致シマシタ其時ニ、直チニ私ノ胸奥ニ起^ツタ心
情ス、其後檢事局ノ取調ガ段々ト進捗ヲ致シ
マシテ、豫審ノ結果公判ニ移サレタト云フ
コトヲ承ルニ及シ^テ、一層私ノ遺憾ノ情ヲ
刺激シタノデアリマス、今日ニ於キマシテ
ハ、遺憾ノ至リニ堪ヘナイト云フソレヲ分

●副議長(侯爵峰須賀正詔君) 奥平伯爵

●伯爵奥平昌恭君 只今申シマシタ通リ事
件ノ内容ハ私ハ分^シテ居リマス、又速記錄ニ
於キマシテモ御覽ニナリマシテ、恐ラク同
僚諸君モ御承知デゴザイマセウ、就キマシ

テハ會期モ切迫シテ居リマスカラ、事件ノ
内容ヨリモ寧ロ私ハ總理大臣ノ御感想ヲ奉
テハ、國務大臣演口雄幸君演壇ニ登ル
ス、小橋事件ニ關スル御質問ハ、先般小久保
閣僚ニ奏薦ヲ致シマシタ其當時ノコトヲ、
今日ヨリ回想イタシマスト云フト、先日モ申
述ベタ通リ誠ニ衷心ヨリ遺憾ノ至リニ堪ヘ
マセヌ、此深キ遺憾ヲ感ジマスルト云フ私
ノ心情ハ、先日小久保君ノ御質問ヲ受ケタ時
ニ初メテ起^ツタ心情デヘアリマセヌ、況ヤ只
今奥平伯爵ノ御質問ニ依^ツテ新タニ起^ツタ心
情デハアリマセヌ、是ハ小橋君ガ犯罪ノ嫌
疑ニ依^ツテ起訴サレタト云フコトヲ承知ヲ
致シマシタ其時ニ、直チニ私ノ胸奥ニ起^ツタ心
情ス、其後檢事局ノ取調ガ段々ト進捗ヲ致シ
マシテ、豫審ノ結果公判ニ移サレタト云フ
コトヲ承ルニ及シ^テ、一層私ノ遺憾ノ情ヲ
刺激シタノデアリマス、今日ニ於キマシテ
ハ、遺憾ノ至リニ堪ヘナイト云フソレヲ分

析シテ、ドウ云フ事實ニナルカト云フコト

ヲ御答ヘ申スコトハ出來マセヌガ、誠ニ此

問題ニ對シマシテハ奏薦當時ノコトヲ回想

イタシ何トモ申上ゲヤウノナイ、遺憾ノ意

ヲ衷心ヨリ表スル次第デゴザイマス、ドウ

カ之ニ依ッテ伯爵竝ニ滿場ノ諸君ノ御諒解

ヲ得タイト存ジマス

●伯爵奥平昌恭君

私ノ質問ニ大分御答辯

ノ見當ガ違テ居リマス、私ハ總理大臣ト致

シマシテ其重任ニ居ラレマシテ、輔弼ノ責

任ヲ全ウスル上カラ申シマシテ、斯様ナ事

件ニ付キマシテハ憲法上先程モ申上ゲマシ

タル通リ、聖慮ヲ安ンジ奉ルト云フコトガ、

輔弼ノ責任ノ大部分ヲ占メテ居ルコトデア

ル、デアリマスルカラシテ、此事件ニ依ッテ

私ハ總理ガ只今申シタ其點カラ推サレマシ

テ、誠ニ畏多イコトデアッタ云フ御二言ヲ

承レバ、私ハ滿足スルモノデアリマス、其

御一言ヲ承ラナイト云フコトデアレバ、私

ハ又再び登壇イタサナケレバナラヌノデア

リマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

●國務大臣(濱口雄幸君)

此問題ニ對シマ

シテハ、先刻ノ私ノ説明ニ依ッテ、私ノ考

ヘテ居リマスコトノ全部ヲ申上ゲマシタ、

ソレニ依ッテ御承知ヲ願ヒマス

●伯爵奥平昌恭君

私ハマダ満足イタシ

ネマス、登壇イタシテ宜シウゴザイマスカ

●副議長(侯爵蜂須賀正詔君)

宜シウゴザ

イマス

〔伯爵奥平昌恭君演壇ニ登ル〕

●伯爵奥平昌恭君

甚ダ簡單ナ御答辯デ實

ハ驚入リマシタ、私ハ只今ノ總理大臣ノ御忠

答辯ヲ承リマスルト、折角國家ノ爲ニ御忠

告申シタニモ拘リマセズ、依然矢張リ深ク

遺憾ニ堪ヘナイト云フコトヲ繰返サルルノ

デアリマス、就キマシテ私ハ總理大臣ニ御

製ヲ奉讀イタシタインデアリマス、明治

天皇陛下ノ御製ノ中ニ「マメヤカニ事フル

臣ノアレバコソ我ガ政ハ亂レザリケリ」昭

憲皇太后陛下ノ御製ノ中ニ「君臣ノ道アケ

ラケキ日ノ本ノ國ハ動カジヨロヅヨマデ

ニ、斯様ニ仰セラレテ居ルノデゴサイマ

ス、諸君甚ダ私ト致シマシテハ御製ヲ引キ、

又御歌ヲ引クト云フコトハ恐懼ニ堪ヘナイ

ノデゴザイマス、併ナガラ總理大臣ノ只今

ノ御答辯ヲ承リマスルト、私ハ君臣ノ大義

本道ト云フモノヲ何トナク總理大臣ガ失禮

ナガラ御感ジニナッテ居ナイ、衆議院ニ多數

ヲ御持チニナッテ居レバ、ソレデ宜シトイ云

フヤウニ私ハ感ゼラレルノデアリマス、甚

ダ失禮ナコトデゴザイマスルガ、土佐ニハ

山内容堂公ヲ始メ阪本龍馬、其他後藤象二

郎氏ノ如キ勤王ノ、勤王家ヲ簇出サシテ居

ル、又勤王家ニシテ立憲政治家ノ先覺者デ

アル板垣退助氏ノ如キモアル、斯様ナ偉人

ヲ出シテ居ラレル、私ハ常ニ濱口君ガ誠ニ

謹嚴謹直デアル、斯様ナ人格ヲ作ラレテ居

ルノハ、是等ノ勤王家又ハ立憲政治家ノ先

覺者ノ遺風衣鉢ヲ受ケラレテ、土佐ノ氣風

ト云フモノガ此處ニ現ハレテ居ルモノト深

ク尊敬ヲ致シテ居タノデアリマス、然ルニ

只今ノ御答辯ヲ聽キマスルト云フト、ドウ

モ私ガ考ヘテ居ルヨリモ日本國民トシテ皆

懷ク所ノ觀念トハ大分距離ガアルヤウニ私

ハ考ヘラレマス、強ヒテ彈劾スル譯デハア

リマセヌケレドモ、左様ニ考ヘラレルノデ

ト云フコトハ不満足デアリマス、是ハ御五

ノ間ノ事デゴザイマスカラ、甚ダ遺憾デア

ルト云フコトヲ總理大臣ニ對シテ、甚ダ不

満足デアルト云フコトヲ申シテ差支ナイノ

デアリマス、何ゾ知ラン、我ガ國體、皇室

ニ對シマシテハ、ドウモ只今ノ御答辯ヲ以

テシマシテハ、私ガ只今申シタル土佐ノ先

人ノ遺風ヲ辱メルバカリデナク、國家國民

ノ憂慮ニ私ハ堪ヘナイカト思フノデアル、

テシマシテハ、私共ノ總理大臣ノ此皇室ニ

總理大臣ハ國民カラ見マシテ其一言一句ト

云フモノハ國民ノ儀表トナッテ居ルノデア

リマス、故ニ衆議院ニ二百七十七名ノ絕對多

數ヲ擁スル以上ハ、一切ノ解決ヲ此力ニ於

テノミ爲サムトスルヤウニ見ラレルノデア

リマシテ、何トシテモ總理大臣ノ此皇室ニ

ニ結構デアル、時代ハ進歩シ、又選舉界ノ

情勢ト云フモノハ八月ニ日ニ各種ニ變化ヲ致

シテ參ッテ居ルノデアリマス、其變化ニ伴ヒ

マシテ之ヲ革正ナサルト云フコトハ結構ナ

ルコトト深ク尊敬ノ意ヲ拂テ居タノデア

リマス、私ハ本年ノ二月ニ舉行セラレマシタ

ル……過ギタル衆議院議員選舉ノ前後ニ於

キマシテ諸所ヲ旅行イタシタノデゴザイマ

ス、當時各地ニ於キマシテ警察官吏ノ不法

リタインデスガ、宜シウゴザイマスカ

●副議長(侯爵蜂須賀正詔君)

宜シウゴザ

イマス

〔伯爵奥平昌恭君演壇ニ登ル〕

リタインデスガ、宜シウゴザイマスカ

●伯爵奥平昌恭君

甚ダ度々登壇ヲ致シマ

シテ會期切迫ノ折柄恐縮ニ存ズル次第デア

リマス、私ハ第二回ト致シマシテ綱紀肅正

ノ手形ガ三三所謂荷爲替附ノ手形ガ此現内

閣ニ依ッテ振出サレテ居ルノデアリマス、付

キマシテ只今迄私ハ此手形ノ振出人ガ信用

ガ確實デアッテ、誠ニ荷物ガ著イテ居ルモノ

ノヤウニ實ハ考ヘテ居タデアリマス、付キ

マシテ手形ヲ調べテ見マスルト云フト、此手

形ノ中ニハ綱紀肅正ト云フコトノ此民政黨ノ十

大政綱ノ主モナルモノガ缺ケテ居リハシナ

イカ、ソレニ伴ヒマシテ、私共ガ常ニ總理大

臣其他閣僚ノ方ニカラ新聞ノ紙上ニ於キマ

シテ承ッテ居リマスル所ニ依リマスルト、政

治ハ力強イ、正シイ政治ヲスルノダ、又選

舉ハ革正ヲシテ選舉ハ公平ニ取締ルト云フ

コトヲ承ッタノデアリマス、私ハ此事ハ誠

ニ結構デアル、時代ハ進歩シ、又選舉界ノ

情勢ト云フモノハ八月ニ日ニ各種ニ變化ヲ致

シテ參ッテ居ルノデアリマス、其變化ニ伴ヒ

マシテ之ヲ革正ナサルト云フコトハ結構ナ

ルコトト深ク尊敬ノ意ヲ拂テ居タノデア

リマス、私ハ本年ノ二月ニ舉行セラレマシタ

ル……過ギタル衆議院議員選舉ノ前後ニ於

キマシテ諸所ヲ旅行イタシタノデゴザイマ

ス、當時各地ニ於キマシテ警察官吏ノ不法

ナル選舉干渉ニ付キマシテ怨嗟ト憤慨ノ聲ヲ聞イテ居タノデアル、私ハ民政黨ノ内閣、殊ニ總理大臣ガ謹嚴謹直ノ方デアルカラシテ斯様ナ選舉干渉ノ如キ事實ハ私ハ選舉界ニハ……場裡ニハ一切ナイモノダト考ヘテ半信半疑デ歸タノデアリマスルケレドモ、其後各所ヨリ選舉ノ干渉ニ付テ壓迫……野黨ヲ壓迫シクトカ、或ハ官權ヲ濫用シテ野黨ヲ苦シメタト云フテ私ノ所へ訴是レ蓋シ私ハ安達内務大臣ガ重要ナル内務行政ノ一般政務事務ヲ第二義ニ置カレテ、ヘテ來タモノガ澤山アルノデゴザイマス、ニ重心ヲ置カレマシテ、一般ノ行政ニ手心ヲ加ヘタト云フコトガ、私ハ選舉ノ上ニ現ハレテ來タ所ノ事實ヲ見マシテモ、ドウモ當時ニ於テハサウ云フコトガ十分アツト思ハレルノデアリマス、現ニ内務大臣ノ官邸ノ如キハ民政黨ノ選舉本部トモ云フベキ有様デアツテ、各府縣長官ニ對シテ選舉ノ指令ヲ發シタカラ、其區ノ支部ハ長官ト能ク打合セラシテ選舉ヲシロト、斯様ナ指令ヲ發シテ居ルノデゴザイマス、支部ニ於テハ歩出テ居ル、是ハソンナコトハナイト仰シヤ調ヲ合セテ策懸シテ黨務ヲ處理シ、選舉ヲ有利ナラシムベシト云フ、斯ウ云フ指揮ガケレドモ今ノ役人ノ中カラ聞イテ居ルノデアル、此情報ニ依リマシテモ選舉第一主義、

一般行政ノ政務事務ト云フモノハ第二義ニ置カレタト云フコトガ明カデアリマス、シカノミナラズ私ハ綱紀問題ニ付キマシテ現ニ告發サレテ居ル所ノモノニ付キ見マスルト云フト、大阪府ノ南惣一郎ト云フ人ヲ内務大臣ノ官邸ニ御呼寄セニナリマシテ、其人ノ立候補ヲ取消サシテ居ルノデアル、斷念サセテ其地盤ヲ辻本豊三郎君ニ譲ラシテ居ルノデアル、其交渉モ官邸デ以テ爲サレテ居ル、又神奈川縣ノ石川重郎ト云フ人ノ立候補ヲ取消サシテ、其人ノ投票ヲ……其人等ニ集マルベキ投票ヲ小野重行ト云フ人ニ誘導スルコトモ亦官邸ニ於テ交渉サレタノデアリマス、斯ノ如クデアリマスルカラ全國ノ官憲ガ選舉ニ關シマシテハ職權ヲ濫用スルニ至ツタノハ、是ハドウモ上ノ方デ只今申シマスル通り、官邸ヲ選舉ノ本部ノヤウニ爲サルカラサウ云フコトガ起ツテ來ルノデアル、デアリマスルカラ、私ハ之ニ對シテハ源ハ失禮ナガラ内務大臣ニ發シテ居ルト云ツテモ差支ハナイモノダト思フノデアリマス、デアリマスルカラ、内務大臣ハ左様ニ致シマシテモ差支ハナイノデアルカ否ヤト云フコトヲ、又一般行政ノ政務事務ヲ後廻シニシテ選舉第一主義トシテ宜シイカ、斯様ナ觀念ヲ持テ差支ナイノデアルカト云フコトヲ、私ハ寧ロ内務大臣ヨリモ總理大臣ニ承リタイノデゴザイマス、又就キマシテハ失禮デゴザイマスルガ、此コトノ爲ニハ内務大臣ガ岡田豐一ト云フ人ノ爲ニ告發ヲサレテ居ル、ソレカラ又調べテ見マ

スルト云フト内務大臣一人デヘナイ、小泉遞相ハ御承知ノ通り昨年議會方召集イタサレマスル前ニ……第五十七議會ガ召集イタ招待ヲ致サレテ、投票ヲ得ル目的ヲ以テ酒肴ヲ饗應サレテ居ルノデアリマス、就キマシテ餘リニ解散ニ近カツタモノデアリマスルカラ是モ亦告發ヲサレタ、石田官治ト云フ人ニ告發ヲサレテ居ルノデゴザイマス、又江木鐵相モ兵庫縣ノ田昌君、私ハ極ク懇意ナ人デスガ田昌君ノ所ニ選舉應援演説ニ行カレマシテ、其地方ノ利害關係ノアル鐵道ノコトニ付テ選舉民ヲ誘導シタト云フ……誘導スルヤウナ行爲ヲナシタ、又之ニ依リマシテ選舉違反デ告發サレテ居ルノデゴザイマス、江木鐵相ニ對シマシテハ告發人西谷雅光ト書イテアル、又田中文相モ新潟縣ノ長岡市ト高田市ニ於テハ佐藤謙之輔ト云フ人ノ應援演説ニ行カレマシテ、山本悌二郎君ノ虚構ノコトヲ言ヒ又名譽ヲ傷ケタト云フ爲ニ、亦田中文相モ告發サレテ居リマス、ソレハ村山浪治郎ト云フ人カラ告發サレテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク私ハ選舉ノ革正ヲ期ス、又選舉革正モ告發サレテ居リマハ、故ラニ強ク選舉革正ヲ高調シタ、高調力說ヲシタ所ノ此内閣ニ起シタト云フコト設ケニナシテオ出デニナル現内閣ノ國務大臣ノ數名ガ告發サレテ居ルト云フコト臣ノ數名ガ告發サレテ居ルト云フコトノ革正ヲ期ス、又選舉革正委員會マデ態、御内閣ニ於テ爲サレタル所ノ總選舉ニ於テ

起^シタト云フコトハ、單ナル皮肉トシテバカ
リ之ヲ取扱フコトデハナイグラウト、私ハ
如何ニ考ヘマシテモ先程此壇上ニ於テ總理
大臣ハ此頃ハ公人ヲ告發シテ甚ダ輕卒ニ
迷惑ヲシテ居ルト云フ意味ノ御話デゴザイ
マシタ、全クソレハ左様デゴザイマセウ
ガ、斯ノ如キ告發ヲ受ケルト云フコトニ付
テハ其地方ニ於テノ事實ヲ認メラレテ、サ
ウシテ綱紀ニ觸レル、斯様ナ意味ニ於テ私
ハ告發サレテ居ルモノト思フノデアリマス、
之ニ付キマシテモ小橋文相ハ御承知ノ通り
ノ次第デアル、今又四人ノ大臣ガ告發サレ
テ居ルト云フコトハ、私ハ現内閣ノ綱紀肅
正ト云フ手形ハ何處ニドウ云フ工合ニシテ
下サルノデアル、之ヲ一ツ承リタイ、如何
ニモドウモ此手形ニ付テ荷爲替ガ所謂荷物
ガ附イテ居ナイ荷爲替ノヤウニ思フノデア
リマス、ソコデ府縣知事ヤ警察部長ガ官權
ヲ濫用シテ選舉干渉ヲシタ事件ヲ舉グマス
レバ、私ノ知^チテ居ル所デモ澤山ゴザイマ
ス、最モヒトイモノヲ申シマスレバ、其一
ツハ三松新潟縣知事ノ行^シタ所ノ干渉デア
リマス、即チ三松知事ハ昨年十二月七日解
散ヲ見越シマシテ、其部下ノ選舉取締主任
官デアル同縣高等警察課長羽入雪太郎ニ命
ジマシテ、是ハ山本君ヲ落ス爲デゴザイマ
セウ、佐渡郡ノ各警察署長ヲ集メサシテ、
政府黨ノ候補者ニ付テ是非共當選サセル、
斯ウ云フ手段ノ爲ニ三松知事方傳ヘタ所ノ
指令ガアル、甚ダ時間ガ掛リマスカラ此指

令ダケハ讀ミマス、一、選舉取締ニ就テハ總テ民政黨ノ運動員ト連絡ヲ取り與黨側ニハ候補者ノ氏名ヲ大書シ、責任者ノ氏名ヲ極メテ細字ニテ記載シタル名刺様ノ印刷物ヲ作製シ、之ヲ間断ナク有權者ニ配布セシムルコト、二、違反ノ檢舉ヨリモ政友派ノ運動員ヲシテ活動ノ機會ナカラシムル様注意シ、選舉委員ハ勿論運動ヲ爲スト認メラルベキモノニ對シテハ終始尾行ヲ付シ完全ニ自由ヲ束縛スルコト、三、推薦狀ハ數ノ多キヲ尊重スルガ故ニ、其意味ヲ與黨ノ運動員ニ指示シ實行スルコト、四、判明シタル情勢ヲ與黨ノ運動員ニ通ジ、民政派運動員ヲシテ是以上活動ノ餘地ナシト認メラル程度マデ最高限度ノ活動ヲ爲サシムルコト、此指示ノ際同縣南魚沼郡ニ於テ其ノ直前ニ行ハレタル縣會議員補闕戰ニ官憲ガ干渉シ奏效シタル事實談ヲ附加シ説明シタリ」此縣會ノ選舉ノ時ニハ私ハ遊漁ニ參シテ居シテ、此事實ヲ實際聞イタ、隨分ヒドイコトヲシテ居ル、甚ダ失禮デスケレドモ是ハ許スコトガ出來ナカツア壓迫ヲ致シテ居ルノヲ地方ニ於テ聞イテ參シタ、五、演說會ノ取締ニノミ主力ヲ集中スルトキハ一般ノ取締手薄トナリ從フテ野黨ニ乘ゼラル虞レアルニヨリ考慮スルコト、六、退職官吏ガ監視員トシテ選舉地ニ來ルコトハ往々選舉違反選舉運動ト認メラルニヨリ必ズ尾行視察ヲ嚴ニスルコト」斯カル干涉方法ヲ三松新潟縣知事ハ指示シテ居ル、其外ニ又投票ヲ得ル目的ヲ以テ標準ノ命令ヲ又發シテ居

「一、兩津警察署管内ノ有權者ハ七千四百八候補者ノ氏名ヲ大書シ、責任者ノ氏名ヲ極メテ細字ニテ記載シタル名刺様ノ印刷物ヲ作製シ、之ヲ間断ナク有權者ニ配布セシムルコト、二、違反ノ檢舉ヨリモ政友派ノ運動員ヲシテ活動ノ機會ナカラシムル様注意シ、選舉委員ハ勿論運動ヲ爲スト認メラルベキモノニ對シテハ終始尾行ヲ付シ完全ニ自由ヲ束縛スルコト、三、推薦狀ハ數ノ多キヲ尊重スルガ故ニ、其意味ヲ與黨ノ運動員ニ指示シ實行スルコト、四、判明シタル情勢ヲ與黨ノ運動員ニ通ジ、民政派運動員ヲシテ是以上活動ノ餘地ナシト認メラル程度マデ最高限度ノ活動ヲ爲サシムルコト、此指示ノ際同縣南魚沼郡ニ於テ其ノ直前ニ行ハレタル縣會議員補闕戰ニ官憲ガ干渉シ奏效シタル事實談ヲ附加シ説明シタリ」此縣會ノ選舉ノ時ニハ私ハ遊漁ニ參シテ居シテ、此事實ヲ實際聞イタ、隨分ヒドイコトヲシテ居ル、甚ダ失禮デスケレドモ是ハ許スコト言ハナケレバナラヌ、是ハドウシテ分ッタカト言ヒマスレバ、唯今休職ニナシテ居リマスルガ佐渡ノ相川警察署長ノ次席警部補デアル羽賀喜一郎ト云フ人ノ手帳ニ書イテアツタ、是ハ十二月ノ暮カラ一月ニ漁ニ参りマシタ時分ニ此話ヲ聞キマシタ、此一事ガ明ニ先般ノ總選舉ト云フモノハ官憲ト與黨モ申立テルモノデアリマス、デ私共ハ實際聞モシ、見モシテ居ルノデアリマス、而シテ三松知事ガドウシテ斯ウ云フ手段ニ出タクト言ヘバ私ガ申上ゲマセヌデモ諸君御承知モシ、斯様ナ事實ヲ以テ見マスレバ、私ハ内務大臣ガ如何ニ辯明表裏ノナイモノデアツタナラバ、是ハ全ク必要ガナイ、非常ナル繁劇ヲ構ハズニ調査ニ要ガナ、從事セシメテ居ル、サウシテ與黨ト結ンデ選舉ニ臨ンダノデアリマス、斯様ナ事實ヲ以テ見マスレバ、私ハ内務大臣ガ如何ニ辯明思フ、遇、新潟縣ノ佐渡郡ニ發覺シタル如ク警察官ヲ以テ野黨壓迫ノ干涉ヲ致シタノデアリマス、斯様不正ガアツカラコソ私ハ大變ナ大勝ヲナサレタモノト思フ、總理大臣、内務大臣ハ此實際ノ實例ニ付キマシテ、干涉ハ實際ニナサラヌト云フノデアルカ、又非常ニ奇怪ナルコトハ本年ノ一月二十五日ノ地方長官會議ニ於キマシテハ内務大臣ノ訓示ノ一節ヲ讀ミマスト「議員候補者ノ得票ニ

闕スル調査報告ハ徒ニ世間ノ誤解ヲ招キ、
官憲ノ公正ナル態度ヲ疑ハル所ナルヲ以
テ徵セザルコト」ト云フ。此一事ハ、私ハ共
結構デアル、ドウカ境内閣ニ依テ問題ノ多
イ衆議院議員ノ選舉ト云フモノハ革正ヲシ
テ貰ヒタク、斯様ニ考ヘテ、誠ニ結構ダ、
此一事ニハ非常ニ共鳴シテ居タノデアリ
マスルガ、前述ノ通り行タナラバ、非常ナ英
斷ト見ナケレバナラヌ、是モ實際トハ非常
ニ違テ居ル、只今申シタヤウナ事實ニ於テ
色ニノコトガアル、是ハ私ノ知リ得テ居ル
所ニ依リマスト云フト、内務省ハ各地方長
官ヨリ「選舉ノ情勢報告」、或ハ「候補者勢力
情勢報告」ト云フヤウナ名ヲ用ヒラレマシ
テ、採點表ヲ公然ト二月一日ヲ第一回トシ
テ、二月五日ヲ第二回、二月十日第三回、
二月十五日ヲ第四回、二月ノ十六日以後ハ
毎日此調査報告ヲ御取リニナシタト云フ。
トデゴザイマス、斯様ニ考ヘマスト云フト
大臣ノ地方長官ニ對スル訓示ノ中ニハ、調
査報告ハ取ラナイト仰シヤツテ置イテ、アナ
タノ下僚ノ内務省ハ斯様ナ調査報告ヲ御取
リニナルト云フコトハドウモ選舉ヲ公平ニ、
又正シク行ダト云フコトガ言ヘルカ、ソ
レバカリデハナイ、候補者ノ氏名ヲ滑稽ニ
モ符號ヲ附ケテサウシテ其人ノ情勢報告ヲ
ナイカト思フノデアリマス、ソレカラ簡單

命ニ依ラテ基本調査ヲスル、其結果警察官モソレニ又責務ガ移ラテ警察官ガ、法ニ禁ジテアルニモ拘ラズ有權者ニ對シテアナタハドナタニ投票ヲ爲サルト言ツテ投票ノ強要ヲシテ告發ヲサレタ者モアルノアリマス、神奈川縣ニハ三浦郡長井町矢方駐在所ニ於キマシテ新田巡查、厚木警察署長、富山縣ニテハ上市警察署ノ島倉刑事巡查其他ニアリマス、此一事ヲ以テ見マンテモ、内務大臣ガ選舉ハ公正ニ取締ラタ云フコトハドウモ申サレマイ、私ハ正反対ノ事實デアル、斯様ニ思フノアリマス、又投票強要バカリデハナリ、投票表示ノ強要バカリデハナリ、積極的ニ與黨候補者ノ爲ニ投票ヲ求メルヤウニ警察官ガ運動ヲ致シテ居ル、是ハ誠ニ驚入ラタモノアリマス、甚ダ内務大臣ニハ御氣ノ毒デアリマスガ、相當重大ナル綱紀紊亂トシテ如何ニ御考ニナルノアリマスカ、其實例ト致シマシテハ大阪府ノ柏原警察署ノ坂本淺之進ノ違反行爲ハ民政黨ノ候補者田中萬逸君ノ爲ニ國民同志會ノ候補者高松正直君ノ後援者トシテ其地方ニ有力ナスル者ガ、此非遠ヲ政テスルト云フコトハ人、ソレ等ノ人ミヲ買収シタト云フノニ屬シテ居ル、法ノ違反ヲ禁ズルベキ職務ヲ有スル者ガ、此非遠ヲ政テスルト云フコトハ今回ノ選舉ガ甚ダ失禮ナ言ヒ分デアリマスガ、上司ガ下司ニ命令ヲシテ責任ヲ負ヘシメタト云フコトモ是テ分ル、是バカリデハナイ、三重縣ノ松坂警察署長ノ官舍モ與黨候補者ノ選舉策謀ノ本部ニナッテ居ル、其爲

島縣ノ竹原警察署長ノ坂井重一ト云フ人ハ
署員ニ對シテ運動ヲシテ居ル、民政黨ノ候補
者ハ買收タルト屋別訪問タルトヲ問ハズ其
當選ヲ圖ルニハ何ヲシテモ宜シ、之ニ反
シテ野黨ノ方ハ少シデモ違反ガアッタナラ
バ假借ナクヤッテシマヘ、此事ノ爲ニ毛利ト
云フ巡査ト野田ト云フ巡査ガ憤慨ヲシテ此
事實ヲ發表シテ居ルデハナイカ、又熊本縣
ノ天草郡ノ赤崎警察署長ノ永野勇ト云フ人
ガ、二月十八日ノ午後六時ニ自カラ民政黨
ノ候補者ノ宣傳「ビラ」ヲ持ッテ、同郡ノ島子
村ノ前村長デアッタ梅村某方ニ赴イテ、從來
民政黨ノ反對黨ニ贊成デアッタ河内吉太郎
ト云フ人外六十餘名ノ投票ヲ民政黨ニ取
テシマウ、宣傳「ビラ」ヲ警察署長ガ御自身
デ持ッテオ出デニナッテ、サウシテ投票ラシロ、
斯様ニ勸誘ラスルト云フコトハ何レモ私ハ
法ヲ憚ラナイ大膽ナル行爲デアル、官紀ノ
弛廢遂ニ茲ニ至ルモノト言ハナケレバナラ
ヌ、更ニ又甚ダ失禮デゴザイマスガ、福島
縣下ニ行レマシタル此處ニ濱口雄幸サンカ
ラ出マシタ監視員囑託票、福島縣デ第二區
衆議院議員選舉ノ監視員ヲ囑託スル、斯様
ノモノが出テ居ルノデアリマス、私ハ實ニ
驚入^フテ居ル、是ハ民政黨ノ裏面ノ運動ヲ容
易クスル爲ニ出シタモノト言ハナケレバナ
ラヌ、取締リノ任ニアル所ノ警察官ノ一切
ノ取締ヲ開放シテシマシテ、昔ノ箱根ノ關所
ヲ通ルト同ジニ、是サヘ持ッテ行ケバ何處デ
モ行カレルト云フ、誠ニ巧妙ナルモノガ出

シタインデアリマス、總理大臣ト又此民政
黨ノ總裁トノ同心一體、又此御身分ノ使ヒ
分ケノ點ニ付テ論ジタインデアリマスケレ
ドモ、時間ガアリマセヌカラ止メマス、ソレ
カラ愛知縣ニ行キマスレバ、矢張リ其縣ノ
支部カラ出テ居ル、之ヲ持テ行クト云フト、
警察官が出席ヘバ、ドウモ運動御苦勞様、ド
ウゾ宜シク、斯ウ言テ挨拶スル、斯様ナ事
實ヲ見マスト、職務懈怠、之ニ付テハ驚ク
ベキモノデアリマス、官權ト與黨トガ細カ
ニ通謀シテ居ル、斯ノ如ク官紀ヲ紊セシ
メタト云フコトハ、私ハ何人ノ責任ダト云フ
コトヲ言ハナイデモ、之ヲ御覽ニナレバ能
クオ分リニナルコトデアリマス、組閣ノ當
初奏上ヲシテ、十大政綱ニ掲ゲラレテアリ
マス綱紀肅正ヲスルト云フ、此聲明ニ偽ガ
ナイモノナラバ、斯様ナコトヲ爲サルト云
フコトハ、全ク私ハ、是ガ綱紀肅正ノミニ
マス、ニアリマスカラ以上ニ述ベマシタ
ル所ノ事實、其他ヲ綜合シテ見ルト云フ
ト、最初私ガ申シマシタ通り荷爲替手形ニ
ガ無イ、シテ見レバ、十大政綱ノ第二ニ掲ゲ
テアリマス所ノ綱紀肅正ト云フコトハ、
何トシテモ私ハ失禮ナ言ヒ分デアリ
マスガ羊頭狗肉ノ政策ト言ハナケレバナラ
ヌト云フ風ニ感ジラレルモノデアリマス、

モ、此法律ニ付キマシテ、選舉後ニ付キマシテ
留置、監禁、拷問ヲシテ居ルノデアリマス、
併シ人權ノ尊重ニ付キマシテハ、先年ノ刑
事訴訟法ノ改正ニ付キマシテ、相當ニ加味
サレテ居ルノデアリマスケレドモ、今度ノ
違反事件ノ檢舉ニ付テハ苛酷ナル手段ヲ以
テ拷問シテ自白ヲ強要シテ居ル、爲ニ無實
ノ者ヲ拷問ニカケタ爲ニ憤死シタ者、又ハ憤
死ヲ謀ツタ者ガ澤山出テ居ル、此點ハ法治國
ノ體面ノ上ヨリモ將タ又思想ノ上ニ及ボス
上ヨリモ、私ハ重大ナル問題トシテ、慎重
ニ研究ヲ遂ゲナケレバナラヌモノデアルト考
ヘルノデアリマス、憤死ヲ遂グタル者ノ一
人、京都市京染吳服商組合員上市重太郎ト
云フ人ノ遺書ヲ見タト云フ人カラ聞キマス
ト、全ク警察署、檢事局ニ於テ取調申ノ願
求ニ依ツテソレ等ヲ又考ヘマスト云フト、故
意ニ罪ヲ作ラムトシタ、斯様ニ推定出來ル
ノデアリマス、又神奈川縣ノ都筑ノ郡ト申シ
都筑郡、都岡村、横溝忠藏及ビ伊之助ト云フ、
此父子ノ…親子ガ、是方警察署ニ呼バレ
テ行ツテ拷問ヲセラレタ結果、父ノ自殺ヲ
圖フタコトヲ知ラズニ、獨リ縊死ヲ擇ンデ首
ヲ縊ラムトシタ、又父ハ此子ノ決行ヲ知ラ
ズシテ投身ヲ計ツタト云フコトハ、全ク人生
悲慘ノ極ミトシテ、私共ハ此拷問ニ依ツテ、
モ其事タルヤ、一圓ノ金ヲ貰タカラ、ソ

至テハ鷲クノデゴザイマス、又廣島縣ノ尾道市ノ金田兼松ト云フ人ハ矢張リ駐在所ニ拷問セラレタ結果デアリマセウ、駐在所ニ備付ケテアッタ日本刀デ自害ヲシテ、自殺ヲシテシマツタ、其時、其駐在所ニ四人ノ警官居ルト言ハナケレバナラヌ、官紀弛廢ト言惹キ起シタト云フコトハ全ク官紀紊亂シテハナケレバナラヌモノデアリマス、デアリマシテ、十分ニ確信ヲ得ラルベキ私ハ材料ニ依テ質問ヲ致シタモノデアリマス、以上ノ事實ニ依リマシテ、折角二百七十ト云フ多數ヲ御取リニナツタガ、ドウモ私共考ヘマスルト云フト、正當ノ手段ヲ越エテ……超越シテ居ル、ソレバカリデハナク、反對ノ方ニ行ツテ居ル、恰モ雪ガ少シ降ツテ居ルノヲ……降雪ガ少イトキニ、雪達磨ヲ轉ガシテ行ツテ、無理ニ轉ガシテ行ケバ雪達磨ハ表ニ汚ガ付イテ汚クナル、折角二百七十ヲ御取リニナリマシタガ、サテ綱紀肅正ト云フ光ガ段々強クナッテ國民ガ自醒自覺ト云フモノガ付イテ來タナラバ、折角御作リニナツク達磨サンヲ抱ヘテ、今日ハ好イ氣持ニナツテオイデニナリマセウガ、其達磨サソ……雪達磨ト云フモノガ綱紀肅正ノ光ヲ強ク當テレバ自然ニ消滅シナケレバナラヌト云フ悲境ニ立ツモノデアル、又私ハ内務省ノ政務、事務ヲ第二義ニ置カレタ結果、大臣ガ選舉第一主義ヲ執ラレテ、一般ノ内務省ノ政務、事務ヲ第二義ニ置カレタ結果、公安維持ノ點ニ甚ダ不満足ナコトガ起ツテ

居ルモノデアリマス、最近ノコトハアトデ御尋ネ致シマスガ、是ハ本年三月ノ二十二日カラ三十一日マデ公安維持ガ非常ニ害セラレ、十日間ニ瓦ツテ栃木縣ノ那須郡鍋掛村ニ於テ集團的暴行ガ三十數回モ繰返シテ居ルノデアリマス、生命財産ノ保護ヲ警察ニ求メマシテモ殆ド顧ミナイ、現代ニ於テ私ハ有ルマジキ不祥事カト思フノデアリマス、事件ハ全ク僻遠ノ一小部落ノ地主ト小作人三十名トノ間ノ小作争議ニ端ヲ發シテ居ルモノデアリマスルガ、其中ニ思想家ノ一部分モ這入ヅテ加擔ヲシテ十日間ニ瓦ツテ放火、暴行、脅迫、至ラザルナク、遂ニ警察ニ訴ヘテ保護ヲ依頼スレバ、或ハ取合ハズ、或ハ告訴ナドヲスルト事が面倒ニナル、大キクナルカラ、先方ニハ或ルベク逆ハヌヤウニシテ置イテ吳レロ、斯ウ放言シテ居ルノデアリマス、巡查ヲ迎ヒニ行ケバ警官ガ來テ現場ヲ見テモ直グ引返シテ行ッテ何等ノ保護ヲシテ居ナイ、安達大臣ハ此状況ヲ御聽取リニナッテ、何等ノ御責任ヲ感ジニナラヌノデアリマスカ、警察行政ハ私ガ申上ゲルマデモナイ、豫防警察、保安警察ト云フモノデアリマシテ、斯カル状態ニ對シテハ十分ニ警戒ヲ加ヘテヤラナケレバナラヌ、一面ニハ犯罪ヲ豫防シ、一面ニハ不良行爲ニ依ル所ノ國民生活ノ不安ヲ除去スル任務ガアルノデアリマス、勿論、私ハ此問題ノ質シテ言フノデハアリマセヌガ、唯、公安維持ノ重要ナル警察官ガ、訴ヘニ依、テ現場ヲ

見ナガラ、殆ド十日間ニ瓦ツテ、數十回ニ瓦ツテ繰返サレル集團的ノ暴行、放火、脅迫モ其儘ニシタ、被害者ガ遂ニ檢事局ニ告訴ヲシテ、檢事ノ檢舉ヲ得テ初メテ生命財產ノ安全ヲ見ルニ至ラタ云フコトハ由々シリマスカラ、今マデ第一、選舉主義、第二、國內一般ノ情勢、内務省ノ政務、事務、斯様ニ方針ヲ御變ヘニナラナクチヤナラヌ、將來ニ向テ永遠ニ御變ヘニナラナイト云フト斯様ナ事件ガ起テ來ル、私ハ　陛下ノ赤子ハ何處ニ在リマシテモ身體財産名譽ノ保護ヲ受ケテ生活ノ不安ヲ感ゼナイヤウニシテコソ、秩序アル所ノ社會ト言ハナケレバナラヌ、斯様ナコトデアッテ、斯様ナ事實ヲ見マスレバ、官紀弛廢スル其源ハ上司ニアリマシテ下僚之ニ倣フモノデアリマス、内務大臣ハ失禮ナガラ、ドウモ餘り選舉第一主義ニ没頭サレルノデアリマスルカラ、公安維持ノ重責ノ如キモ、ドウモ失禮ナガラ、輕視サレル傾ガアレバコソ、下僚警察官モ亦選舉事犯ニ没頭シテ、斯ノ如キ不祥事ヲ惹キ起シタモノデハナイカト私ハ思フノデアリアス、又此事件ニ付キマシテハ既ニ司法權ノ發動ガアッテ、被害者ノ告訴ニ依ッテ小林某以下五名ハ判務所ニ收容サレタノデアリマス、公安維持ニ關シテ尙ホ一ツ伺ッテ見タイノデアリマスルガ、最近ニ起テコトデアリマスガ……宜シウゴザイマセウカ……今一ツ公安維持ニ付キマシテ缺闕シテ居ル、甚ダ我ミガ見テ遺憾ニ存ズル點ヲ

臣、文部大臣等ノ告發ノ事件ガアッタコトハ、是ハ承ッテ居リマスケレドモ、其事件ノ大部分タルヤ、既ニ不起訴處分トシテ終了イタシテ居リマス、處分ノ決定シナイモノマス、從テ此度ノ總選舉ニ於テ綱紀紊亂ノ事實ハ決シテナイト存ジマス、細目ニ瓦ツテ種々ノ事實ヲ擧ゲテ御質問ガアリマシタガ、是ハ内務大臣ヨリ御答ヘスルコトニ致シマス

〔伯爵奥平昌恭君「此處デ簡單デアリマスカラ……」ト述フ〕

（國務大臣安達謙藏君演壇ニ登ル）

◎國務大臣（安達謙藏君）只今私ガ内務大臣ト致シマシテ、此度ノ選舉ニ干渉シタカノ如キ御話デアリマシタガ、全然事實ト相違イタシテ居リマス、第一ニ選舉第一主義デ、諸般ノ内務行政ハ第二、第三トシテ閑却シテ居ルト云フヤウナ御話デアリマスガ、私ハサウ云フ考ハ全然持ッテ居リマセヌ、而シテ只今總理大臣カラモ辯解ガアリマシタガ、内務大臣ノ官邸ヲバ選舉事務所ニシテ居ルト云フヤウナコトハ全然跡方モナイコトデアリマス、而シテ地方長官ヲ呼ンデ種種ナ指圖ヲスル、サウンテ一方ニハ政黨ノ支部ニ是レヽヽ地方長官ニ指圖ヲシタカラト云ツテ、地方長官ト支部トノ聯絡ヲ致ス、サウ云フコトハ絶對ニアリマセヌ、私ハ永イ間、殊ニ度々在野黨ト致シマシテ、此選舉ノ干涉ヲ受ケタコトガアリマスカラ、自分ガ局ニ當ツテ居ル以上ハ、及バズナガラ干

居リマスカラ、此際ニ改メタイト云フコトヲ、私良心ニ誓ッテ居リマス、唯世間デ選舉ト申シタラ必ズ干涉ガアルモノノ如ク、ソレハ自分ガ多年ノ間、度々サウ云フ經驗ガアルヤウナ人ガ類推シマシテ、サウシテ種々ナコトヲ忖度シテ非常ナ陰險ナ、時トシテハ巧妙ナル干渉、跡方ガナイカラ巧妙ナ干渉ト申シマス、巧妙デモ何デモナイ、實際ニナイカラ跡方ガナイノデアリマス、ソレカラ此事實ヲ御擧ゲニナッタノハ、一々辯解スル迄モアリマセヌガ、地方ノ政黨ノ機關新聞、又反對黨ノ方ニカラ、是ハモウ互ニ……私、互ニト申シマス、能ク民政黨ノ人デモ、反對黨ノコトヲ針小棒大ニ言ウタコトモアリマスカラ、殊ニ此度ノ選舉ニ臨ミマシテ、全ク跡方モナイ、又チヨットシタ痕跡、所謂針小棒大ニスル、ソレガ地方ノ黨ノ機關新聞ナドニ現ハレテ居ル、是ガ皆御話ノ材料ニナッテ居リマス、ソレカラ地方ノ黨員ガ地方ノコトヲ調べニ行キマスト、非常ニ誇張シテ話シマス、是ガ亦材料ニナッテ居リマス、地方長官會議ヲ致シマシタ、警察部長會議ヲ致シマシタ、私、地方長官ヲ呼ンデ個々面接シタ、警察部長ヲ呼ンデ祕策ヲ授ケタト云フヤウナコトガ……ソレハ是迄ノ選舉ノ場合ニ地方長官ヲ東京ニ呼ビ、或ハ警察部長ヲ呼バレタ場合ニ、サウ云フコトガ行ハレタモノト推測イタシマス、ソレダカラ此度モサウ云フトガ、ソレハ是迄ノ選舉ノ場合ニ地方長官ヲ東京ニ呼ビ、或ハ警察部長ヲ呼バレタコトガアツタ如ク世間デモ思フノハ、私ハ甚

ダ遺憾ト致シマス、私ハ一度デモ地方長官會議ニ來タ知事ヲ呼ンデ、サウ云フコトヲ會議ノ時ニ申シタ外ニ、私ガ直接ニ差向ヒニ話シタコトハ絶対ニアリマセヌ、警察部長モ亦然リデアリマス、先日モ豫算委員會デアリマシタカ、話シマシタ通り、私ガ選舉第一主義デナイト云フ證據ニハ警察部長會議ヲ終ヘマシタ後ニ、談話ヲ致シマシタ時ニモ、アナタ方ハ選舉ニ沒頭シテハ宜クナイ、選舉ニ沒頭シタ爲ニ外ノ普通ノ一般ノ警察行政、就中衛生ニ對スル注意ヲ怠ッタラ、非常ニ傳染病ナドガ蔓延スルヤウナコトガアルカラ、決シテ警察官ハ選舉ニ沒頭シテハ宜クナイカラ、其邊ノコトモ注意シタラ宜カラウト云フヤウナコトモ言タ位デ、態選舉ノ爲ニ呼ンダ警察部長ニ對シテモ、實際私ハサウ云フコトヲ申シテ居ルノ時トカ、神奈川縣ノ小野君ノ立候補ノ場合、辻本君、小野君ナドノ爲ニ私ガ云々シタト云フコトハ全然無根ノコトデアリマス、之ヲ反對派ノ人ガ告訴シタヤウデアリマスガ、無論不起訴ニナッテ居リマスガ、實際ニ斯ウ云フコトハ跡形モナイヤウナコトヲ、種々ノ捏造ヲ致シマシテ、告訴ヲシタノデアリマス、ソレカラ新潟縣ニ於テ三松知事ガ云々シタ、今手帳カ何カニアッタハ、全然ナイト云フコトヲ斷言イタシマス、ノヲ御讀ミニナッタノハ、私ハサウ云フコトヲ地方ノ警察官ニ指令シタト云フコト

何レ矢張リ誰カガ堵へタモノト私ハ思フノ
デアリマス、ソレカラ此兵庫、滋賀、沖繩
アタリノ縣會ノ原案執行ノコトヲ中ニ挾ン
デ御話シニナリマシタガ、此原案執行ノコ
トハ、先日衆議院ノ分科會デモ質問ガアリ
マシタガ、成程九縣ダケ原案執行イタシマ
シタ、併シ此原案執行ハ、何時ノ内閣デモ
大概八九縣、若クハ五六縣、或ハ少ナイ時
ハ二三縣位ハアルモノデアリマシテ、殊ニ
此地方ノ府縣ハ、今御舉ゲニシタヤウナ所
ハ、多年一方ノ政黨ニ壓迫セラレテ居リマ
シテ、サウシテ地方ノ學校、或ハ產米検査
ナドガ、私カラ見マスルト、公正ニ行ハレ
テ居ラヌト考ヘマス、一政黨ガ地方ノ勢力
ヲ占メテ居リマスカラソコダケ中學校ナド
ヲ捨ヘテヤラナイ、斯ウ云フコトニナシテ居
リマス、ドウシテモ誰ガ見テモ中學ヲ作ラナ
ケレバナラヌ所ニ縣立ノ中學校ガナイ、ソレ
ダカラ知事ノ意見ニ依テ原案ヲ執行シタ、
滋賀縣ノ米ノコトハ、此產米検査ト云フモノハ
日本全國デ民間デヤテ居ル所ハ滋賀ト山
口ダケデアリマス、外ハ皆縣營ニ致シテ居
リマス、而シテ此ノ滋賀縣ハ產米検査ノコ
トニ非常ニ多年ノ間弊害ガアルト云フコト
ガ能ク分テ居リマスカラ、ソレデ知事ハ此
度之ヲ縣營ニシタイ、他ノ府縣同様ニシタ
イト云フ案デアリマス、ソレダカラ原案執
行ヲ致シタノデアリマス、要スルニサウ云
フ意味カラ、地方ノ公共ノ爲ニ當然ナコト
ト思フコトノミ原案ヲ執行スルコトヲ認可
シテ居ルノデアリマス、ソレカラ此選舉ノ

統計ヲ取ル必要ガナイト云フコトヲ私ガ地
方長官ニ申シマシタ、ソレヲ實際ハ取ツテ居
ルト云フ御話デアリマシタガ、サウデハア
リマセヌ、是ハ誤解デアリマス、是迄ノ總
選舉毎ニ候補者ノ得點數ヲ何万何千何百ト
云フ見込數ヲ皆取ツテ居タノデアリマス、
之ヲサウ云フコトヲ取ルコトハ、警察事務
ニ餘計ナ煩雜ナコトヲサセマシテ、事務ニ
於テ頗ル澁滯ヲ來スト考ヘマシタカラ、サ
ウ云フコトヲサセル必要ハナイト申シタノ
デアリマシテ、此度モ各候補者ノ得點數ヲ
各地カラ調べテ、サウシテ内務省ニ取寄セ
タコトハアリマセヌ、大阪ノ柏原警察署長
ノコトハ、是ハ署長ノ瀆職事件ノ起ツタコ
トハ事實デアリマス、甚ダ遺憾ト致シテ居
リマス、ソレカラ今度ノ選舉ニ付テ自殺ヲ
シタ……憤死シタ者ガアルト云フコトハ、是
ハゴザイマス、總選舉ノ場合ニハ此度ニ限
リマセズ、イツノ總選舉デモ數人ハ自殺ヲ
スル人ガ現レルコトハ甚ダ遺憾ト致シテ居
リマス、選舉ガ熱シマスルト、ソレカラ選舉
違反ナドシタ人ガ取調ベラレマシテ、サ
ウシテ非常ナ恐怖心カラ往々自殺ヲ致スコ
トガ、是マデモ度ニアリマシタ、此度モサ
ウシタコトガナイデハアリマセヌガ、其事
實ハ御話トハ全然違テ居リマスカラ、是ハ
シテ非常ニ拷問ヲシタ云フヤウナコトハ、
委細ノコトハ警保局長カラ御答ヘスルコト
ニ致シテ置キマス、唯此度ニ限リマセヌ、而
全然アリマセヌデス、却ツテ正直ナ人ガ多ク
ハ選舉違反ノ擴大スルコトナドヲ恐レマシ

國務大臣小泉又次郎君演壇ニ登ル

ガ、總選舉毎ニ見出サレテ居ルコトハ甚ダ
遺憾トシテ居リマス、其他ノコトハ警保局
長カラ申上ダマス、柄木方面デアリマシタ
カ、公安維持ト云フコトニ付テノ御話デア
リマスガ、公安維持ニ付キマシテハ、最善
ノ注意努力ヲ致シテ居リマスガ、小作争議
ノ起ツタコトハ甚ダ遺憾ナ次第デアリマス、
其邊ノコトハ警保局長カラ御答スルコトニ
致シテ置キマス

辯明ガアリマシタガ、私聞及ンデ居ル所ニ依リマスト云フト石田官治ト云フ辯護士カラ告發サレテ、解散直前デアリマシタガ、其實デナイニシロ、私ハ事實デアッタガ爲ニ告發ヲ受ケテ居ルノグラウト思フ、火ノ無イ所ニ煙ハ立タナイト云フコトガアル、デアリマスカラ縦令是ガ不起訴ニ相成リマシテモ、現職ニアル大臣ガ四名マデモ告發ヲ受ケタト云フ事實ハ、何ント致シマシテモ、綱紀ヲ肅正、振肅スルト宣言セラレテ居ル即チ政綱ノ中ニアル此内閣ト致シマシテハ、餘り褒メラレナイトダト思フノデゴザイマス、又内務大臣ノ資料云々ニ付テ御辯明ガゴザイマシタガ、是ハ私ハ現職ノ地方官カラ聞イテ居ル、其人ノ名ヲ言フノハ氣ノ毒ダ、ソレダカラ申シマセヌ、私ハ確タル事實ヲ以テ此質問ヲ致シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、事實ヲ御否定ニナルト云フコトデアリマスルナラバ致方ハゴザイマセヌガ、何シロ選舉ハ公平ニ嚴正ニ取扱シタト云フコトニ事實ヲ御認メニナッテ居ルノデアリマスカラ、私ハ止ムヲ得ズ此一ツノ事實ヲ捉ヘテ如何ニモ私ハ先般ノ選舉ニ公平ニ取扱ハレナカッタ云フコトヲ茲ニ附言イタシマシテ此問題ニ對シマシテ……選舉ニ付キマシテハ質問ヲ中止イタニマス、尙ホ三月二十二日ヨリ三十一日マデノ間三十日間ニ瓦ツテ居ル此暴動的小作筆議ニ付キマシテハ、只今内務大臣カラ御

答辯ガアリマシタガ、私ハ只今ソ御答辯ヲ以テ満足イタシマセヌ、ト申スノハ、十日間モ殆ド警察ノ保護ヲ願ヒ出テモ保護ヲ受ケルコトガ出來ナカッタ、又相手ニナッテ吳レスナド、警察官ノ保護ヲ加ヘルコトヲ禁止シテ居ル事實ハ明カデアリマス、デゴザイマスカラ、是ハ告發ヲシテ居ル、其告訴狀ノ寫シマデ持テ居リマスガ、ソレマデ申シマスト非常ニ長クナリマスカラ止メマスケレドモ、此事實ヲ御否定ニナルト云フコトデハ甚グ心外ニ堪ヘナイ、是ハ何ト致シマシテモ先程申シタ通り、選舉第一主義、選舉ノ神様デゴザイマスカラ、選舉第一主義、一般ノ内務行政ノ政務事務ト云フモノハ第二次ニ置カレタノデアリマスカラ、斯様ナ悲慘事件ガ起ツタモノト思フノデアリマス、就キマシテ引續イテ質問イタシマスト非常ニ長クナリマスカラ、私ハ此問題ニ付キマシテ、今ノ鍋掛村ノ事件ニ付キマシテハ是デ質問ヲ打切りマス、ドウゾ左様御承知ヌ……

●副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本日ハ之ヲ以テ延會イタシマシテ、次ノ日程ハ決定次第本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、是ニテ散會

午後六時三十三分散會